

2

## 施策・事業への考え方について

---

---

# 1. 「福祉・保健・医療分野」に対する考え方

## (1) 「福祉・保健・医療分野」に対する意識

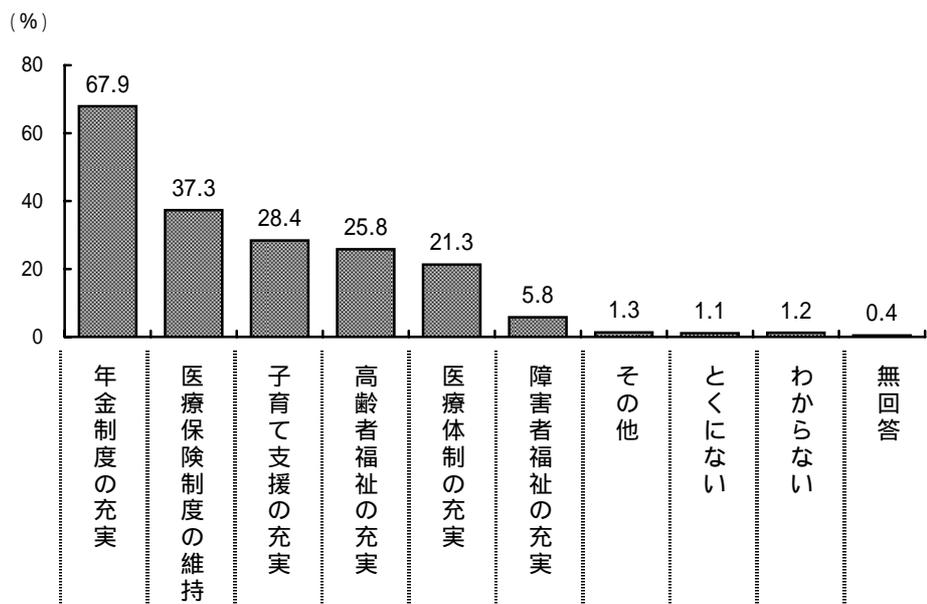
### 「福祉・保健・医療分野」の中で充実してほしい分野

「年金制度の充実」を望む人が68%と圧倒的に多い。  
以下、「医療保険制度の維持」(37%)、「子育て支援の充実」(28%)、「高齢者福祉の充実」(26%)といった分野が3割前後で続く。

性別による差はみられず、同様の傾向となっている。

有識者・専門家調査の結果をみると、県民と比べ「子育て支援の充実」を考えるべきとの意向を示す人が多い(特に、県内市町村職員が目立つ)。

図1(1) 「福祉・保健・医療分野」の中で充実してほしい分野(N = 1094)



性別	男性		女性	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
男性	521	67.6	572	68.2
女性	521	37.8	572	36.9
男性	521	28.6	572	28.1
女性	521	25.0	572	26.6
男性	521	19.4	572	23.1
女性	521	7.3	572	4.4
男性	521	1.3	572	1.2
女性	521	1.2	572	1.0
男性	521	1.3	572	1.3
女性	521	0.2	572	0.5

<参考>

調査方法	人数	年金制度の充実 (%)	医療保険制度の維持 (%)	子育て支援の充実 (%)	高齢者福祉の充実 (%)	医療体制の充実 (%)	障害者福祉の充実 (%)	その他 (%)	とくにない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
web調査	109	47.7	34.9	39.4	20.2	22.9	11.9	4.6	3.7	0.0	0.0
有識者・専門家	268	57.5	31.0	50.7	17.5	20.5	10.8	3.7	0.4	0.0	0.0
対象者別	県内専門家・国の職員	112	58.9	30.4	42.0	20.5	19.6	15.2	4.5	0.0	0.0
	県内市町村職員	156	56.4	31.4	57.1	15.4	21.2	7.7	3.2	0.6	0.0

注) 数値は回収数を100とした%

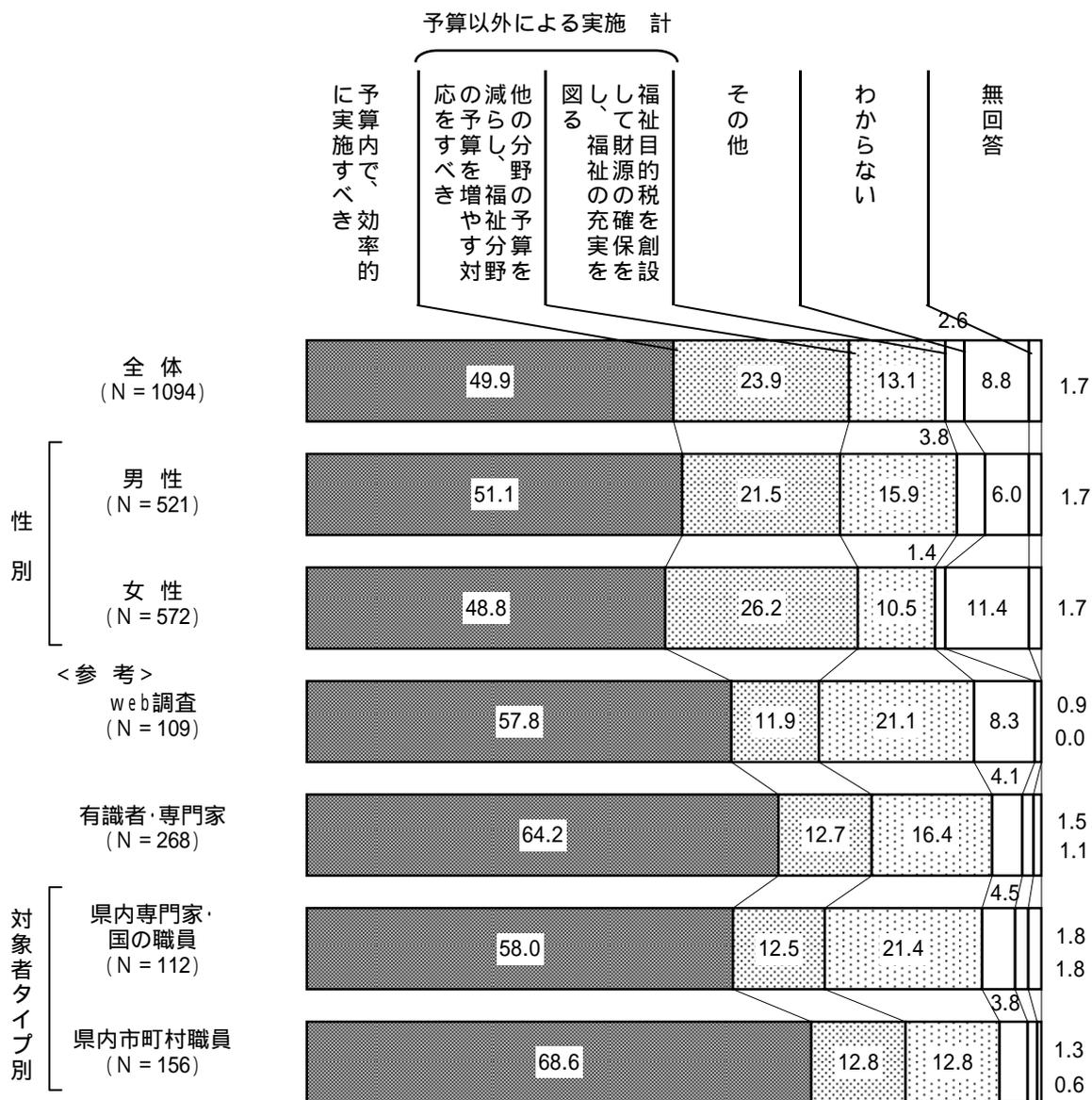
## 「福祉の充実」にむけての財政の考え方

福祉充実に向けて「予算内で効率的に実施すべき」と考える人が最も多く、半数を占める。

「他の分野の予算を減らし、福祉分野の予算を増やす対応をすべき」と考える人は24%、  
「福祉目的税を創設して財源の確保をし、福祉の充実を図る」と考える人は13%で、  
『予算以外による実施』を望む人は合わせて37%である。

「予算内での効率的な実施」の意向については、県民以上に有識者・専門家で高い。  
特に、県内市町村職員でこの傾向が顕著で、7割近い人が「予算内での効率的な実施」  
を望んでいる。

図1(1) 「福祉の充実」にむけての財政の考え方



注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向

- ・ 性・年齢・未既婚別にみると、男性50代以上や女性40・50代では「年金制度の充実」を望む人が多い。  
それに対し、20・30代既婚男性や20代既婚女性では、「年金制度の充実」よりも「子育て支援の充実」を最も望んでいる。  
同居家族別にみても明らかで、1歳未満や小学校入学前の子供を有する世帯で「子育て支援の充実」意識が高く、特に1歳未満の乳児を有する世帯で顕著である。
- ・ 小学生、中学生、高校生を有する世帯では「医療体制の充実」、65歳以上の方を有する世帯では「高齢者福祉の充実」を望む人が比較的多い。

表1(1) 階層別にみた「福祉の充実」に対する意識 - 1

	回収数	充実してほしい分野						財政の考え方		
		年金制度の充実	持医療保険制度の維持	子育て支援の充実	高齢者福祉の充実	医療体制の充実	障害者福祉の充実	に予算内で実施すべき効率的	応の予をす算すべき増や社予す分算対野を	図るし福の充確を創を設
全体	1094	67.9	37.3	28.4	25.8	21.3	5.8	49.9	23.9	13.1
< 性・年齢・未既婚別 >										
男性	521	67.6	37.8	28.6	25.0	19.4	7.3	51.1	21.5	15.9
20代・未婚	63	60.3	42.9	28.6	22.2	12.7	7.9	42.9	23.8	15.9
20代・既婚	29	51.7	24.1	75.9	10.3	17.2	0.0	65.5	13.8	10.3
30代・未婚	20	70.0	35.0	30.0	30.0	10.0	30.0	55.0	30.0	10.0
30代・既婚	61	36.1	41.0	68.9	13.1	21.3	6.6	49.2	23.0	14.8
40代	102	69.6	36.3	23.5	23.5	22.5	6.9	52.9	26.5	15.7
50代	114	75.4	33.3	15.8	29.8	21.9	9.6	48.2	22.8	16.7
60代以上	132	80.3	42.4	14.4	31.1	18.9	3.8	53.0	15.2	18.2
女性	572	68.2	36.9	28.1	26.6	23.1	4.4	48.8	26.2	10.5
20代・未婚	50	70.0	32.0	40.0	24.0	24.0	4.0	50.0	30.0	6.0
20代・既婚	31	48.4	35.5	67.7	16.1	22.6	3.2	35.5	35.5	12.9
30代・未婚	10	60.0	20.0	60.0	10.0	30.0	0.0	50.0	40.0	10.0
30代・既婚	81	51.9	35.8	50.6	8.6	27.2	3.7	53.1	21.0	9.9
40代	121	73.6	39.7	22.3	24.0	26.4	2.5	52.1	29.8	8.3
50代	119	80.7	41.2	16.0	27.7	19.3	7.6	56.3	18.5	9.2
60代以上	160	66.9	35.0	16.9	40.6	20.6	4.4	40.6	28.1	14.4
< 居住年数別 >										
40年以上	320	75.0	40.0	20.0	29.4	20.9	4.7	53.1	19.1	15.6
20～40年未満	394	69.3	34.5	30.2	25.9	20.3	6.6	49.0	26.1	12.4
5～20年未満	253	63.6	36.4	26.1	24.5	23.3	6.3	49.0	24.5	9.9
5年未満	127	54.3	40.9	48.8	18.9	21.3	4.7	46.5	28.3	15.0
< 居住地域別 >										
佐賀市エリア	408	67.2	39.5	28.2	28.9	18.9	5.9	50.5	22.1	15.9
唐津市エリア	253	67.6	30.8	28.9	26.5	26.5	5.5	48.2	26.5	9.5
鳥栖市エリア	218	66.5	38.5	27.5	22.5	21.6	6.9	49.1	27.1	14.2
武雄市エリア	214	71.5	39.7	29.4	22.4	19.6	4.7	51.9	21.5	10.7
< 同居家族別 >										
乳幼児がいる	231	52.4	36.4	57.1	14.3	23.4	5.2	47.6	27.7	12.6
1歳未満	52	40.4	42.3	65.4	15.4	25.0	5.8	57.7	21.2	13.5
1歳～小学校入学前	206	53.4	36.4	56.3	13.6	22.3	5.3	46.6	28.6	12.1
小学生	198	62.1	36.9	38.4	15.2	26.3	4.0	54.0	27.8	6.6
中学生	125	67.2	34.4	23.2	22.4	28.0	7.2	57.6	20.8	8.0
高校生	143	69.2	33.6	17.5	28.7	26.6	6.3	40.6	34.3	11.9
短大・大学生・専門学校生	114	71.1	42.1	19.3	21.1	22.8	3.5	53.5	24.6	8.8
未婚の社会人	396	71.2	35.1	24.2	26.8	20.7	8.1	48.7	23.2	15.2
65歳以上の方	564	72.5	36.7	22.7	30.9	20.9	5.1	50.4	22.9	14.2
この中にはいない	106	75.5	40.6	27.4	29.2	16.0	2.8	48.1	22.6	12.3

注) 数値は回収数を100とした%

\* 佐賀県での暮らしへの満足度別にみた傾向

- ・暮らしに満足しているとしながらも、「子育て支援の充実」と「障害者福祉の充実」に対しての要望は不満層以上に高い。
- ・佐賀県での暮らしに満足していない層では、「医療保険制度の維持」を望む人が多く、「他の分野の予算を減らし、福祉分野の予算を増やす対応をすべき」とも考えられている。

表1(1) 階層別にみた「福祉の充実」に対する意識 - 2

	回収数	充実してほしい分野						財政の考え方		
		年金制度の充実	医療保険制度の維持	子育て支援の充実	高齢者福祉の充実	医療体制の充実	障害者福祉の充実	予算内で、効率的に実施すべき	増し、他の分野の予算を減らす対応をすべき	福祉の充実を図るため、福祉の創設
全体	1094	67.9	37.3	28.4	25.8	21.3	5.8	49.9	23.9	13.1
< 現在の満足度別 >										
満足している計	483	64.0	34.2	29.4	26.5	20.9	8.1	53.0	21.5	14.7
満足している	37	67.6	21.6	35.1	16.2	2.7	18.9	43.2	24.3	18.9
まあ満足している	446	63.7	35.2	28.9	27.4	22.4	7.2	53.8	21.3	14.3
どちらともいえない	342	72.8	39.2	27.8	24.3	23.7	4.1	49.7	24.6	12.6
満足していない計	255	69.0	40.4	27.5	25.9	18.8	3.9	43.5	28.2	10.6
あまり満足していない	203	70.0	38.9	29.1	28.1	19.2	3.4	45.3	26.6	11.8
満足していない	52	65.4	46.2	21.2	17.3	17.3	5.8	36.5	34.6	5.8
< 福祉・保健・医療への期待度別 >										
期待している計	693	67.0	37.5	30.0	25.7	22.8	6.3	49.6	25.8	14.4
期待している	303	68.6	37.6	27.1	24.4	24.1	8.9	45.9	28.7	14.5
やや期待している	390	65.6	37.4	32.3	26.7	21.8	4.4	52.6	23.6	14.4
どちらともいえない	199	69.3	38.7	30.2	22.6	21.1	5.5	55.8	18.6	13.6
期待していない計	128	67.2	38.3	25.8	24.2	18.0	3.1	50.0	21.9	4.7
あまり期待していない	99	65.7	34.3	24.2	27.3	21.2	4.0	50.5	19.2	6.1
期待していない	29	72.4	51.7	31.0	13.8	6.9	0.0	48.3	31.0	0.0

注) 数値は回収数を100とした%

## (2)「高齢者福祉」に対する意識

### 「高齢者福祉」の中で充実してほしい内容

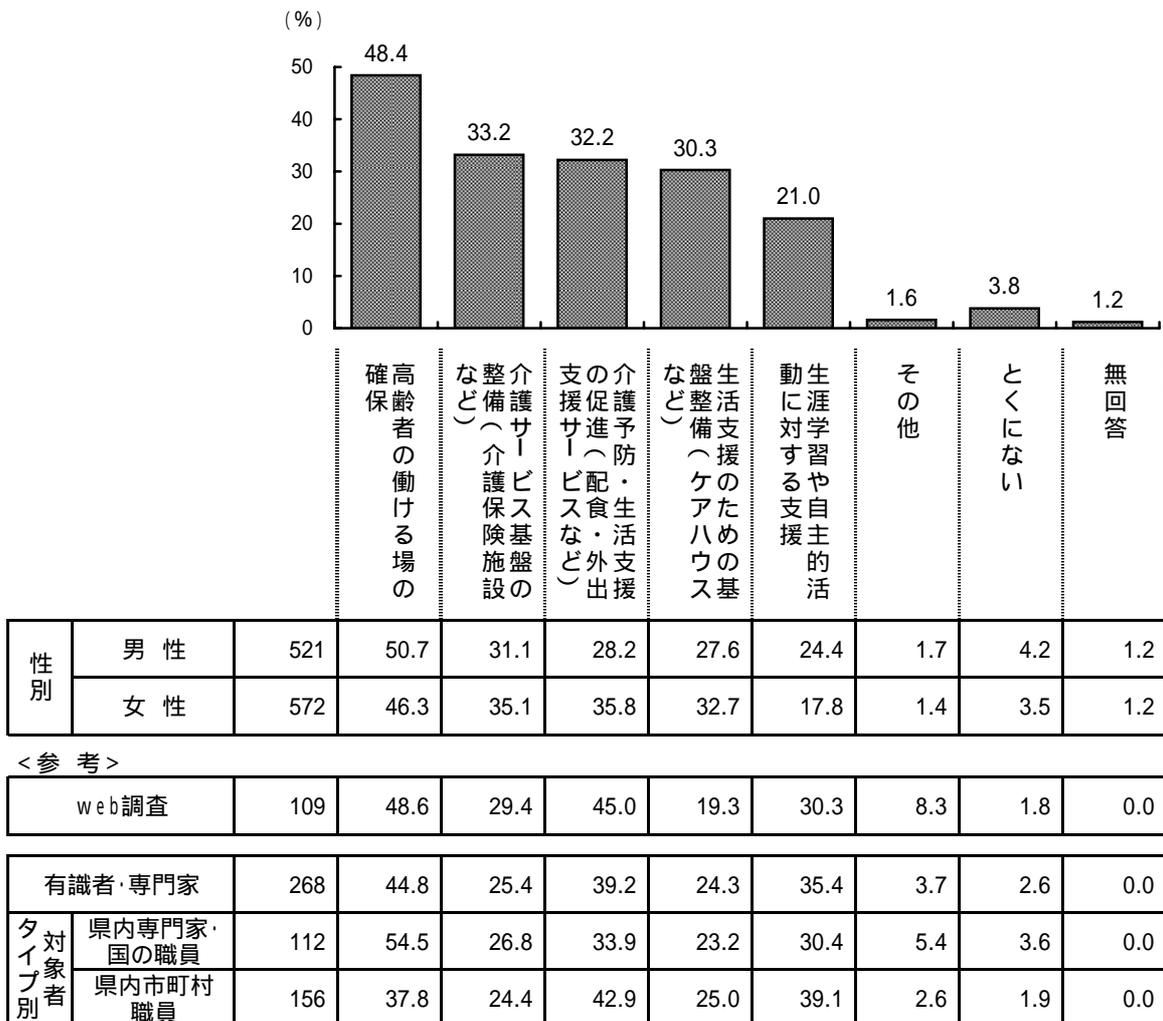
『高齢者福祉』の中では、「高齢者の働ける場の確保」が48%で最も望まれている。

以下、「介護サービス基盤の整備（介護保険施設など）」（33%）、「介護予防・生活支援の促進（配食・外出支援サービスなど）」（32%）といった介護関係や「生活支援のための基盤整備（ケアハウスなど）」（30%）の充実が続く。

性別にみると、男性では「働ける場の確保」「生涯学習や自主的活動への支援」といった『自主的な行動への充実』が高いのに対し、女性では「介護サービス基盤整備」「介護予防・生活支援の促進」「生活支援のための基盤整備」といった『基盤そのものの整備』の充実を望む声が高い。

有識者・専門家では県民に比べ、「介護予防・生活支援の促進」や「生涯学習や自主的活動への支援」の充実を望む人が多い。

図1(2) 「高齢者福祉」の中で充実してほしい内容(N = 1094)



注) 数値は回収数を100とした%

## 「公的年金制度」のあり方に対する考え方

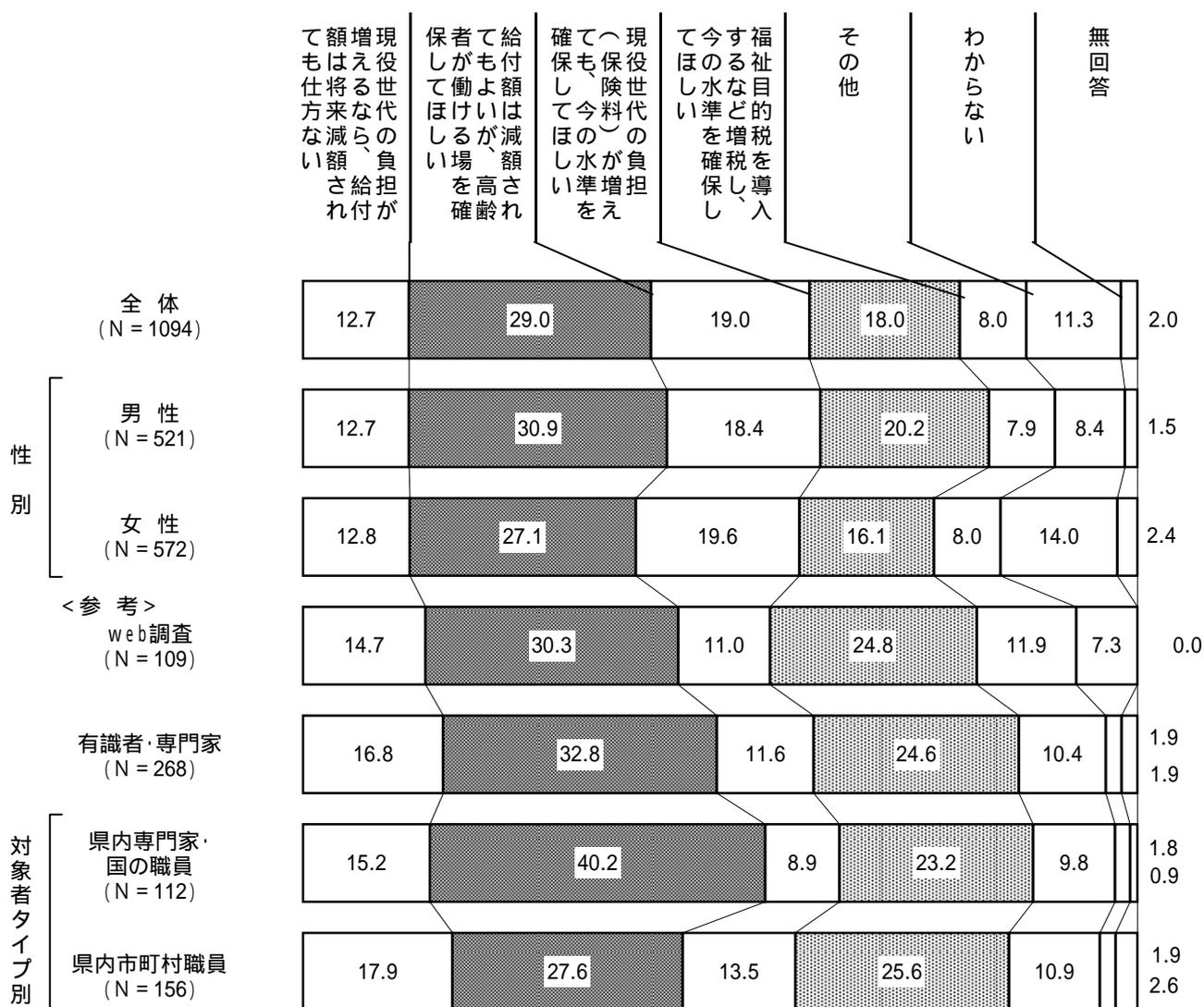
『公的年金制度』のあり方については、「現役世代の負担が増えるなら、給付額は将来減額されても仕方ない」と考える人が13%みられ、「給付額は減額されてもよいが、高齢者が働ける場を確保してほしい」が29%と、条件付きではあるが『給付額の減額』を承諾する考えの人が合わせて42%みられた。

一方、「現役世代の負担（保険料）が増えても、今の水準を確保してほしい」人は19%、「福祉目的税を導入するなど増税し、今の水準を確保してほしい」人は18%で、現役もしくは自己負担が伴っても『今の水準確保』を望む人は37%であった。

女性では男性に比べ、「福祉目的税を導入するなど増税しての水準確保」までを望む人は少ない。

有識者・専門家の中でも、県内専門家・国の職員では「給付額は減額されてもよいが、高齢者が働ける場の確保」、県内市町村職員では「福祉目的税を導入するなど増税しての水準確保」の考えが県民に比べ目立つ。

図1(2) 「公的年金制度」のあり方に対する考え方



注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 1

- ・性・年齢・未既婚別にみると、概ね「高齢者の働ける場の確保」を望む人が多い中、20代男性では未既婚を問わず、「介護予防・生活支援の促進（配食・外出支援サービスなど）」への充実を望む人が最も多い。  
20代未婚女性では「介護サービス基盤の整備（介護保険施設など）」がトップの要望となっている。
- ・その他、20代女性や30代未婚女性では「生活支援のための基盤整備（ケアハウスなど）」への要望も他層に比べ高い。
- ・また、60代以上の高齢層では、「今の水準を確保してほしい」との考えが高い。  
男性では「福祉目的税の導入」、女性では「現役世代の負担増」で水準の確保をしてほしいとの考えが高い。
- ・居住地域別にみると、唐津市エリア居住層では他エリアに比べ、「介護サービス基盤の整備（介護保険施設など）」の要望が高い。

表1(2) 階層別にみた「高齢者福祉」に対する意識 - 1

	回収数	充実してほしい内容					「公的年金制度」のあり方に対する考え方					
		の高齢者の働ける場の確保	介護施設整備（介護サービス基盤）	外出支援（介護予防・配食・生活支援サービス）	生活支援（ヘルパーなど）	生活学習の場の確保	増額減額	現役世代への負担増	給付額の削減	現役世代への負担増	今の水準を確保してほしい	福祉目的税の導入
全体	1094	48.4	33.2	32.2	30.3	21.0	12.7	29.0	19.0	18.0		
< 性・年齢・未既婚別 >												
男性	521	50.7	31.1	28.2	27.6	24.4	12.7	30.9	18.4	20.2		
20代・未婚	63	39.7	30.2	42.9	28.6	25.4	11.1	22.2	20.6	19.0		
20代・既婚	29	37.9	27.6	44.8	31.0	20.7	6.9	34.5	27.6	13.8		
30代・未婚	20	60.0	35.0	20.0	30.0	15.0	15.0	25.0	20.0	20.0		
30代・既婚	61	47.5	37.7	24.6	32.8	19.7	11.5	29.5	19.7	13.1		
40代	102	60.8	25.5	24.5	24.5	23.5	15.7	38.2	17.6	13.7		
50代	114	50.9	29.8	29.8	23.7	29.8	7.9	37.7	22.8	15.8		
60代以上	132	50.8	34.1	22.0	29.5	24.2	16.7	24.2	11.4	34.1		
女性	572	46.3	35.1	35.8	32.7	17.8	12.8	27.1	19.6	16.1		
20代・未婚	50	40.0	48.0	28.0	46.0	16.0	18.0	20.0	22.0	12.0		
20代・既婚	31	71.0	35.5	25.8	41.9	3.2	0.0	25.8	22.6	16.1		
30代・未婚	10	70.0	10.0	30.0	50.0	10.0	10.0	50.0	10.0	10.0		
30代・既婚	81	44.4	35.8	44.4	29.6	13.6	7.4	30.9	17.3	11.1		
40代	121	47.9	33.9	38.8	33.9	21.5	13.2	28.9	14.0	14.0		
50代	119	47.9	31.1	46.2	27.7	19.3	14.3	31.9	19.3	17.6		
60代以上	160	40.6	36.3	26.3	30.0	20.0	15.0	21.3	24.4	20.6		
< 居住年数別 >												
40年以上	320	50.0	31.9	24.1	28.8	25.0	15.3	30.0	17.2	21.9		
20～40年未満	394	47.0	34.8	34.0	31.0	19.3	12.7	27.7	19.5	17.0		
5～20年未満	253	47.4	32.8	36.0	28.9	22.5	12.3	29.2	19.8	14.2		
5年未満	127	51.2	32.3	39.4	34.6	13.4	7.1	29.9	20.5	18.9		
< 居住地域別 >												
佐賀市エリア	408	45.8	33.1	34.1	33.3	21.1	11.3	29.9	18.1	21.6		
唐津市エリア	253	49.4	41.5	26.9	25.3	17.8	14.2	30.8	16.2	14.2		
鳥栖市エリア	218	49.5	26.1	34.9	27.1	24.8	10.1	29.4	19.3	18.8		
武雄市エリア	214	51.4	30.8	32.2	33.6	21.0	16.4	24.8	23.8	15.0		
< 同居家族別 >												
乳幼児がいる	231	51.9	36.8	31.6	29.0	16.5	10.4	32.5	20.3	12.1		
1歳未満	52	51.9	32.7	34.6	34.6	15.4	5.8	34.6	26.9	11.5		
1歳～小学校入学前	206	53.4	37.9	31.6	26.7	17.5	10.2	32.0	20.9	11.7		
小学生	198	47.0	31.8	31.8	26.3	19.7	10.1	31.3	15.7	13.1		
中学生	125	44.8	34.4	22.4	35.2	31.2	12.8	32.8	16.8	14.4		
高校生	143	48.3	26.6	31.5	31.5	28.0	10.5	32.9	17.5	15.4		
短大・大学生・専門学校生	114	45.6	28.9	40.4	26.3	24.6	12.3	25.4	16.7	21.1		
未婚の社会人	396	46.5	30.1	37.1	28.5	23.0	12.4	28.3	21.2	17.9		
65歳以上の方	564	46.3	36.2	29.1	29.1	21.6	14.0	27.0	19.0	20.6		
この中にはいない	106	53.8	38.7	29.2	36.8	11.3	13.2	26.4	20.8	20.8		

注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 2

- ・佐賀県での暮らしへの満足度別にみると、満足していない層では「高齢者の働ける場の確保」「生活支援のための基盤整備（ケアハウスなど）」に対する要望が高い。  
年金制度のあり方については、「給付額は減額されてもよいが、高齢者が働ける場を確保してほしい」との考えが高い。
- ・福祉・保健・医療への期待度別にみると、期待しているといった期待度が高い層では特に「介護サービス基盤の整備（介護保険施設など）」や「介護予防・生活支援の促進（配食・外出支援サービスなど）」への要望が高い。

表1(2) 階層別にみた「高齢者福祉」に対する意識 - 2

	回収数	充実してほしい内容					「公的年金制度」のあり方に対する考え方			
		高齢者の働ける場の確保	介護サービス基盤の整備（介護保険施設など）	介護予防・生活支援の促進（配食・外出支援サービスなど）	生活支援のための基盤整備（ケアハウスなど）	生涯学習や自主的活動に対する支援	現役世代の負担が増えるなら、給付額は減額されてもよいが、高い高	現役世代の負担（保険料）が増え	福祉目的の水準を導入するなど増税	
全体	1094	48.4	33.2	32.2	30.3	21.0	12.7	29.0	19.0	18.0
< 現在の満足度別 >										
満足している計	483	45.1	33.7	32.5	29.2	24.4	15.3	28.8	19.0	22.2
満足している	37	45.9	27.0	18.9	29.7	18.9	13.5	16.2	21.6	29.7
まあ満足している	446	45.1	34.3	33.6	29.1	24.9	15.5	29.8	18.8	21.5
どちらともいえない	342	49.7	32.7	35.7	31.6	16.7	12.3	27.2	19.3	14.9
満足していない計	255	52.9	32.5	28.2	31.8	20.4	8.2	32.5	18.8	13.7
あまり満足していない	203	50.7	35.5	28.6	30.5	20.2	9.4	30.5	19.2	14.8
満足していない	52	61.5	21.2	26.9	36.5	21.2	3.8	40.4	17.3	9.6
< 福祉・保健・医療への期待度別 >										
期待している計	693	47.8	34.8	34.5	32.0	22.7	13.4	28.1	18.3	21.6
期待している	303	46.5	38.9	38.3	33.7	19.8	9.2	25.1	21.1	23.8
やや期待している	390	48.7	31.5	31.5	30.8	24.9	16.7	30.5	16.2	20.0
どちらともいえない	199	50.3	31.2	32.2	29.1	19.6	16.1	28.1	21.1	10.6
期待していない計	128	53.9	26.6	25.0	23.4	15.6	7.8	37.5	16.4	8.6
あまり期待していない	99	56.6	29.3	27.3	22.2	14.1	8.1	38.4	16.2	9.1
期待していない	29	44.8	17.2	17.2	27.6	20.7	6.9	34.5	17.2	6.9

注) 数値は回収数を100とした%

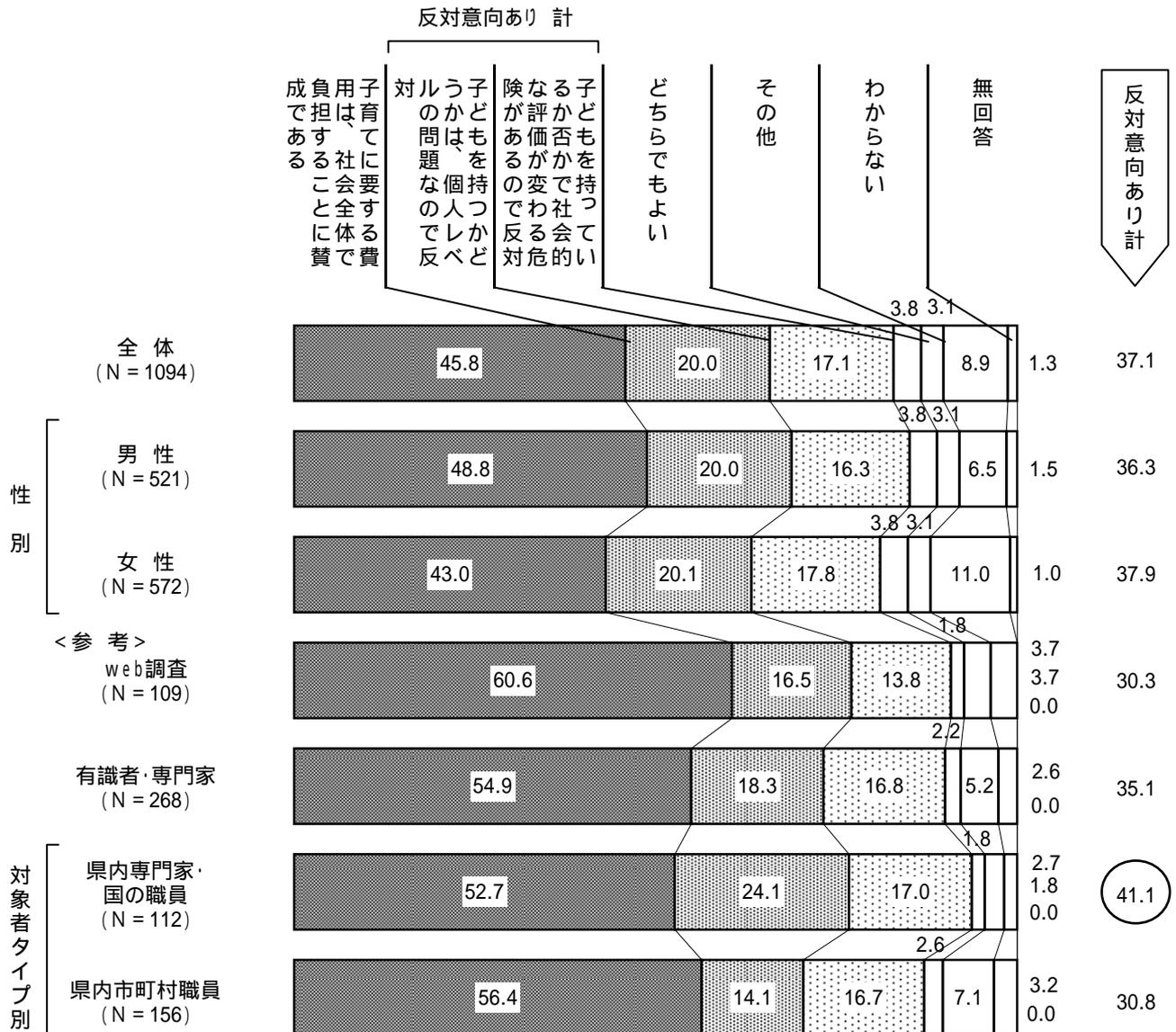
### (3)「子育て支援・育児保険」に対する意識

『子育て支援・育児保険』に対しては、「少子化の進行は社会全体に深刻な影響を及ぼすので、子育てに要する費用は、社会全体で負担することに賛成である」と考える人が46%みられる。

それに対し、「子どもを持つかどうかは、個人レベルの問題なので、社会全体での負担には反対する」人が20%、「子どもを持っているか否かで社会的な評価が変わる危険があるので、その不安が解決できれば賛成するが、現状のままでは反対する」人が17%みられ、現段階での反対意向者は全体の37%となっている。

比較的若い世代の回答が多かったweb調査や、有識者・専門家調査では、県民満足度調査結果に比べ、「子育てに要する費用は、社会全体で負担することに賛成である」との意識が高い。

図1(3)「子育て支援・育児保険」に対する意識



注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 1

- ・ 20・30代既婚男性、40代男性や20代既婚女性では「子育てに要する費用は、社会全体で負担することに賛成である」との意識が高い。  
半面、40・50代女性では「社会全体負担に反対」との意向が高い。
- ・ 同居家族別に見ると、乳幼児がいる世帯では「子育てに要する費用は、社会全体で負担することに賛成」との意識が高い。特に、1歳未満の乳児を有する世帯の75%が「賛成」と回答している。  
それに対し、大学生や未婚社会人の子供を有する世帯になると、「社会全体負担に反対」との意識の方が高まる。

表1(3) 階層別にみた「子育て支援・育児保険」に対する意識 - 1

	回収数	子育てに要する費用を社会全体で負担することに賛成である	社会全体負担に反対	子育ての問題を個人で解決すべきか	子育てにかかる費用が変化することで危険な状態になる	どちらでもよい
全体	1094	45.8	37.1	20.0	17.1	3.8
< 性・年齢・未婚別 >						
男性	521	48.8	36.3	20.0	16.3	3.8
20代・未婚	63	46.0	36.5	15.9	20.6	6.3
20代・既婚	29	69.0	24.1	17.2	6.9	6.9
30代・未婚	20	30.0	40.0	25.0	15.0	5.0
30代・既婚	61	55.7	32.8	13.1	19.7	0.0
40代	102	52.0	32.4	17.6	14.7	2.9
50代	114	48.2	38.6	18.4	20.2	4.4
60代以上	132	43.2	40.9	28.0	12.9	3.8
女性	572	43.0	37.9	20.1	17.8	3.8
20代・未婚	50	46.0	42.0	24.0	18.0	2.0
20代・既婚	31	64.5	22.6	6.5	16.1	6.5
30代・未婚	10	40.0	20.0	20.0	0.0	10.0
30代・既婚	81	46.9	38.3	12.3	25.9	1.2
40代	121	31.4	49.6	24.0	25.6	3.3
50代	119	38.7	46.2	27.7	18.5	3.4
60代以上	160	48.1	25.6	16.9	8.8	5.6
< 居住年数別 >						
40年以上	320	46.9	35.3	20.3	15.0	3.8
20～40年未満	394	45.7	37.1	21.3	15.7	3.6
5～20年未満	253	39.1	42.7	20.2	22.5	4.3
5年未満	127	56.7	30.7	15.0	15.7	3.9
< 居住地域別 >						
佐賀市エリア	408	48.8	35.5	21.1	14.5	3.2
唐津市エリア	253	41.9	38.7	18.6	20.2	5.1
鳥栖市エリア	218	43.1	38.5	20.2	18.3	4.1
武雄市エリア	214	47.7	36.9	19.6	17.3	2.8
< 同居家族別 >						
乳幼児がいる	231	59.3	24.2	10.0	14.3	3.9
1歳未満	52	75.0	17.3	7.7	9.6	3.8
1歳～小学校入学前	206	57.3	25.2	10.2	15.0	3.9
小学生	198	49.5	32.3	17.2	15.2	3.0
中学生	125	43.2	37.6	17.6	20.0	4.8
高校生	143	40.6	42.0	18.9	23.1	4.9
短大・大学生・専門学校生	114	38.6	45.6	22.8	22.8	3.5
未婚の社会人	396	40.4	42.9	25.0	17.9	3.0
65歳以上の方	564	44.0	36.5	20.6	16.0	4.4
この中にはいない	106	47.2	36.8	19.8	17.0	2.8

注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 2

- ・佐賀県での暮らしに満足している層では「子育てに要する費用は、社会全体で負担することに賛成」との意識が高い。  
半面、暮らしに満足していない層では「社会全体負担に反対」との意識が半数程度みられ、「賛成」を上回る。

表1(3) 階層別にみた「子育て支援・育児保険」に対する意識 - 2

	回収数	子育てに要する費用は、社会全体で負担することに賛成である	社会全体負担に反対	子どもの問題を個人で解決すべき	子育ては、社会全体で負担すべき	どちらでもよい
全体	1094	45.8	37.1	20.0	17.1	3.8
< 現在の満足度別 >						
満足している計	483	49.5	36.6	21.1	15.5	4.1
満足している	37	48.6	27.0	16.2	10.8	8.1
まあ満足している	446	49.6	37.4	21.5	15.9	3.8
どちらともいえない	342	45.9	35.4	18.4	17.0	4.4
満足していない計	255	38.4	41.2	20.4	20.8	2.7
あまり満足していない	203	39.4	39.4	18.7	20.7	3.0
満足していない	52	34.6	48.1	26.9	21.2	1.9
< 福祉・保健・医療への期待度別 >						
期待している計	693	49.5	35.9	18.2	17.7	2.6
期待している	303	50.8	35.6	18.8	16.8	3.0
やや期待している	390	48.5	36.2	17.7	18.5	2.3
どちらともいえない	199	44.2	39.7	20.1	19.6	6.0
期待していない計	128	39.1	39.8	26.6	13.3	3.1
あまり期待していない	99	39.4	40.4	27.3	13.1	3.0
期待していない	29	37.9	37.9	24.1	13.8	3.4

注) 数値は回収数を100とした%

#### (4)「児童虐待対策」に対する意識

##### 「児童虐待対策」の対応への評価

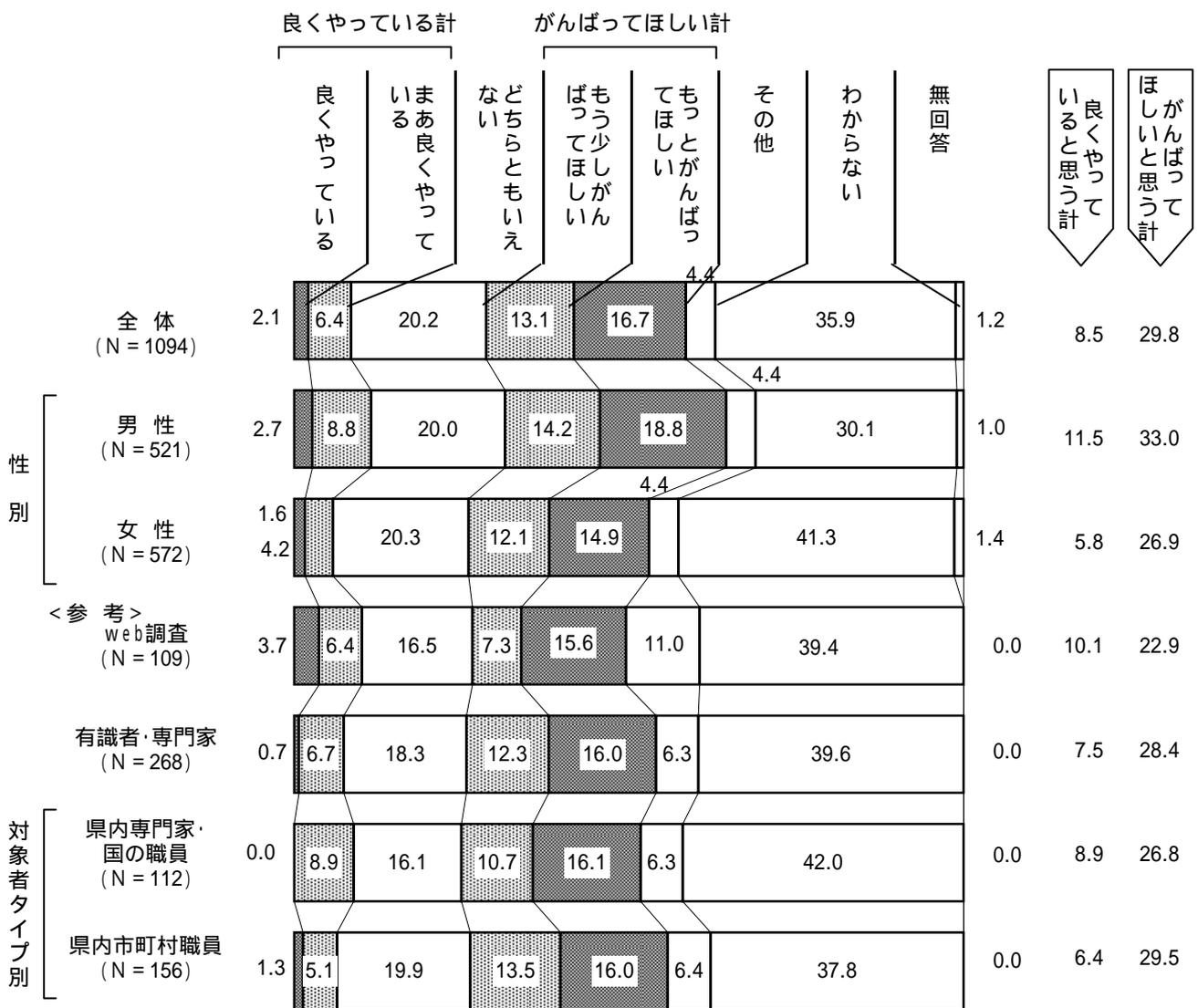
『児童虐待対策』への対応について、「良くやっていると思う（良くやっている+まあ良くやっている）」と評価する人は9%で、「がんばってほしいと思う（もう少し+もっと）」と期待感を抱く人の方が30%と多い。

また、「わからない」と回答した人が36%で最も多く、県としての対応が見えにくい状況にあるとも受け取れる。

特に、女性では「良くやっていると思う」と評価する人が少なく、「わからない」という回答が4割を超えている。

県民以上に、有識者・専門家では「良くやっていると思う」と評価する人が少なく、「わからない」との回答が多い傾向がみられる。

図1(4) 「児童虐待対策」の対応への評価



注) 数値は回収数を100とした%

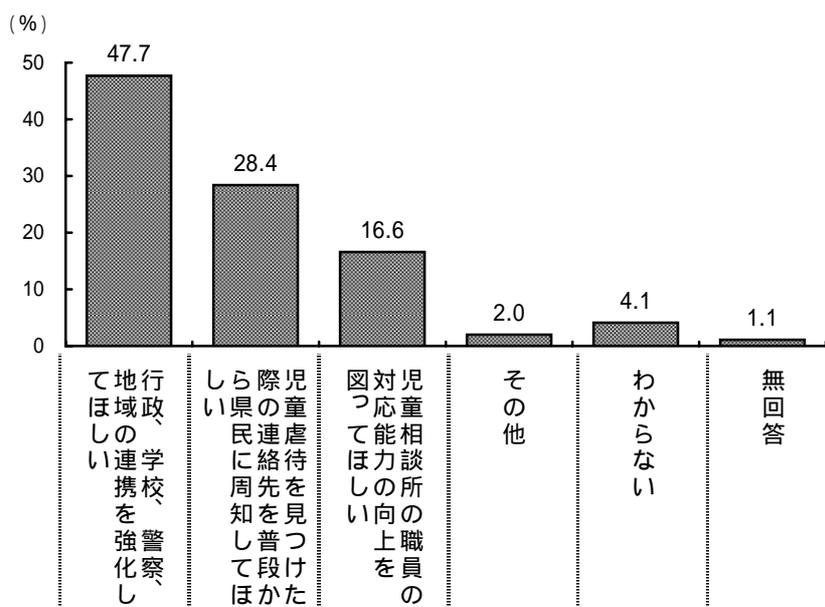
## 「児童虐待対策」の一環として充実してほしい内容

『児童虐待対策』の一環として、「行政、学校、警察、地域の連携の強化」を望む人が48%で最も多い。

以下、「児童虐待を見つけた際の連絡先を普段から県民に周知してほしい」(28%)、「児童相談所の職員の対応能力の向上を図ってほしい」(17%)といった内容の充実が1～2割台で続く。

有識者・専門家は県民以上に、「行政、学校、警察、地域の連携の強化」を望んでいる。

図1(4) 「児童虐待対策」の一環として充実してほしい内容(N = 1094)



性別	男性	521	46.1	28.4	18.0	2.5	3.6	1.3
	女性	572	49.1	28.5	15.4	1.6	4.5	0.9

<参考>

web調査	109	39.4	26.6	22.0	6.4	5.5	0.0	
有識者・専門家	268	52.6	25.7	14.2	5.2	2.2	0.0	
対象者別	県内専門家・国の職員	112	55.4	21.4	13.4	8.0	1.8	0.0
	県内市町村職員	156	50.6	28.8	14.7	3.2	2.6	0.0

注) 数値は回収数を100とした%

\* 性・年齢・未既婚別にみた傾向

- ・ 30代男性で「がんばってほしい」との意見が高い。
- ・ 充実してほしい内容の傾向をみると、「行政、学校、警察、地域の連携強化」への要望が最も高い中、20代既婚男性では「児童虐待を見つけた際の連絡先の周知の徹底」の要望が最も高い。  
また、20代男性や30代既婚男性では、「児童相談所の職員の対応能力の向上」が他層に比べ高い。

表1(4) 階層別にみた「児童虐待対策」に対する意識 - 1

	回収数	対応への評価									充実してほしい内容			
		う良くやっていると思	良くやっている	まあ良くやっている	どちらともいえない	がんばってほしいと思	もう少しがんばってほしい	もっとがんばってほしい	その他	わからない	地域の連携を強化し	行政、学校、警察に周知してほしい	児童虐待を見つけた際の連絡先を普及させたい	児童相談所の職員の対応能力の向上を
全体	1094	8.5	2.1	6.4	20.2	29.8	13.1	16.7	4.4	35.9	47.7	28.4	16.6	
< 性・年齢・未既婚別 >														
男性	521	11.5	2.7	8.8	20.0	33.0	14.2	18.8	4.4	30.1	46.1	28.4	18.0	
20代・未婚	63	3.2	1.6	1.6	23.8	27.0	9.5	17.5	1.6	44.4	46.0	19.0	22.2	
20代・既婚	29	20.7	3.4	17.2	24.1	24.1	13.8	10.3	3.4	27.6	31.0	34.5	27.6	
30代・未婚	20	10.0	0.0	10.0	30.0	35.0	25.0	10.0	0.0	25.0	50.0	25.0	20.0	
30代・既婚	61	3.3	1.6	1.6	26.2	37.7	9.8	27.9	3.3	29.5	39.3	32.8	23.0	
40代	102	13.7	2.9	10.8	17.6	33.3	12.7	20.6	3.9	31.4	45.1	31.4	15.7	
50代	114	6.1	1.8	4.4	18.4	33.3	14.0	19.3	7.0	33.3	53.5	20.2	18.4	
60代以上	132	20.5	4.5	15.9	15.9	34.8	18.2	16.7	5.3	21.2	46.2	34.8	12.9	
女性	572	5.8	1.6	4.2	20.3	26.9	12.1	14.9	4.4	41.3	49.1	28.5	15.4	
20代・未婚	50	2.0	0.0	2.0	18.0	24.0	10.0	14.0	4.0	50.0	58.0	26.0	12.0	
20代・既婚	31	6.5	0.0	6.5	9.7	29.0	9.7	19.4	16.1	38.7	48.4	19.4	19.4	
30代・未婚	10	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0	50.0	40.0	10.0	
30代・既婚	81	4.9	1.2	3.7	28.4	22.2	8.6	13.6	3.7	39.5	48.1	29.6	16.0	
40代	121	5.0	2.5	2.5	21.5	28.9	8.3	20.7	5.0	39.7	48.8	28.1	16.5	
50代	119	5.0	1.7	3.4	21.8	27.7	11.8	16.0	1.7	42.9	50.4	31.1	16.8	
60代以上	160	8.8	1.9	6.9	16.9	28.1	18.8	9.4	3.1	40.0	46.3	28.1	13.8	
< 居住年数別 >														
40年以上	320	11.9	2.2	9.7	15.9	33.8	19.1	14.7	3.8	33.1	50.0	29.1	13.8	
20～40年未満	394	7.4	2.0	5.3	18.3	30.7	10.7	20.1	3.8	38.8	46.7	28.4	17.3	
5～20年未満	253	7.5	2.4	5.1	27.3	26.5	11.5	15.0	4.3	32.8	47.4	26.1	18.6	
5年未満	127	5.5	1.6	3.9	22.8	23.6	8.7	15.0	7.9	40.2	45.7	31.5	18.1	
< 居住地域別 >														
佐賀市エリア	408	8.3	2.5	5.9	21.3	32.8	14.5	18.4	2.9	33.6	46.3	30.1	16.9	
唐津市エリア	253	9.9	2.0	7.9	19.8	28.5	12.3	16.2	5.5	35.2	47.8	26.1	17.8	
鳥栖市エリア	218	5.0	1.8	3.2	18.3	28.0	13.3	14.7	6.4	40.4	48.6	28.4	13.8	
武雄市エリア	214	10.7	1.9	8.9	20.1	27.6	11.2	16.4	3.7	36.9	49.5	28.0	17.8	
< 同居家族別 >														
乳幼児がいる	231	11.7	2.2	9.5	22.1	29.0	12.6	16.5	5.6	30.3	49.4	30.7	14.3	
1歳未満	52	11.5	1.9	9.6	26.9	26.9	13.5	13.5	7.7	25.0	51.9	32.7	9.6	
1歳～小学校入学前	206	12.6	1.9	10.7	24.3	27.2	10.7	16.5	5.3	29.6	48.5	32.0	14.1	
小学生	198	9.1	3.0	6.1	22.7	31.3	12.6	18.7	4.5	31.8	48.0	28.8	14.6	
中学生	125	8.8	0.8	8.0	22.4	28.0	11.2	16.8	3.2	37.6	52.8	20.0	20.8	
高校生	143	8.4	2.8	5.6	18.9	32.9	10.5	22.4	3.5	36.4	47.6	22.4	22.4	
短大・大学生・専門学校生	114	5.3	1.8	3.5	17.5	33.3	12.3	21.1	0.0	43.0	43.9	27.2	23.7	
未婚の社会人	396	6.6	1.5	5.1	20.2	29.8	12.6	17.2	2.8	39.1	48.7	27.3	16.4	
65歳以上の方	564	10.5	2.5	8.0	20.0	30.0	15.6	14.4	3.9	33.9	46.5	29.3	16.1	
この中にはいない	106	7.5	1.9	5.7	19.8	32.1	12.3	19.8	6.6	34.0	48.1	30.2	16.0	

注) 数値は回収数を100とした%

\* 佐賀県での暮らしへの満足度別にみた傾向

- ・満足している層では他層に比べ、「良くやっている」との評価が高いものの、それでも2割台である。
- ・一方、満足していない層では4割強が「がんばってほしい」と望み、そのほとんどは「もっとがんばってほしい」と強い期待感まじりの回答である。

表1(4) 階層別にみた「児童虐待対策」に対する意識 - 2

	回収数	対応への評価									充実してほしい内容				
		良くやっていると思う計	良くやっている	まあ良くやっている	どちらともいえない	がんばってほしいと思う計	もう少しがんばってほしい	もっとがんばってほしい	その他	わからない	連携を強化してほしい地域の	行政、学校、警察、地域の	してほしい	児童虐待を見つけた際に周知連	児童相談所の職員の対応能
全体	1094	8.5	2.1	6.4	20.2	29.8	13.1	16.7	4.4	35.9	47.7	28.4	16.6		
< 現在の満足度別 >															
満足している計	483	12.4	3.5	8.9	18.6	28.6	15.1	13.5	4.3	34.6	46.2	32.1	15.7		
満足している	37	21.6	16.2	5.4	18.9	24.3	8.1	16.2	8.1	24.3	37.8	24.3	21.6		
まあ満足している	446	11.7	2.5	9.2	18.6	28.9	15.7	13.2	4.0	35.4	46.9	32.7	15.2		
どちらともいえない	342	5.6	0.6	5.0	24.9	26.6	10.8	15.8	2.9	39.5	48.0	27.8	17.8		
満足していない計	255	5.5	1.6	3.9	16.9	35.7	11.8	23.9	6.7	34.1	49.8	23.9	16.1		
あまり満足していない	203	6.4	2.0	4.4	16.7	34.0	13.3	20.7	7.4	34.0	52.7	22.2	15.8		
満足していない	52	1.9	0.0	1.9	17.3	42.3	5.8	36.5	3.8	34.6	38.5	30.8	17.3		
< 福祉・保健・医療への期待度別 >															
期待している計	693	10.7	2.6	8.1	19.5	28.4	12.1	16.3	4.8	35.5	49.1	28.9	15.9		
期待している	303	8.9	3.0	5.9	19.8	33.3	14.2	19.1	4.6	32.3	51.2	26.7	17.5		
やや期待している	390	12.1	2.3	9.7	19.2	24.6	10.5	14.1	4.9	37.9	47.4	30.5	14.6		
どちらともいえない	199	5.0	2.0	3.0	21.1	31.2	15.1	16.1	1.0	40.7	46.2	31.2	16.6		
期待していない計	128	2.3	0.0	2.3	23.4	31.3	13.3	18.0	8.6	32.8	45.3	28.1	14.8		
あまり期待していない	99	3.0	0.0	3.0	22.2	31.3	15.2	16.2	8.1	33.3	43.4	29.3	15.2		
期待していない	29	0.0	0.0	0.0	27.6	31.0	6.9	24.1	10.3	31.0	51.7	24.1	13.8		

注) 数値は回収数を100とした%

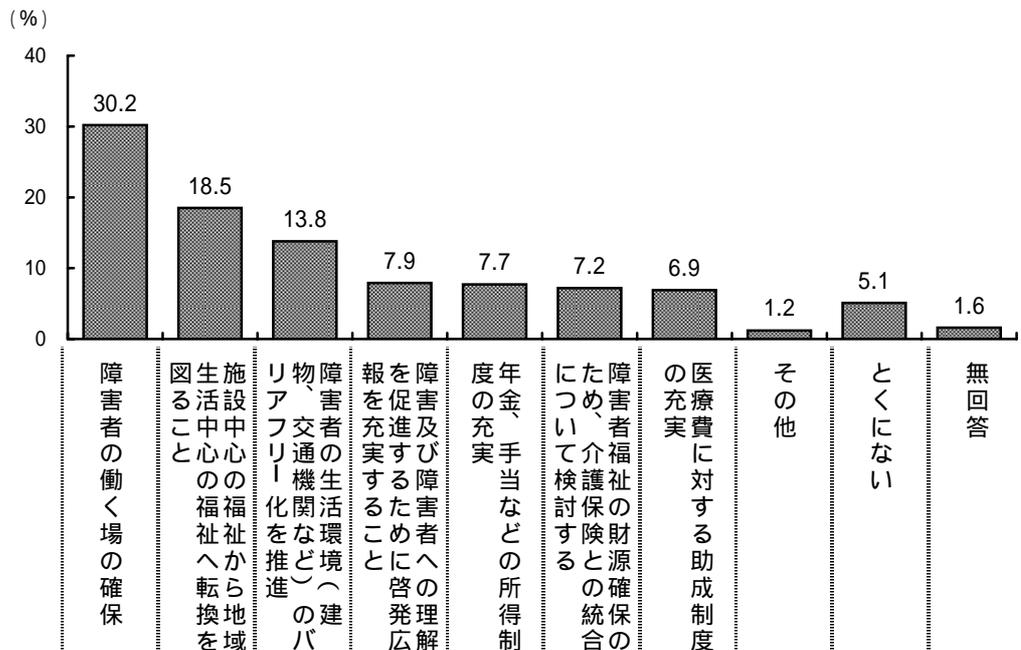
## (5)「障害者福祉」対応にむけて取り組むべき内容

高齢者だけでなく、障害者福祉においても「障害者の働く場の確保」に取り組むべきとの考えを示す人が30%で最も多くみられた。

以下、「施設中心の福祉から地域生活中心の福祉へ転換を図ること」(19%)、「障害者の生活環境(建物、交通機関など)のバリアフリー化を推進すること」(14%)など『生活面を意識した対応』への期待が続く。

有識者・専門家では、「障害者の働く場の確保」の取り組み(27%)も大切であるが、それ以上に「施設中心の福祉から地域生活中心の福祉へ転換を図ること」(33%)を重要視する人が多い。

図1(5) 「障害者福祉」対応にむけて取り組むべき内容(N = 1094)



性別	割合 (%)	
	男性	女性
男性	521	30.7
女性	572	29.7

<参考>

調査対象	回収数	割合 (%)
web調査	109	26.6
有識者・専門家	268	26.5
県内専門家・国の職員	112	26.8
県内市町村職員	156	26.3

注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 1

- ・「障害者の働く場の確保」の要望が高い中、20代既婚男性や20代女性では「障害者の生活環境（建物、交通機関など）のバリアフリー化を推進」への要望が最も高い。それに対し、30代未婚男性や30代女性では「施設中心の福祉から地域生活中心の福祉へ転換を図ること」を最も重要視している。
- ・居住地域別にみると、武雄市エリア居住層で「障害者の働く場の確保」への要望が高い程度でそれ以外の内容に関しては、地域による差はみられない。

表1(5) 階層別にみた「障害者福祉」対応にむけて取り組むべき内容-1

	回収数	障害者の働く場の確保	福祉施設・地域生活中心の転換を図ること	生活環境のバリアフリー化を推進	障害者の生活環境の改善を促すこと	障害者に対する啓発活動の推進	年金・手当などの充実	障害者の福祉の充実	医療費の負担軽減
全体	1094	30.2	18.5	13.8	7.9	7.7	7.2	6.9	
< 性・年齢・未婚別 >									
男性	521	30.7	17.9	12.3	9.4	8.3	8.1	5.2	
20代・未婚	63	27.0	14.3	17.5	12.7	7.9	6.3	7.9	
20代・既婚	29	10.3	6.9	34.5	3.4	10.3	17.2	10.3	
30代・未婚	20	25.0	25.0	20.0	10.0	10.0	0.0	5.0	
30代・既婚	61	34.4	18.0	14.8	9.8	3.3	1.6	6.6	
40代	102	37.3	13.7	11.8	8.8	6.9	8.8	5.9	
50代	114	31.6	16.7	8.8	9.6	10.5	8.8	2.6	
60代以上	132	30.3	25.0	6.1	9.1	9.1	9.8	3.8	
女性	572	29.7	18.9	15.2	6.5	7.2	6.5	8.6	
20代・未婚	50	26.0	16.0	34.0	10.0	4.0	2.0	4.0	
20代・既婚	31	22.6	19.4	22.6	6.5	9.7	3.2	12.9	
30代・未婚	10	10.0	60.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	
30代・既婚	81	21.0	24.7	17.3	6.2	3.7	8.6	11.1	
40代	121	28.1	18.2	14.0	8.3	6.6	9.9	9.9	
50代	119	32.8	19.3	12.6	5.0	5.0	5.9	9.2	
60代以上	160	36.9	14.4	10.0	5.6	11.3	5.0	6.9	
< 居住年数別 >									
40年以上	320	34.4	18.1	10.9	9.1	8.4	8.1	3.4	
20～40年未満	394	31.5	19.0	13.5	9.1	6.6	6.1	7.1	
5～20年未満	253	24.5	19.0	13.4	5.9	9.5	7.1	10.7	
5年未満	127	26.8	16.5	22.8	4.7	5.5	8.7	7.9	
< 居住地域別 >									
佐賀市エリア	408	29.2	19.1	12.3	8.6	8.1	6.4	7.6	
唐津市エリア	253	28.9	15.8	12.6	9.9	7.1	11.1	7.5	
鳥栖市エリア	218	27.1	22.5	15.1	6.4	7.8	6.4	6.9	
武雄市エリア	214	36.9	16.4	16.8	5.6	7.5	5.1	4.7	
< 同居家族別 >									
乳幼児がいる	231	29.9	18.6	13.9	7.4	4.3	9.5	6.1	
1歳未満	52	26.9	21.2	21.2	9.6	1.9	5.8	5.8	
1歳～小学校入学前	206	30.1	18.9	12.1	6.8	4.9	10.2	6.3	
小学生	198	29.8	20.2	12.1	8.1	6.1	8.6	7.6	
中学生	125	30.4	18.4	13.6	10.4	8.0	7.2	8.0	
高校生	143	39.9	17.5	7.0	5.6	5.6	11.9	4.2	
短大・大学生・専門学校生	114	25.4	20.2	19.3	10.5	7.0	7.0	2.6	
未婚の社会人	396	31.8	16.9	14.4	9.8	7.3	6.3	6.1	
65歳以上の方	564	30.0	19.5	11.9	7.3	8.9	8.2	7.6	
この中にはいない	106	29.2	17.0	18.9	2.8	8.5	5.7	10.4	

注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 2

- ・佐賀県での暮らしへの満足度別にみて、目立った差はみられない。  
満足している・満足していないを問わず、「障害者の働く場の確保」が最も重要視されている。

表1(5) 階層別にみた「障害者福祉」対応にむけて取り組むべき内容-2

	回 収 数	保 障 者 の 働 く 場 の 確 保	へ地施 転域設 換生中 を活心 る中の福 この祉 と福か 祉ら	化を推 進バ リア フリー な	障 害 者 の 生 活 環 境 の 充 実	に啓 事 を 通 じ 報 を 充 実 す め	得年 制金 の 手 当 な ど の 所	討と保 すの障 る統た 合め、 に介の つい護 て保財 検源 確	制医 度療 の費 充に 実対 する 助 成
全 体	1094	30.2	18.5	13.8	7.9	7.7	7.2	6.9	
< 現在の満足度別 >									
満足している計	483	30.6	18.8	12.8	9.3	7.7	8.3	6.6	
満足している	37	35.1	18.9	8.1	2.7	10.8	5.4	8.1	
まあ満足している	446	30.3	18.8	13.2	9.9	7.4	8.5	6.5	
どちらともいえない	342	29.2	17.5	14.3	7.3	6.7	7.0	8.8	
満足していない計	255	29.8	19.2	14.9	6.3	8.6	5.5	5.1	
あまり満足していない	203	30.5	19.7	15.8	5.9	7.9	5.9	4.4	
満足していない	52	26.9	17.3	11.5	7.7	11.5	3.8	7.7	
< 福祉・保健・医療への期待度別 >									
期待している計	693	30.4	18.6	13.9	8.1	7.2	7.8	7.6	
期待している	303	33.0	17.2	12.9	6.9	9.2	6.9	7.6	
やや期待している	390	28.5	19.7	14.6	9.0	5.6	8.5	7.7	
どちらともいえない	199	31.7	20.6	12.6	7.0	8.5	6.0	4.5	
期待していない計	128	26.6	18.8	18.0	8.6	3.9	4.7	8.6	
あまり期待していない	99	28.3	18.2	19.2	9.1	3.0	3.0	9.1	
期待していない	29	20.7	20.7	13.8	6.9	6.9	10.3	6.9	

注) 数値は回収数を100とした%

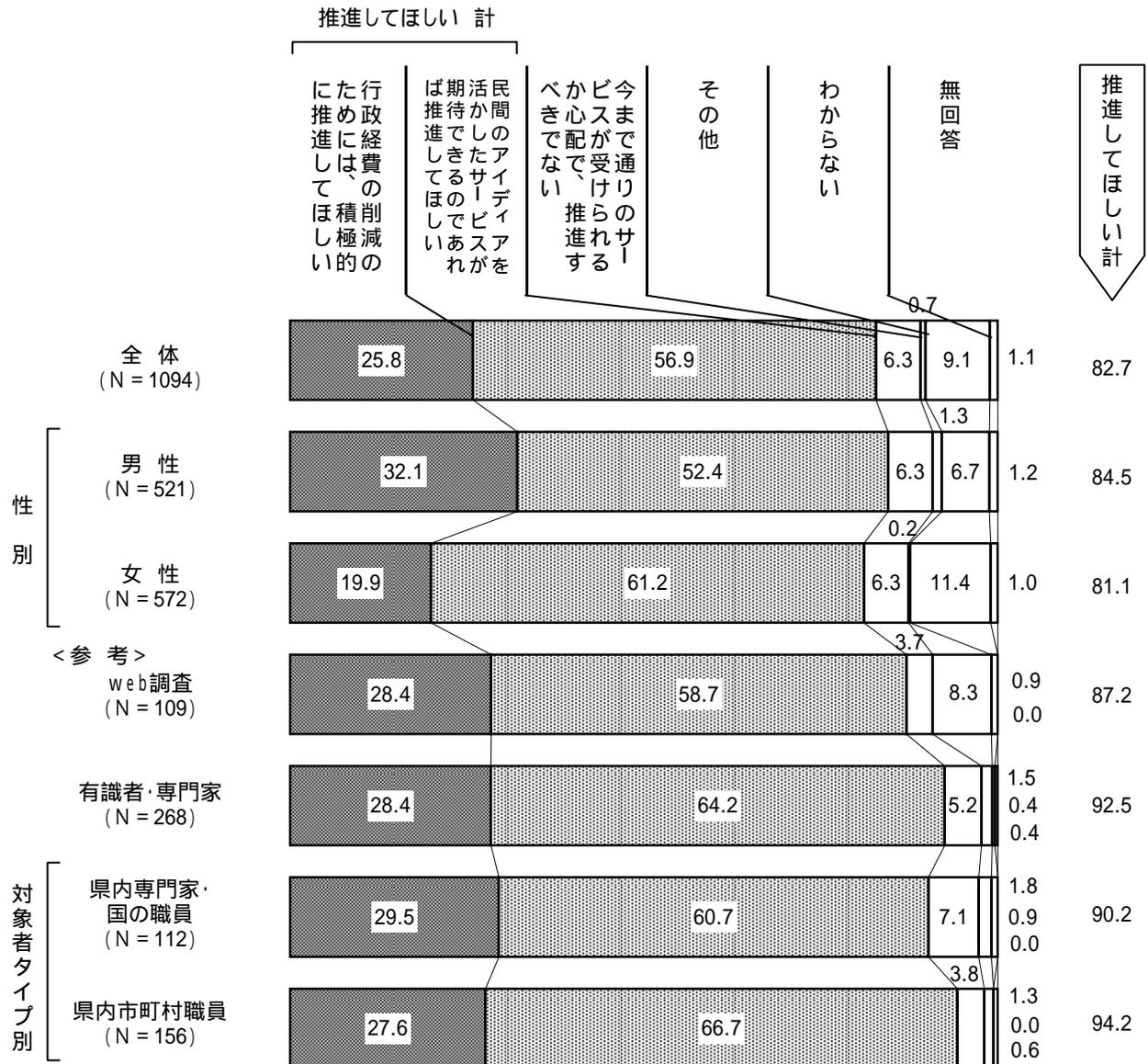
## (6) 「公共施設の民間への委譲・委託」に対する考え方

『公共施設の民間への委譲・委託』に関して、8割を超す人が「推進してほしい」との意向を示している。  
内訳をみると「行政経費の削減のためには、積極的に推進してほしい」と考える人は26%で、「民間のアイデアを活かしたサービスが期待できるのであれば、推進してほしい」との意向者が57%が多い。

性別にみると、男性で「推進してほしい」との意向者が多く、中でも「行政経費の削減のための積極的な推進」を望む人が多い。

有識者・専門家でも県民と同じく、「民間のアイデアを活かした推進」への期待を中心に9割以上の人々が推進に前向きである。

図1(6) 「公共施設の民間への委譲・委託」に対する考え方



注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向

- ・性・年齢・未既婚を問わず、「推進してほしい」との意向が高い。  
中でも、20代既婚男性や40代以上の男性で「行政経費の削減のためには積極的に推進してほしい」という積極推進意向が高くなっている。  
逆に、30代既婚女性や40・50代女性では「民間のアイデアを活かしたサービスが期待できるのであれば」という条件付きの推進意向が高い。

表1(6) 階層別にみた「公共施設の民間への委譲・委託」に対する考え方

	回収数	推進してほしい計	民間のアイデアを期待してほしい			進すべからぬサービスが
			行政経費の削減のため	民間のアイデアを期待して	進すべからぬサービスが	
全体	1094	82.7	25.8	56.9	6.3	
<b>&lt; 性・年齢・未既婚別 &gt;</b>						
男性	521	84.5	32.1	52.4	6.3	
20代・未婚	63	84.1	27.0	57.1	3.2	
20代・既婚	29	82.8	37.9	44.8	3.4	
30代・未婚	20	85.0	30.0	55.0	5.0	
30代・既婚	61	80.3	26.2	54.1	11.5	
40代	102	85.3	32.4	52.9	6.9	
50代	114	84.2	33.3	50.9	7.9	
60代以上	132	86.4	34.8	51.5	4.5	
女性	572	81.1	19.9	61.2	6.3	
20代・未婚	50	84.0	24.0	60.0	2.0	
20代・既婚	31	64.5	12.9	51.6	3.2	
30代・未婚	10	100.0	40.0	60.0	0.0	
30代・既婚	81	85.2	17.3	67.9	6.2	
40代	121	84.3	21.5	62.8	7.4	
50代	119	82.4	18.5	63.9	5.0	
60代以上	160	76.9	20.0	56.9	8.8	
<b>&lt; 居住年数別 &gt;</b>						
40年以上	320	83.1	25.3	57.8	6.6	
20～40年未満	394	83.5	27.4	56.1	6.6	
5～20年未満	253	83.0	26.1	56.9	5.9	
5年未満	127	78.7	21.3	57.5	5.5	
<b>&lt; 居住地域別 &gt;</b>						
佐賀市エリア	408	82.8	23.8	59.1	7.6	
唐津市エリア	253	81.0	24.5	56.5	5.1	
鳥栖市エリア	218	83.9	28.0	56.0	5.0	
武雄市エリア	214	83.2	29.0	54.2	6.5	

	回収数	推進してほしい計	民間のアイデアを期待してほしい			進すべからぬサービスが
			行政経費の削減のため	民間のアイデアを期待して	進すべからぬサービスが	
全体	1094	82.7	25.8	56.9	6.3	
<b>&lt; 現在の総合満足度別 &gt;</b>						
満足している計	483	87.2	23.6	63.6	4.8	
満足している	37	78.4	21.6	56.8	10.8	
まあ満足している	446	87.9	23.8	64.1	4.3	
どちらともいえない	342	80.1	26.6	53.5	8.2	
満足していない計	255	78.4	28.6	49.8	7.1	
あまり満足していない	203	81.3	26.1	55.2	5.4	
満足していない	52	67.3	38.5	28.8	13.5	
<b>&lt; 福祉・保健・医療への期待度別 &gt;</b>						
期待している計	693	85.4	25.0	60.5	6.1	
期待している	303	84.5	27.1	57.4	7.9	
やや期待している	390	86.2	23.3	62.8	4.6	
どちらともいえない	199	83.9	31.2	52.8	4.0	
期待していない計	128	74.2	24.2	50.0	9.4	
あまり期待していない	99	73.7	22.2	51.5	8.1	
期待していない	29	75.9	31.0	44.8	13.8	

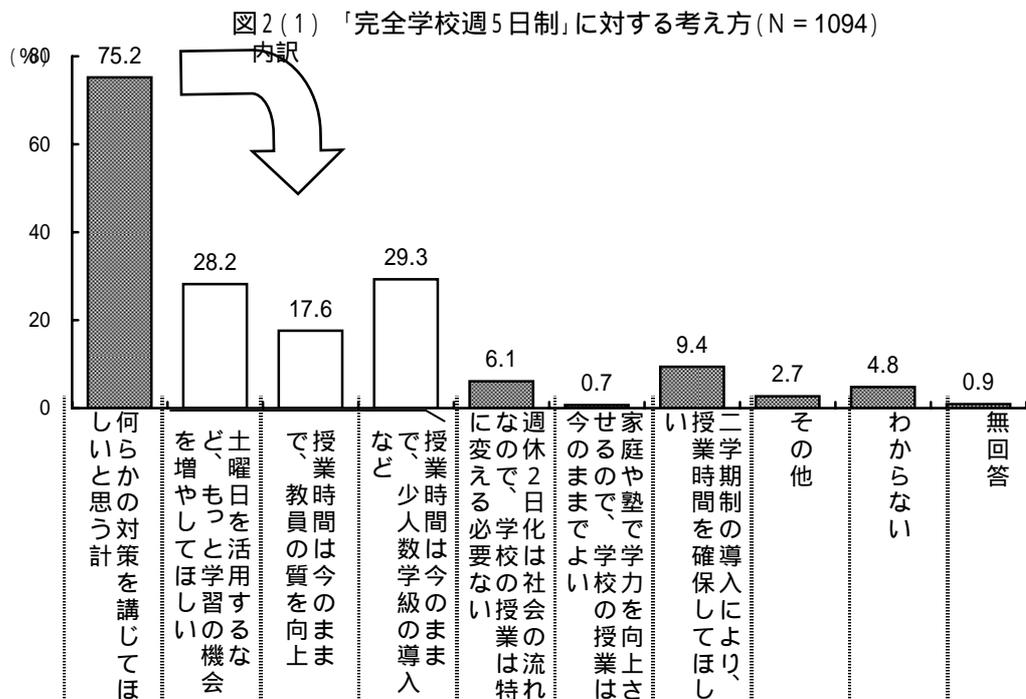
注) 数値は回収数を100とした%

## 2. 「教育・文化・スポーツ分野」に対する考え方

### (1) 「完全学校週5日制」に対する考え方

『完全学校週5日制』の実施に伴い、75%の人が「何らかの対策を講じてほしい」と望んでいる。  
 具体的には「授業時間は今のままで、少人数学級の導入など今以上のきめ細かな教育をしてほしい」(29%)、「土曜日を活用するなど、もっと学習の機会を増やしてほしい」(28%)などの意向が多くみられた。

有識者・専門家調査の結果をみると、県民以上に「授業時間は今のままで、少人数学級の導入など今以上のきめ細かな教育をしてほしい」との要望が多く、「土曜日を活用した学習機会の増加」よりも「教員の質の向上」を期待する人が多い。



性別	男性		女性	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
男性	521	73.5	572	76.9
女性	521	25.5	572	17.3
男性	521	18.0	572	28.8
女性	521	29.9	572	5.2
男性	521	7.1	572	0.5
女性	521	1.0	572	8.6
男性	521	10.2	572	3.1
女性	521	3.1	572	2.4
男性	521	3.8	572	5.8
女性	521	1.3	572	0.5

< 参考 >

調査対象	人数	何らかの対策を講じてほしい (%)	土曜日を活用するなど、もっと学習の機会を増やしてほしい (%)	授業時間は今のままで、少人数学級の導入など (%)								
web調査	109	68.8	20.2	19.3	29.4	8.3	0.9	10.1	10.1	1.8	0.0	
有識者・専門家	268	76.1	15.3	23.9	36.9	4.9	0.7	11.2	4.9	0.7	1.5	
対象者別	県内専門家・国の職員	112	75.0	17.0	23.2	34.8	3.6	0.0	14.3	4.5	1.8	0.9
	県内市町村職員	156	76.9	14.1	24.4	38.5	5.8	1.3	9.0	5.1	0.0	1.9

注) 数値は回収数を100とした%



\* 階層別にみた傾向 - 2

- ・佐賀県での暮らしへの満足度別にみると、満足している層では「週休2日化は社会の流れなので、学校の授業は特に変える必要ない」と考える人が他層に比べ多いものの、それでも2割弱である。  
4割ほどが「土曜日を活用するなど、もっと学習の機会を増やしてほしい」と望んでいる。一方、満足していない層では「授業時間は今のままで、教員の質を向上させて補ってほしい」との意向が高い。
- ・教育・文化・スポーツへの期待度別にみると、期待していると強い期待層では「授業時間は今のままで、少人数学級の導入など今以上のきめ細かな教育をしてほしい」との要望が高くなっている。

表2(1) 階層別にみた「完全学校週5日制」に対する考え方 - 2

	回収数	し何らかの対策を講じてほしいと思う計	をど、土曜日を活用する機会を増やしてほしいの機会	で授業時間は今のままで	など、授業時間は今のままで少人数学級の導入	にな週休2日化は社会的な流れに変わらなければならない授業者は	今のままでよい学校の授業は	家庭や塾で学力を向上させるため、学校の授業は	授二学期制を導入してほし	その他	わからない	無回答
全体	1094	75.2	28.2	17.6	29.3	6.1	0.7	9.4	2.7	4.8	0.9	
< 現在の満足度別 >												
満足している計	483	74.3	25.9	18.6	29.8	7.5	1.0	9.7	2.7	4.1	0.6	
満足している	37	62.2	40.5	8.1	13.5	16.2	0.0	5.4	5.4	5.4	5.4	
まあ満足している	446	75.3	24.7	19.5	31.2	6.7	1.1	10.1	2.5	4.0	0.2	
どちらともいえない	342	74.6	29.2	16.1	29.2	5.6	0.6	9.9	2.6	5.6	1.2	
満足していない計	255	77.6	30.2	18.4	29.0	4.7	0.0	8.2	3.1	5.1	1.2	
あまり満足していない	203	77.8	32.0	16.3	29.6	4.4	0.0	8.4	3.9	3.9	1.5	
満足していない	52	76.9	23.1	26.9	26.9	5.8	0.0	7.7	0.0	9.6	0.0	
< 教育・文化・スポーツへの期待度別 >												
期待している計	541	79.1	26.6	17.4	35.1	5.2	0.2	9.6	3.1	2.0	0.7	
期待している	180	80.0	28.9	13.9	37.2	5.0	0.6	10.0	2.8	1.1	0.6	
やや期待している	361	78.7	25.5	19.1	34.1	5.3	0.0	9.4	3.3	2.5	0.8	
どちらともいえない	322	72.4	28.6	15.2	28.6	6.5	1.2	9.3	2.8	6.8	0.9	
期待していない計	142	70.4	29.6	21.1	19.7	7.7	1.4	11.3	2.8	6.3	0.0	
あまり期待していない	115	71.3	30.4	20.9	20.0	6.1	1.7	12.2	2.6	6.1	0.0	
期待していない	27	66.7	25.9	22.2	18.5	14.8	0.0	7.4	3.7	7.4	0.0	

注) 数値は回収数を100とした%

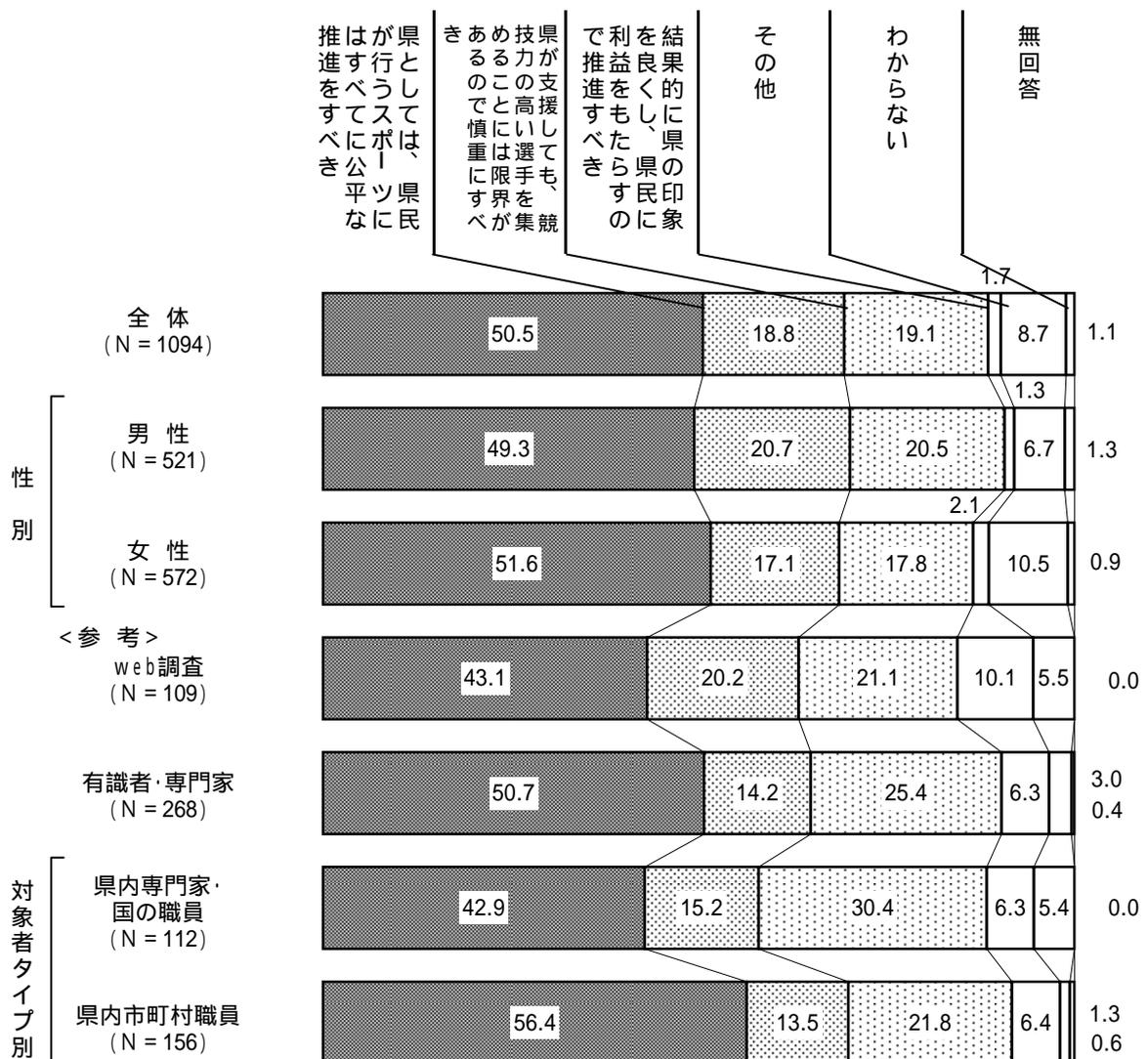
## (2)「県がスポーツ支援する」ことに対する考え方

『マスコミがよく取り上げるスポーツに県が支援する』ことについて、半数の人は「県としては県民が行うスポーツにはすべてに公平な推進をすべき」と捉えている。また、「マスコミに大きく取り上げられる特定のスポーツを強化することは、結果的に県の印象を良くし、県民に利益をもたらすので推進すべき」と考える人が19%みられた。

一方、「県が支援しても、競技力の高い選手を集めることには限界があると考えられるので慎重にすべき」と慎重論を唱える人も19%みられた。

有識者・専門家では対象者タイプにより、若干考えが異なっている。県内専門家・国の職員では「特定のスポーツを強化することは、結果的に県の印象を良くし、県民に利益をもたらすので推進すべき」、県内市町村職員では県民と同じく、「県民が行うスポーツにはすべてに公平な推進をすべき」との意識が高い。

図2(2) 「県がスポーツ支援する」ことに対する考え方



注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 1

- ・ 性・年齢・未婚別みると、「県民が行うスポーツにはすべてに公平な推進をすべき」との意向は、30代既婚男性や40代男性と30・40代女性で特に高い。
- ・ 一方、各層とも「すべてに公平な推進をすべき」との意向が最も高い中、30代未婚男性では「県が支援しても、競技力の高い選手を集めることには限界があると考えられるので慎重にすべき」との意向が最も高くなっている。

表2(2) 階層別にみた「県がスポーツ支援する」ことに対する考え方 - 1

	回収数	すべてに公平な推進をすべき	県として、県民が慎重にすべき	県が支援しても、競技力の高い選手を集めるのに限界がある	うまくならぬ印象を推進	その他	わからない	無回答
全体	1094	50.5	18.8	19.1	1.7	8.7	1.1	
< 性・年齢・未婚別 >								
男性	521	49.3	20.7	20.5	1.3	6.7	1.3	
20代・未婚	63	41.3	20.6	20.6	3.2	14.3	0.0	
20代・既婚	29	48.3	31.0	20.7	0.0	0.0	0.0	
30代・未婚	20	30.0	40.0	20.0	0.0	5.0	5.0	
30代・既婚	61	60.7	13.1	13.1	3.3	6.6	3.3	
40代	102	56.9	17.6	19.6	0.0	4.9	1.0	
50代	114	44.7	21.9	22.8	1.8	7.0	1.8	
60代以上	132	49.2	20.5	22.7	0.8	6.1	0.8	
女性	572	51.6	17.1	17.8	2.1	10.5	0.9	
20代・未婚	50	50.0	12.0	26.0	6.0	6.0	0.0	
20代・既婚	31	48.4	25.8	9.7	3.2	12.9	0.0	
30代・未婚	10	60.0	0.0	30.0	0.0	10.0	0.0	
30代・既婚	81	56.8	22.2	7.4	2.5	9.9	1.2	
40代	121	57.9	16.5	15.7	3.3	5.8	0.8	
50代	119	53.8	16.0	21.0	0.0	9.2	0.0	
60代以上	160	43.1	16.9	20.6	1.3	16.3	1.9	
< 居住年数別 >								
40年以上	320	49.7	19.4	20.6	0.0	9.1	1.3	
20～40年未満	394	51.8	19.3	19.5	2.0	6.9	0.5	
5～20年未満	253	49.0	18.6	16.6	2.8	11.1	2.0	
5年未満	127	52.0	16.5	18.9	3.1	8.7	0.8	
< 居住地域別 >								
佐賀市エリア	408	52.9	18.1	18.4	1.2	8.3	1.0	
唐津市エリア	253	50.2	16.6	20.2	1.2	11.1	0.8	
鳥栖市エリア	218	50.5	20.6	18.3	2.3	6.4	1.8	
武雄市エリア	214	46.7	21.0	20.1	2.8	8.4	0.9	
< 同居家族別 >								
乳幼児がいる	231	52.4	20.8	12.1	2.2	10.4	2.2	
1歳未満	52	53.8	21.2	11.5	1.9	7.7	3.8	
1歳～小学校入学前	206	51.0	21.4	12.1	2.4	11.2	1.9	
小学生	198	58.6	16.7	11.6	3.0	8.6	1.5	
中学生	125	52.8	12.0	20.0	3.2	11.2	0.8	
高校生	143	55.9	17.5	17.5	0.7	8.4	0.0	
短大・大学生・専門学校生	114	49.1	19.3	21.9	3.5	5.3	0.9	
未婚の社会人	396	50.5	20.2	19.2	1.3	7.6	1.3	
65歳以上の方	564	52.0	17.9	20.4	1.4	7.3	1.1	
この中にはいない	106	46.2	17.0	21.7	0.9	14.2	0.0	

注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 2

- ・佐賀県での暮らしへの満足度別にみると、満足している層では「県民が行うスポーツにはすべてに公平な推進をすべき」との意向が他層に比べ、最も高い。
- ・教育・文化・スポーツへの期待度別にみると、期待していると強い期待を抱いている層では「県民が行うスポーツにはすべてに公平な推進をすべき」との意向が高い。  
一方、期待していない（計）層では「県が支援しても、競技力の高い選手を集めることには限界があると考えられるので慎重にすべき」との意向が期待している層に比べ高くなっている。

表2(2) 階層別にみた「県がスポーツ支援する」ことに対する考え方 - 2

	回収数	県として公平な推進をすべき	県が支援しても、競技力を高めるには限界がある	結果的に県民の印象を良くするのを進めたい	その他	わからない	無回答
全体	1094	50.5	18.8	19.1	1.7	8.7	1.1
< 現在の満足度別 >							
満足している計	483	51.1	18.4	21.5	1.2	6.8	0.8
満足している	37	56.8	13.5	16.2	5.4	5.4	2.7
まあ満足している	446	50.7	18.8	22.0	0.9	7.0	0.7
どちらともいえない	342	48.5	20.5	16.7	1.8	11.4	1.2
満足していない計	255	52.9	18.0	16.9	2.7	7.8	1.6
あまり満足していない	203	54.7	17.7	16.7	3.0	6.4	1.5
満足していない	52	46.2	19.2	17.3	1.9	13.5	1.9
< 教育・文化・スポーツへの期待度別 >							
期待している計	541	54.7	19.0	19.2	1.8	4.3	0.9
期待している	180	57.2	15.6	21.1	1.7	3.3	1.1
やや期待している	361	53.5	20.8	18.3	1.9	4.7	0.8
どちらともいえない	322	49.4	18.0	18.9	1.2	11.2	1.2
期待していない計	142	44.4	23.9	19.7	2.8	7.7	1.4
あまり期待していない	115	43.5	24.3	20.9	2.6	7.8	0.9
期待していない	27	48.1	22.2	14.8	3.7	7.4	3.7

注) 数値は回収数を100とした%

### 3. 「交通・社会基盤整備分野」に対する考え方

#### (1) 「社会資本の整備」に対する意識

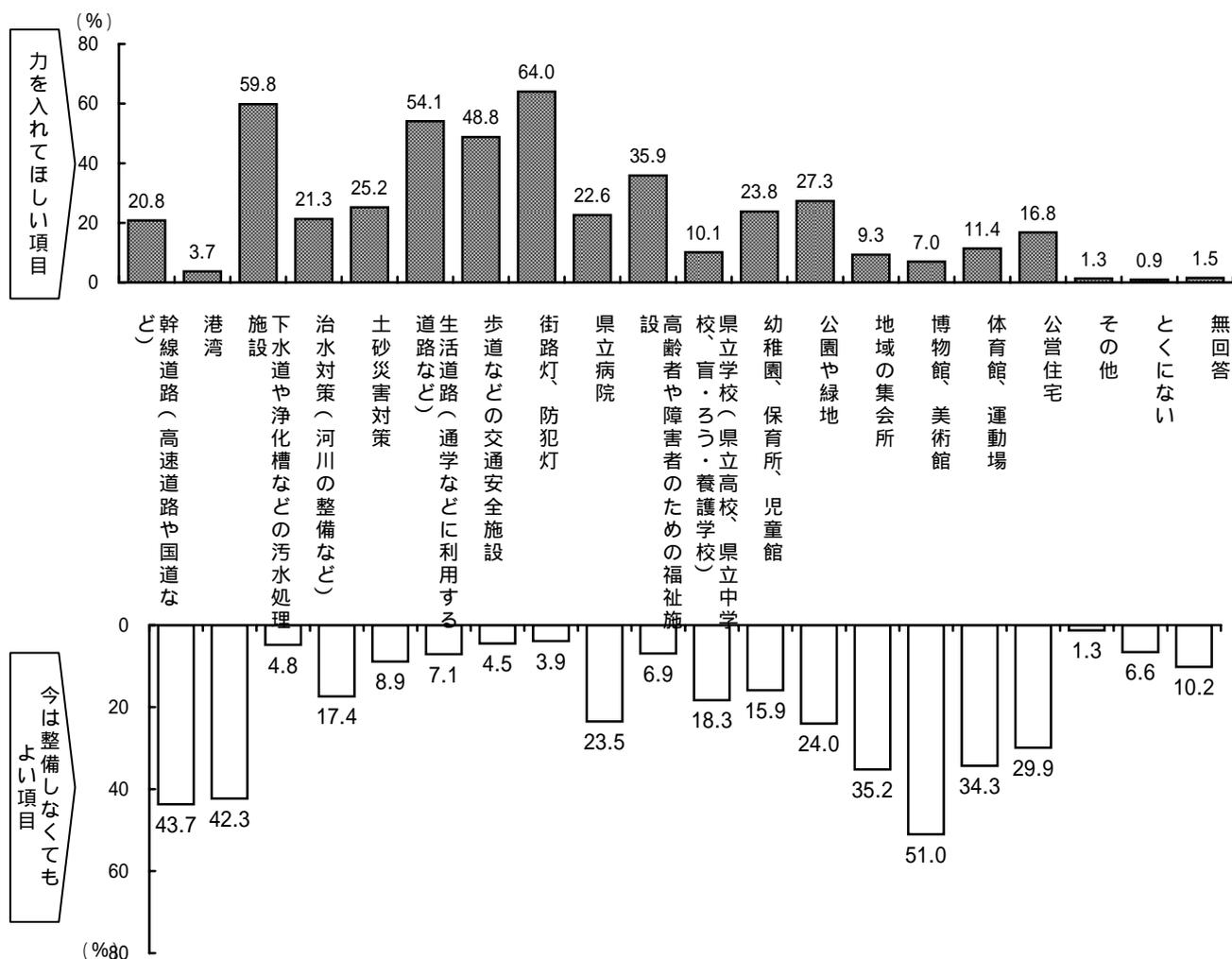
##### 「社会資本の整備」の優先順位に対する考え方

道路、河川、下水道、公園など暮らしの基盤となる『社会資本の整備』の中で力を入れてほしい内容として、「街路灯、防犯灯」(64%)をトップに、「下水道や浄化槽などの污水处理施設」(60%)、「生活道路(通学などに利用する道路など)」(54%)、などが半数以上の人から望まれている。

以下、「歩道などの交通安全施設(49%)」、「高齢者や障害者のための福祉施設」(36%)、「土砂災害対策」(25%)が続く。

それに対し、「幹線道路(高速道路や国道など)」(44%)や「港湾」(42%)、「博物館、美術館」(51%)、「地域の集会所」(35%)、「体育館、運動場」(34%)などは「今は整備しなくてもよい」との回答が多くなっている。

図3(1) 「社会資本の整備」の優先順位に対する考え方(N = 1094)



注) 数値は回収数を100とした%

\* 性別にみた傾向

各内容とも、概ね男性で「力を入れてほしい」との意向が高い。  
中でも、「幹線道路」「生活道路」といった“道路関連”や「下水道や浄化槽などの汚水処理施設」「治水対策」でその傾向がみられる。

一方、女性では「街路灯、防犯灯」への意向が男性に比べ、高くなっている。

表3(1) 性別にみた「社会資本の整備」の優先順位に対する考え方 - 1

	回収数	幹線道路		港湾		下水道や浄化槽などの汚水処理施設		治水対策		土砂災害対策		生活道路		歩道などの交通安全施設		街路灯、防犯灯		県立病院		
		力を入れてほしい	整備しなくてもよい	力を入れてほしい	整備しなくてもよい	力を入れてほしい	整備しなくてもよい	力を入れてほしい	整備しなくてもよい	力を入れてほしい	整備しなくてもよい	力を入れてほしい	整備しなくてもよい	力を入れてほしい	整備しなくてもよい	力を入れてほしい	整備しなくてもよい	力を入れてほしい	整備しなくてもよい	
全体	1094	20.8	43.7	3.7	42.3	59.8	4.8	21.3	17.4	25.2	8.9	54.1	7.1	48.8	4.5	64.0	3.9	22.6	23.5	
性別																				
男性	521	27.6	41.8	5.0	45.1	61.8	5.4	25.0	19.6	24.0	10.2	56.8	6.5	47.6	4.2	58.9	4.8	21.7	27.8	
女性	572	14.7	45.3	2.6	39.7	57.9	4.4	18.0	15.2	26.4	7.5	51.7	7.7	50.0	4.7	68.5	3.1	23.4	19.4	

	回収数	高齢者や障害者のための福祉施設		県立学校		幼稚園、保育所、児童館		公園や緑地		地域の集会所		博物館、美術館		体育館、運動場		公営住宅	
		力を入れてほしい	整備しなくてもよい	力を入れてほしい	整備しなくてもよい	力を入れてほしい	整備しなくてもよい	力を入れてほしい	整備しなくてもよい	力を入れてほしい	整備しなくてもよい	力を入れてほしい	整備しなくてもよい	力を入れてほしい	整備しなくてもよい	力を入れてほしい	整備しなくてもよい
全体	1094	35.9	6.9	10.1	18.3	23.8	15.9	27.3	24.0	9.3	35.2	7.0	51.0	11.4	34.3	16.8	29.9
性別																	
男性	521	36.3	7.7	11.7	21.1	22.5	17.1	26.7	24.2	12.1	32.6	6.9	54.5	14.0	36.5	17.7	34.9
女性	572	35.7	6.1	8.7	15.7	25.0	14.9	28.0	24.0	6.8	37.6	7.2	47.9	9.1	32.3	15.9	25.3

注) 数値は回収数を100とした%

\* 性・年齢・未既婚別にみた傾向

- ・各層とも「街路灯、防犯灯」に最も力を入れてほしいとの要望が高い。  
20・30代の女性だけでなく、40・50代でも高い意向となっている。  
一方、30代未婚男性や50代以上の男性では「下水道や浄化槽などの汚水処理施設」、  
30代既婚男女や40代男性では「生活道路」の整備への要望が最も高い。
- ・その他、20・30代既婚層では子供のことを考えて、「幼稚園、保育所、児童館」  
「公園や緑地」の整備を求める意向が高い。

表3(1) 性・年齢・未既婚別にみた「社会資本の整備」の優先順位に対する考え方 - 2

	回 収 数	幹線道路		港 湾		下水道や浄化槽などの汚水処理施設		治水対策		土砂災害対策		生活道路		歩道などの交通安全施設		街路灯、防犯灯		県立病院	
		し力を 入れて ほ	も整 備し なく て	し力を 入れて ほ	も整 備し なく て	し力を 入れて ほ	も整 備し なく て	し力を 入れて ほ	も整 備し なく て	し力を 入れて ほ	も整 備し なく て	し力を 入れて ほ	も整 備し なく て	し力を 入れて ほ	も整 備し なく て	し力を 入れて ほ	も整 備し なく て	し力を 入れて ほ	も整 備し なく て
全 体	1094	20.8	43.7	3.7	42.3	59.8	4.8	21.3	17.4	25.2	8.9	54.1	7.1	48.8	4.5	64.0	3.9	22.6	23.5
< 性・年齢・未既婚別 >																			
男 性	521	27.6	41.8	5.0	45.1	61.8	5.4	25.0	19.6	24.0	10.2	56.8	6.5	47.6	4.2	58.9	4.8	21.7	27.8
20代・未婚	63	31.7	41.3	7.9	49.2	61.9	3.2	19.0	23.8	33.3	9.5	55.6	9.5	46.0	9.5	69.8	1.6	22.2	17.5
20代・既婚	29	34.5	34.5	3.4	41.4	41.4	6.9	24.1	20.7	34.5	3.4	41.4	6.9	51.7	0.0	55.2	10.3	24.1	24.1
30代・未婚	20	20.0	50.0	10.0	25.0	70.0	5.0	25.0	20.0	20.0	15.0	40.0	15.0	30.0	15.0	55.0	25.0	30.0	40.0
30代・既婚	61	37.7	45.9	3.3	49.2	54.1	4.9	21.3	27.9	14.8	18.0	72.1	3.3	45.9	4.9	63.9	4.9	18.0	27.9
40代	102	24.5	47.1	5.9	51.0	54.9	8.8	17.6	25.5	15.7	13.7	57.8	3.9	53.9	2.9	55.9	5.9	21.6	34.3
50代	114	23.7	41.2	2.6	48.2	63.2	4.4	29.8	16.7	23.7	7.0	59.6	4.4	50.0	4.4	60.5	0.9	17.5	32.5
60代以上	132	26.5	37.1	5.3	37.9	72.7	4.5	31.1	11.4	28.8	7.6	53.0	9.1	43.9	1.5	53.8	4.5	25.0	22.7
女 性	572	14.7	45.3	2.6	39.7	57.9	4.4	18.0	15.2	26.4	7.5	51.7	7.7	50.0	4.7	68.5	3.1	23.4	19.4
20代・未婚	50	22.0	54.0	2.0	42.0	56.0	6.0	10.0	10.0	20.0	10.0	52.0	16.0	52.0	2.0	76.0	4.0	24.0	16.0
20代・既婚	31	19.4	48.4	6.5	38.7	48.4	0.0	12.9	16.1	38.7	6.5	41.9	9.7	45.2	3.2	71.0	0.0	12.9	19.4
30代・未婚	10	20.0	50.0	10.0	50.0	60.0	20.0	0.0	40.0	10.0	10.0	40.0	20.0	40.0	0.0	90.0	0.0	50.0	10.0
30代・既婚	81	16.0	48.1	1.2	48.1	51.9	6.2	12.3	19.8	29.6	7.4	63.0	4.9	53.1	4.9	59.3	2.5	23.5	21.0
40代	121	12.4	42.1	2.5	43.8	58.7	3.3	14.9	24.0	20.7	9.1	56.2	7.4	52.9	5.0	74.4	1.7	21.5	21.5
50代	119	20.2	47.1	4.2	38.7	57.1	4.2	22.7	10.1	32.8	5.9	52.1	6.7	52.9	4.2	70.6	1.7	21.8	18.5
60代以上	160	8.1	41.3	1.3	31.9	63.1	3.8	24.4	10.0	25.0	6.9	45.0	6.3	45.0	6.3	63.1	6.3	26.3	19.4

	回 収 数	高齢者や障害者のための福祉施設		県立学校		幼稚園、保育所、児童館		公園や緑地		地域の集会所		博物館、美術館		体育館、運動場		公営住宅	
		し力を 入れて ほ	も整 備し なく て														
全 体	1094	35.9	6.9	10.1	18.3	23.8	15.9	27.3	24.0	9.3	35.2	7.0	51.0	11.4	34.3	16.8	29.9
< 性・年齢・未既婚別 >																	
男 性	521	36.3	7.7	11.7	21.1	22.5	17.1	26.7	24.2	12.1	32.6	6.9	54.5	14.0	36.5	17.7	34.9
20代・未婚	63	38.1	9.5	14.3	17.5	19.0	25.4	19.0	30.2	6.3	38.1	9.5	58.7	17.5	50.8	27.0	33.3
20代・既婚	29	24.1	6.9	13.8	24.1	62.1	3.4	48.3	27.6	10.3	55.2	10.3	58.6	27.6	37.9	34.5	41.4
30代・未婚	20	35.0	5.0	20.0	15.0	15.0	10.0	15.0	35.0	5.0	35.0	10.0	30.0	20.0	35.0	35.0	15.0
30代・既婚	61	29.5	8.2	13.1	44.3	18.0	47.5	13.1	4.9	39.3	4.9	57.4	18.0	29.5	9.8	34.4	
40代	102	29.4	9.8	18.6	19.6	17.6	18.6	25.5	27.5	11.8	37.3	11.8	57.8	15.7	39.2	15.7	37.3
50代	114	40.4	7.9	7.9	21.9	18.4	14.0	21.1	21.1	19.3	21.1	2.6	57.0	6.1	36.8	19.3	31.6
60代以上	132	43.2	5.3	6.1	27.3	13.6	18.2	23.5	24.2	13.6	28.0	5.3	49.2	12.1	30.3	10.6	38.6
女 性	572	35.7	6.1	8.7	15.7	25.0	14.9	28.0	24.0	6.8	37.6	7.2	47.9	9.1	32.3	15.9	25.3
20代・未婚	50	48.0	0.0	12.0	10.0	26.0	4.0	32.0	24.0	4.0	34.0	14.0	44.0	6.0	38.0	20.0	16.0
20代・既婚	31	25.8	3.2	6.5	19.4	64.5	16.1	51.6	16.1	0.0	71.0	6.5	67.7	9.7	48.4	25.8	9.7
30代・未婚	10	30.0	20.0	10.0	10.0	40.0	30.0	40.0	20.0	0.0	30.0	20.0	50.0	10.0	20.0	10.0	30.0
30代・既婚	81	33.3	3.7	13.6	12.3	39.5	7.4	38.3	18.5	3.7	37.0	6.2	49.4	11.1	40.7	18.5	22.2
40代	121	37.2	6.6	10.7	14.9	22.3	19.0	24.0	25.6	6.6	41.3	4.1	47.9	13.2	26.4	15.7	26.4
50代	119	33.6	8.4	5.9	17.6	15.1	20.2	19.3	26.1	7.6	31.9	6.7	52.1	9.2	31.1	17.6	24.4
60代以上	160	35.6	6.9	6.3	18.1	18.1	13.8	25.6	25.6	10.6	34.4	7.5	41.3	5.6	29.4	10.6	32.5

注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向

- ・居住地域別にみると、「街路灯、防犯灯」はエリアを問わず望まれ、特に佐賀市エリア居住層で高い。  
唐津市エリア居住層では「高齢者や障害者のための福祉施設」「土砂災害対策」「幹線道路」、  
武雄市エリア居住層では「下水道や浄化槽などの污水处理施設」「治水対策」の意向が高い。
- ・交通・社会基盤整備への期待度別にみると、期待度の高い層では「生活道路」「歩道などの交通安全施設」「公園や緑地」「幹線道路」への要望が他層に比べ高い。

表3(1) 階層別にみた「社会資本の整備」の優先順位に対する考え方 - 3

	回 収 数	幹線道路		港 湾		下水道や浄化槽などの污水处理施設		治水対策		土砂災害対策		生活道路		歩道などの交通安全施設		街路灯、防犯灯		県立病院	
		し力を 入れて ほ	も整 備い しな くて	し力を 入れて ほ	も整 備い しな くて	し力を 入れて ほ	も整 備い しな くて	し力を 入れて ほ	も整 備い しな くて	し力を 入れて ほ	も整 備い しな くて	し力を 入れて ほ	も整 備い しな くて	し力を 入れて ほ	も整 備い しな くて	し力を 入れて ほ	も整 備い しな くて	し力を 入れて ほ	も整 備い しな くて
全 体	1094	20.8	43.7	3.7	42.3	59.8	4.8	21.3	17.4	25.2	8.9	54.1	7.1	48.8	4.5	64.0	3.9	22.6	23.5
< 居住地域別 >																			
佐賀市エリア	408	15.9	47.1	2.5	42.6	61.0	4.7	24.3	15.4	21.8	10.0	56.4	5.6	49.3	4.7	69.1	4.4	27.0	19.6
唐津市エリア	253	28.5	42.7	5.5	38.7	54.2	8.3	11.5	19.8	33.2	7.1	50.6	7.1	45.8	5.1	58.5	3.6	21.3	24.9
鳥栖市エリア	218	17.4	48.2	1.4	44.5	56.4	2.3	21.1	17.9	19.7	8.3	54.6	10.6	49.1	2.8	66.1	3.2	21.6	26.6
武雄市エリア	214	24.8	34.1	6.5	43.9	67.8	3.7	27.6	17.8	28.0	9.3	53.7	6.5	51.4	5.1	58.9	4.2	16.8	26.2
< 交通・社会基盤整備への期待度別 >																			
期待している計	493	27.2	37.3	3.9	40.2	62.7	3.7	22.7	17.4	26.4	9.3	60.2	6.1	52.3	4.5	63.5	2.2	23.7	24.3
期待している	149	31.5	32.2	2.7	40.3	62.4	4.0	23.5	18.1	25.5	10.1	68.5	3.4	61.7	3.4	61.7	2.0	20.1	24.8
やや期待している	344	25.3	39.5	4.4	40.1	62.8	3.5	22.4	17.2	26.7	9.0	56.7	7.3	48.3	4.9	64.2	2.3	25.3	24.1
どちらともいえない	348	16.4	51.1	3.2	44.3	56.9	6.6	22.4	17.2	25.0	7.2	54.0	6.6	46.8	3.7	65.8	4.6	20.1	21.3
期待していない計	158	14.6	55.7	5.7	48.1	62.0	5.1	16.5	21.5	22.8	12.7	45.6	11.4	51.9	5.1	69.6	5.1	24.7	27.8
あまり期待していない	119	14.3	53.8	3.4	48.7	64.7	4.2	14.3	21.0	21.0	11.8	48.7	9.2	54.6	5.9	66.4	5.9	21.0	26.9
期待していない	39	15.4	61.5	12.8	46.2	53.8	7.7	23.1	23.1	28.2	15.4	35.9	17.9	43.6	2.6	79.5	2.6	35.9	30.8

	回 収 数	高齢者や障害者のための福祉施設		県立学校		幼稚園、保育所、児童館		公園や緑地		地域の集会所		博物館、美術館		体育館、運動場		公営住宅	
		し力を 入れて ほ	も整 備い しな くて														
全 体	1094	35.9	6.9	10.1	18.3	23.8	15.9	27.3	24.0	9.3	35.2	7.0	51.0	11.4	34.3	16.8	29.9
< 居住地域別 >																	
佐賀市エリア	408	36.3	6.4	7.8	19.6	26.5	11.5	27.9	21.8	8.1	37.5	4.9	53.4	11.3	33.6	18.6	31.9
唐津市エリア	253	41.5	6.7	11.1	15.0	21.3	21.3	26.1	24.1	8.3	35.6	7.5	51.0	9.5	33.2	16.2	30.8
鳥栖市エリア	218	36.7	6.0	11.0	14.7	25.2	16.5	26.1	30.3	8.7	32.6	8.7	50.0	11.9	35.8	15.6	25.2
武雄市エリア	214	28.0	8.9	12.6	23.4	20.1	17.3	28.5	22.0	13.6	33.2	8.9	47.7	13.6	35.5	15.4	29.9
< 交通・社会基盤整備への期待度別 >																	
期待している計	493	36.7	5.5	11.8	18.3	23.9	16.0	30.2	25.8	10.3	37.3	7.7	55.4	9.9	37.7	15.4	30.6
期待している	149	29.5	8.1	12.1	22.1	22.8	13.4	34.9	22.1	11.4	35.6	7.4	54.4	8.7	36.9	18.1	29.5
やや期待している	344	39.8	4.4	11.6	16.6	24.4	17.2	28.2	27.3	9.9	38.1	7.8	55.8	10.5	38.1	14.2	31.1
どちらともいえない	348	33.6	8.3	8.9	17.5	26.7	14.7	25.6	22.7	7.2	34.2	6.0	50.0	11.5	33.9	19.5	28.7
期待していない計	158	38.0	8.2	9.5	22.8	24.1	18.4	28.5	23.4	9.5	35.4	7.6	47.5	16.5	34.2	15.2	36.1
あまり期待していない	119	39.5	6.7	5.0	22.7	24.4	16.0	28.6	26.1	7.6	36.1	5.9	48.7	16.8	31.9	14.3	36.1
期待していない	39	33.3	12.8	23.1	23.1	23.1	25.6	28.2	15.4	15.4	33.3	12.8	43.6	15.4	41.0	17.9	35.9

注) 数値は回収数を100とした%

## < 参 考 >

### web調査の結果(N = 109)

	幹線道路	港湾	下水道処理施設 浄化槽など	治水対策	土砂災害対策	生活道路	歩道などの 交通安全施設	街路灯、 防犯灯	県立病院	高齢者や障 害者のた めの福祉施設	県立学校	幼稚園、 保育所、 児 童館	公園や緑地	地域の集会所	博物館、 美術館	体育館、 運動場	公営住宅
力を入れてほしい	33.9	8.3	55.0	22.0	17.4	46.8	59.6	47.7	18.3	27.5	8.3	26.6	30.3	10.1	13.8	8.3	6.4
整備しなくてもよい	39.4	49.5	5.5	14.7	13.8	7.3	1.8	6.4	30.3	11.0	20.2	7.3	15.6	28.4	46.8	45.0	43.1

### 有識者・専門家調査の結果

#### < 全体: N = 268 >

	幹線道路	港湾	下水道処理施設 浄化槽など	治水対策	土砂災害対策	生活道路	歩道などの 交通安全施設	街路灯、 防犯灯	県立病院	高齢者や障 害者のた めの福祉施設	県立学校	幼稚園、 保育所、 児 童館	公園や緑地	地域の集会所	博物館、 美術館	体育館、 運動場	公営住宅
力を入れてほしい	39.6	6.7	68.7	22.0	20.5	56.3	58.2	47.0	15.7	31.0	9.7	24.3	18.7	10.4	6.3	8.6	11.6
整備しなくてもよい	35.4	42.5	1.9	16.0	8.6	3.4	1.1	3.7	31.7	6.3	23.1	14.6	32.1	31.3	66.8	49.3	40.3

#### < 県内専門家・国の職員: N = 112 >

	幹線道路	港湾	下水道処理施設 浄化槽など	治水対策	土砂災害対策	生活道路	歩道などの 交通安全施設	街路灯、 防犯灯	県立病院	高齢者や障 害者のた めの福祉施設	県立学校	幼稚園、 保育所、 児 童館	公園や緑地	地域の集会所	博物館、 美術館	体育館、 運動場	公営住宅
力を入れてほしい	26.8	4.5	65.2	22.3	20.5	55.4	57.1	53.6	17.0	33.9	9.8	26.8	24.1	12.5	8.9	11.6	8.0
整備しなくてもよい	45.5	47.3	1.8	18.8	10.7	1.8	0.9	2.7	25.9	4.5	17.0	11.6	20.5	36.6	62.5	42.9	48.2

#### < 県内市町村職員: N = 156 >

	幹線道路	港湾	下水道処理施設 浄化槽など	治水対策	土砂災害対策	生活道路	歩道などの 交通安全施設	街路灯、 防犯灯	県立病院	高齢者や障 害者のた めの福祉施設	県立学校	幼稚園、 保育所、 児 童館	公園や緑地	地域の集会所	博物館、 美術館	体育館、 運動場	公営住宅
力を入れてほしい	48.7	8.3	71.2	21.8	20.5	57.1	59.0	42.3	14.7	28.8	9.6	22.4	14.7	9.0	4.5	6.4	14.1
整備しなくてもよい	28.2	39.1	1.9	14.1	7.1	4.5	1.3	4.5	35.9	7.7	27.6	16.7	40.4	27.6	69.9	53.8	34.6

注) 数値は回収数を100とした%

## 「社会資本の整備」の進行に対する考え方

『社会資本の整備の進行』に対しては、「必要性、緊急性のあるものに絞り込んで行うべき」と考える人が61%で最も多い。

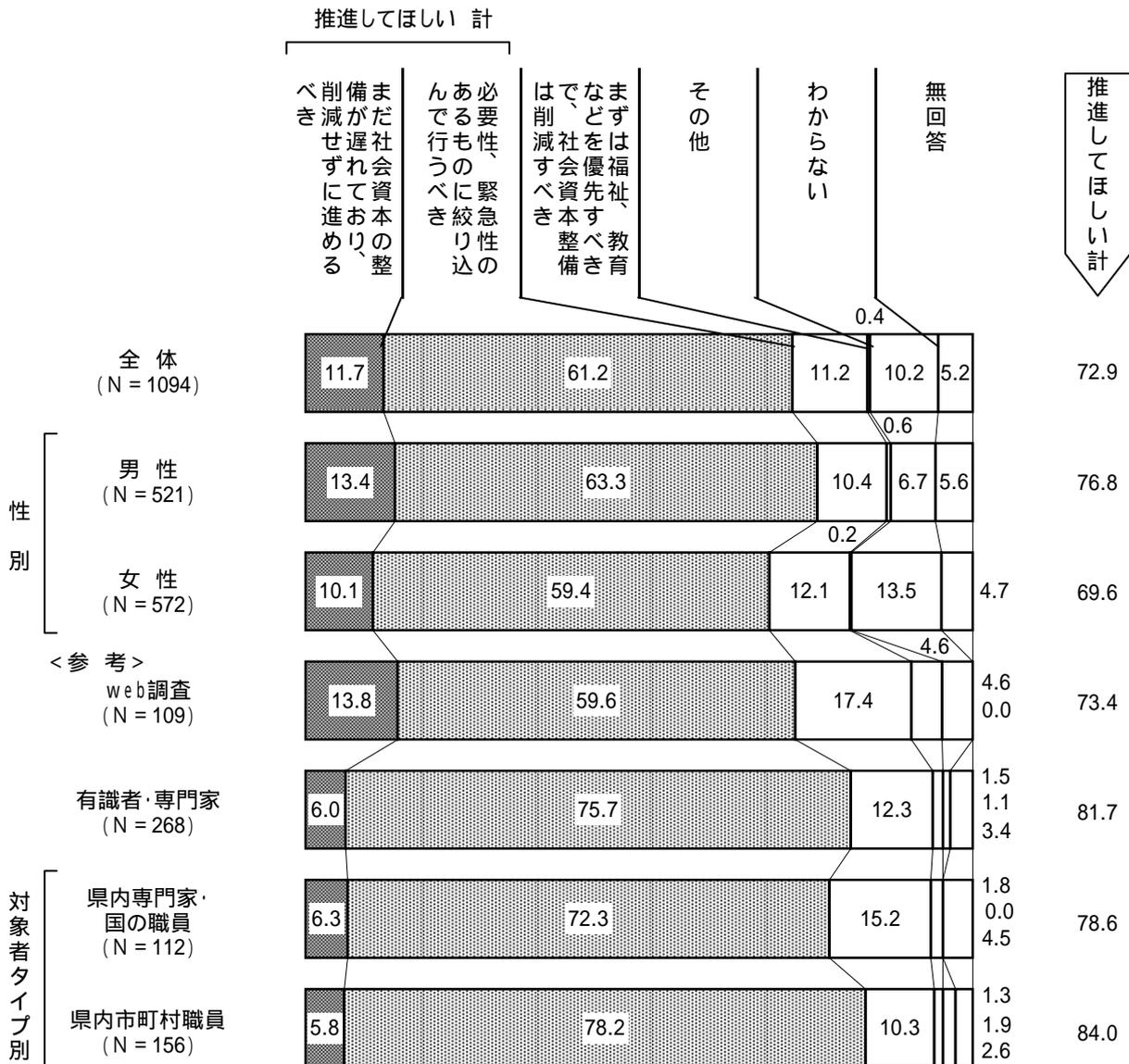
「まだ社会資本の整備が遅れており、削減せずに進めるべき」と積極的な進行を促す人は12%である。

それに対し、「まずは福祉、教育などを優先すべきであり、社会資本整備は当面不便さを感じないので、これからは削減すべき」という消極派も11%みられる。

性別にみると、「削減せずに進めるべき」「必要性、緊急性のあるものに絞り込んで行うべき」などにかく推進すべきと意向を示す人は男性で多い。

有識者・専門家では「削減せずに進めるべき」との積極派は少なく、「必要性、緊急性のあるものに絞り込んで行うべき」との考えの人が3/4を占めている。

図3(1) 「社会資本の整備」の進行に対する考え方



注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向

- ・性・年齢・未婚別にみると、20・30代男性（20代未婚除く）や20代未婚女性で「社会資本の整備を推進してほしい」との意向が高い。

表3(1) 階層別にみた「社会資本の整備」の進行に対する考え方

	回収数	計推進してほしい	必ずお進め	まお整いが遅れる	だり社会資本	行に絞るべき	性に必要	本備は削減す	育まなずは福祉先教	その他	わからない	無回答
全体	1094	72.9	11.7	61.2	11.2	0.4	10.2	5.2				
< 性・年齢・未婚別 >												
男性	521	76.8	13.4	63.3	10.4	0.6	6.7	5.6				
20代・未婚	63	73.0	14.3	58.7	15.9	0.0	7.9	3.2				
20代・既婚	29	82.8	24.1	58.6	10.3	0.0	6.9	0.0				
30代・未婚	20	85.0	10.0	75.0	0.0	0.0	15.0	0.0				
30代・既婚	61	78.7	16.4	62.3	8.2	0.0	8.2	4.9				
40代	102	73.5	12.7	60.8	11.8	1.0	7.8	5.9				
50代	114	77.2	14.0	63.2	11.4	1.8	5.3	4.4				
60代以上	132	77.3	9.8	67.4	8.3	0.0	4.5	9.8				
女性	572	69.6	10.1	59.4	12.1	0.2	13.5	4.7				
20代・未婚	50	78.0	12.0	66.0	4.0	2.0	14.0	2.0				
20代・既婚	31	74.2	3.2	71.0	12.9	0.0	12.9	0.0				
30代・未婚	10	80.0	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0				
30代・既婚	81	64.2	7.4	56.8	18.5	0.0	13.6	3.7				
40代	121	69.4	8.3	61.2	12.4	0.0	12.4	5.8				
50代	119	72.3	12.6	59.7	10.1	0.0	16.8	0.8				
60代以上	160	66.3	11.3	55.0	13.1	0.0	11.3	9.4				
< 居住年数別 >												
40年以上	320	70.9	9.4	61.6	9.4	0.9	9.7	9.1				
20～40年未満	394	74.4	14.2	60.2	12.7	0.0	10.4	2.5				
5～20年未満	253	71.5	11.5	60.1	13.0	0.4	11.5	3.6				
5年未満	127	76.4	10.2	66.1	7.9	0.0	8.7	7.1				
< 居住地域別 >												
佐賀市エリア	408	74.3	11.8	62.5	10.5	0.2	8.3	6.6				
唐津市エリア	253	74.3	12.6	61.7	11.9	0.4	9.1	4.3				
鳥栖市エリア	218	71.6	9.2	62.4	14.2	0.5	9.6	4.1				
武雄市エリア	214	70.6	13.1	57.5	8.9	0.5	15.4	4.7				
< 佐賀県での暮らしへの満足度別 >												
満足している計	483	74.9	11.8	63.1	12.4	0.2	8.9	3.5				
満足している	37	67.6	18.9	48.6	13.5	0.0	8.1	10.8				
まあ満足している	446	75.6	11.2	64.3	12.3	0.2	9.0	2.9				
どちらともいえない	342	72.5	9.9	62.6	9.4	0.0	12.0	6.1				
満足していない計	255	71.0	13.7	57.3	11.8	1.2	10.6	5.5				
あまり満足していない	203	72.4	10.3	62.1	12.3	1.0	8.9	5.4				
満足していない	52	65.4	26.9	38.5	9.6	1.9	17.3	5.8				
< 交通・社会基盤整備への期待度別 >												
期待している計	493	76.1	13.6	62.5	9.3	0.4	9.1	5.1				
期待している	149	72.5	16.1	56.4	8.1	1.3	10.7	7.4				
やや期待している	344	77.6	12.5	65.1	9.9	0.0	8.4	4.1				
どちらともいえない	348	71.6	6.9	64.7	12.1	0.6	12.6	3.2				
期待していない計	158	73.4	17.1	56.3	15.8	0.0	6.3	4.4				
あまり期待していない	119	73.1	15.1	58.0	16.0	0.0	5.9	5.0				
期待していない	39	74.4	23.1	51.3	15.4	0.0	7.7	2.6				

注) 数値は回収数を100とした%

## (2)「道路交通網の整備」に対する考え方

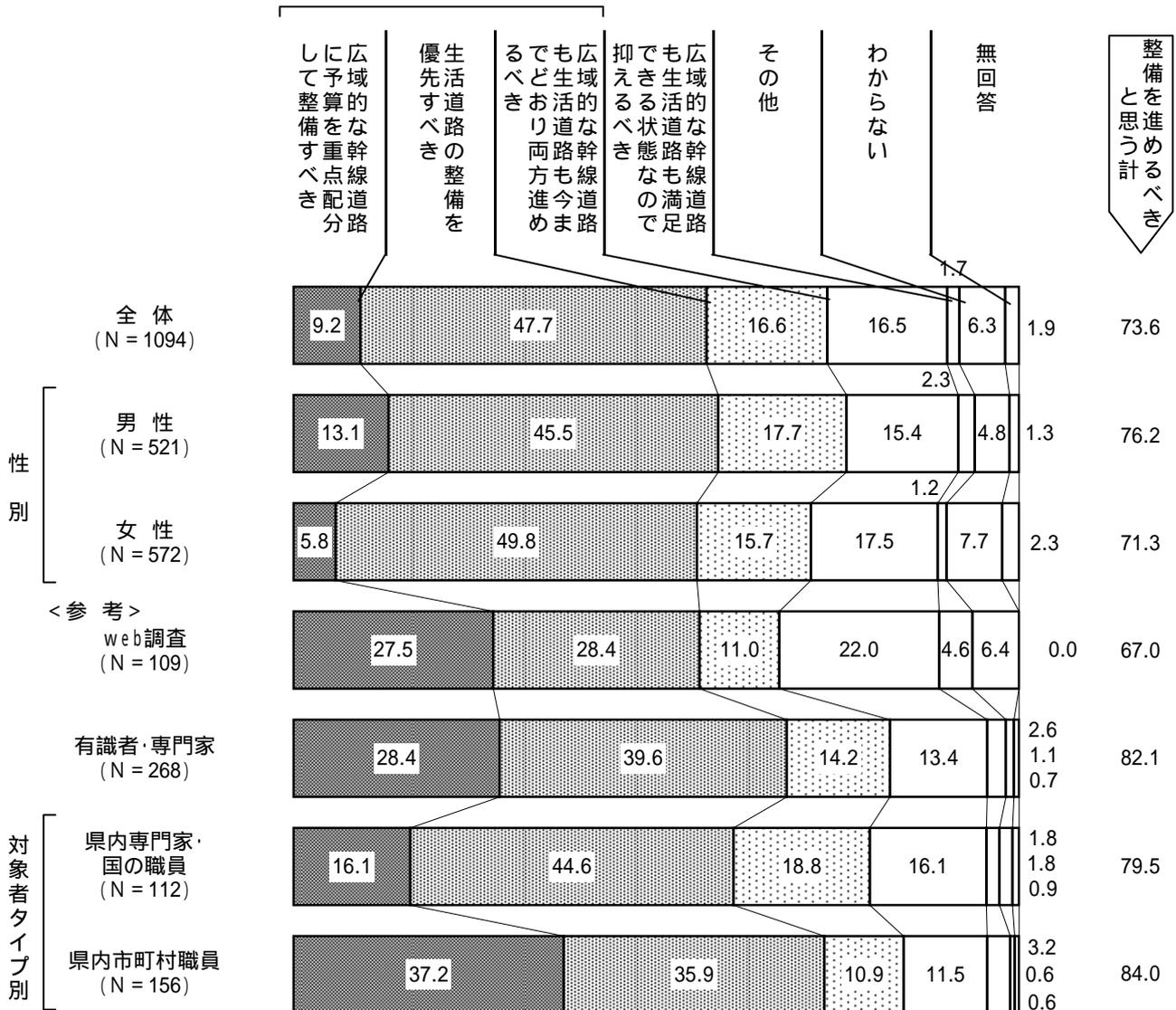
「優先順位を問わず、道路交通網の整備を進めるべきと思う」との意向を示す人は74%みられた。  
 具体的な考え方としては、「生活道路の整備を優先すべき」と考える人が48%で最も多い。以下、「広域的な幹線道路も生活道路も整備のスピードは遅くなくてもよいから、今までどおり両方進めるべき」が17%みられる。  
 「広域的な幹線道路に予算を重点配分して整備すべき」とする人は9%で少ない。

一方、「広域的な幹線道路も生活道路も満足できる状態なので両方とも事業を抑えるべき」と整備進行への抑制意向を示す人が17%みられた。

性別にみると、男性で「道路交通網の整備を進めるべきと思う」との意向を示す人が女性に比べ多い。

有識者・専門家では8割を超す人が道路交通網の整備進行意向を示し、県民に比べ「広域的な幹線道路への予算重点配分」を支持する人が多い。  
 特に、県内市町村職員が目立つ。

図3(2)「道路交通網の整備」に対する考え方  
 整備を進めるべきと思う 計



注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向

- ・性・年齢・未既婚別にみると、20代既婚男性・30代未婚男性や60代以上の男性で「道路交通網の整備を進めるべき」との意向が高い。  
概ね、「生活道路の整備を優先すべき」との意向が高いが、30代未婚男性や60代以上の男性では「広域的な幹線道路に予算を重点配分して整備すべき」との意向を示す人が他層に比べ多く、2割ほどみられる。
- ・一方、20代未婚女性では「広域的な幹線道路も生活道路も満足できる状態なので抑えるべき」と考える人が3割近くみられた。
- ・交通・社会基盤整備への期待度別にみると、期待している層で整備を進めるべきとの意向が高く、1/4ほどの人が「広域的な幹線道路も生活道路も今までどおり両方進めるべき」としている。

表3(2) 階層別にみた「道路交通網の整備」に対する考え方

	回 収 数	き と 備 を 進 め る べ き	整 重 道 広 備 点 路 域 す 配 に 的 分 予 な き し 算 幹 を 線	き 備 生 を 活 優 道 先 路 す の べ 整	る お 路 道 広 べ り も 路 域 的 な 生 活 道 路 も 進 め ど 道 線	き な 満 路 広 の 足 も 域 的 な 生 活 道 路 も 抑 え る 状 態 も 道	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1094	73.6	9.2	47.7	16.6	16.5	1.7	6.3	1.9
< 性・年齢・未既婚別 >									
男 性	521	76.2	13.1	45.5	17.7	15.4	2.3	4.8	1.3
20代・未婚	63	69.8	11.1	44.4	14.3	14.3	4.8	9.5	1.6
20代・既婚	29	86.2	13.8	55.2	17.2	6.9	3.4	3.4	0.0
30代・未婚	20	80.0	20.0	55.0	5.0	5.0	5.0	10.0	0.0
30代・既婚	61	70.5	11.5	37.7	21.3	18.0	4.9	6.6	0.0
40代	102	77.5	11.8	51.0	14.7	16.7	2.0	2.0	2.0
50代	114	75.4	9.6	46.5	19.3	18.4	0.9	3.5	1.8
60代以上	132	78.8	17.4	40.9	20.5	14.4	0.8	4.5	1.5
女 性	572	71.3	5.8	49.8	15.7	17.5	1.2	7.7	2.3
20代・未婚	50	66.0	6.0	40.0	20.0	28.0	4.0	2.0	0.0
20代・既婚	31	67.7	3.2	54.8	9.7	16.1	3.2	12.9	0.0
30代・未婚	10	70.0	10.0	30.0	30.0	20.0	0.0	10.0	0.0
30代・既婚	81	77.8	11.1	55.6	11.1	11.1	1.2	9.9	0.0
40代	121	70.2	5.8	47.9	16.5	19.8	0.8	6.6	2.5
50代	119	74.8	3.4	56.3	15.1	16.8	0.8	5.9	1.7
60代以上	160	68.8	5.0	46.9	16.9	16.3	0.6	9.4	5.0
< 居住年数別 >									
40年以上	320	77.5	11.3	47.5	18.8	13.1	0.0	5.9	3.4
20～40年未満	394	70.8	8.6	46.7	15.5	20.1	2.5	5.6	1.0
5～20年未満	253	72.7	7.1	48.6	17.0	14.6	3.2	7.9	1.6
5年未満	127	74.0	10.2	49.6	14.2	17.3	0.8	6.3	1.6
< 居住地域別 >									
佐賀市エリア	408	74.8	9.1	48.0	17.6	15.0	1.5	7.1	1.7
唐津市エリア	253	71.5	13.0	43.1	15.4	16.6	2.4	7.5	2.0
鳥栖市エリア	218	72.9	6.9	48.6	17.4	20.2	2.3	3.7	0.9
武雄市エリア	214	74.8	7.5	51.9	15.4	15.4	0.9	5.6	3.3
< 佐賀県での暮らしへの満足度別 >									
満足している計	483	75.8	8.1	49.3	18.4	17.0	1.4	4.8	1.0
満足している	37	73.0	16.2	35.1	21.6	16.2	2.7	5.4	2.7
まあ満足している	446	76.0	7.4	50.4	18.2	17.0	1.3	4.7	0.9
どちらともいえない	342	73.1	9.6	46.2	17.3	14.6	0.6	8.2	3.5
満足していない計	255	70.2	11.0	46.7	12.5	18.8	3.9	5.5	1.6
あまり満足していない	203	71.9	11.3	47.3	13.3	18.2	3.4	4.9	1.5
満足していない	52	63.5	9.6	44.2	9.6	21.2	5.8	7.7	1.9
< 交通・社会基盤整備への期待度別 >									
期待している計	493	84.0	12.2	49.9	21.9	9.9	1.2	3.4	1.4
期待している	149	86.6	14.1	48.3	24.2	6.0	2.7	2.0	2.7
やや期待している	344	82.8	11.3	50.6	20.9	11.6	0.6	4.1	0.9
どちらともいえない	348	66.4	5.7	45.7	14.9	22.1	2.0	7.2	2.3
期待していない計	158	62.0	9.5	46.2	6.3	26.6	3.2	7.0	1.3
あまり期待していない	119	66.4	10.9	49.6	5.9	23.5	1.7	7.6	0.8
期待していない	39	48.7	5.1	35.9	7.7	35.9	7.7	5.1	2.6

注) 数値は回収数を100とした%

### (3)「佐賀空港」に対する意識

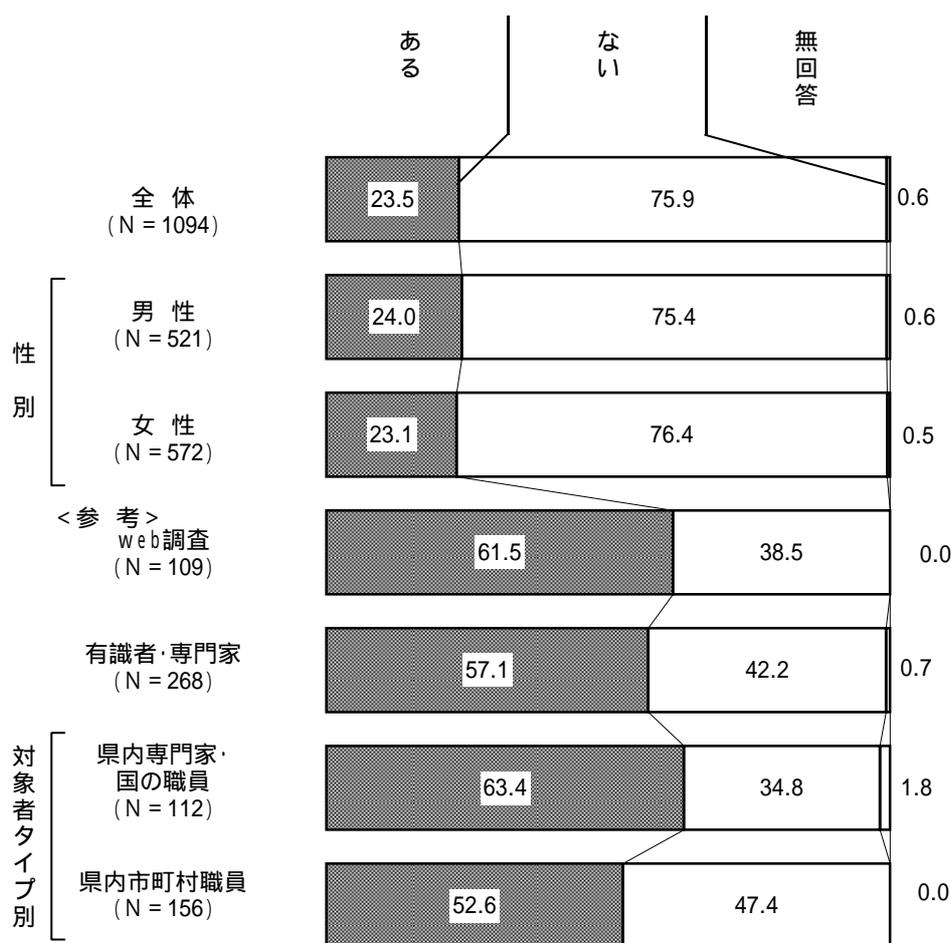
#### 「佐賀空港」の利用経験

『佐賀空港』を利用したことのある人は、24%と1/4程度である。

web調査は、若い層の回答が多かったこともあり、利用経験者が62%みられた。

有識者・専門家でも6割近い人が『佐賀空港』を利用している(57%)。

図3(3) 「佐賀空港」の利用経験



注) 数値は回収数を100とした%

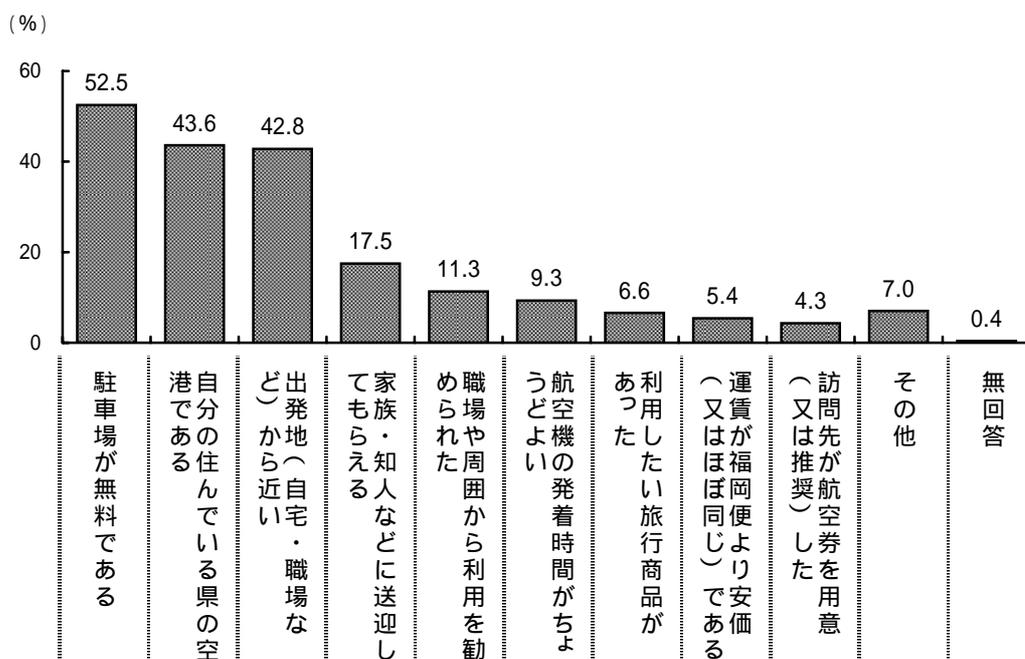
## 「佐賀空港」の利用理由

『佐賀空港』を利用した理由としては、「駐車場が無料である」(53%)点をトップに「自分の住んでいる県の空港である」(44%)ことや「出発地(自宅・職場など)から近い」(43%)点が主な理由となっている。

女性で「家族・知人などに送迎してもらえる」点が高いくらいで、性別による大きな理由の差はみられない。

有識者・専門家の調査結果をみると、上位理由は県民と同じく高く、「家族・知人による送迎」という点よりも「職場や周囲からの利用の勧め」がポイントとして高い。

図3(3) 「佐賀空港」の利用理由(N = 257)



性別	男性		女性	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
男性	125	47.2	132	57.6
女性	125	47.2	132	57.6

### <参考>

調査対象	人数	駐車場が無料である (%)	自分の住んでいる県の空港である (%)	出発地(自宅・職場など)から近い (%)	家族・知人などに送迎してもらえる (%)	職場や周囲から利用を勧められた (%)	航空機の発着時間がちょうどよい (%)	利用したい旅行商品があった (%)	運賃が福岡便より安価である(又はほぼ同じ) (%)	訪問先が航空券を用意(又は推奨)した (%)	その他 (%)	無回答 (%)	
web調査	67	62.7	47.8	52.2	19.4	16.4	10.4	1.5	6.0	0.0	7.5	0.0	
有識者・専門家	153	60.1	40.5	46.4	11.8	19.0	13.1	2.0	2.6	2.6	8.5	1.3	
タイプ別	県内専門家・国の職員	71	64.8	46.5	60.6	14.1	18.3	21.1	2.8	4.2	1.4	4.2	1.4
	県内市町村職員	82	56.1	35.4	34.1	9.8	19.5	6.1	1.2	1.2	3.7	12.2	1.2

注) 数値は利用経験者を100とした%

\* 階層別にみた傾向

- ・性・年齢・未既婚別にみて、「佐賀空港」の利用経験率は、20代未婚男性、20・30代未婚女性といったヤング層に加え、60代以上の男性で高い。
- ・居住地域別にみると、佐賀市エリア居住層と武雄市エリア居住層で利用経験率が高い。佐賀市エリア居住層では「駐車場が無料」という点よりも「出発地（自宅・職場など）から近い」点が最大の利用理由となっている。

表3(3) 階層別にみた「佐賀空港」の利用状況

	利用経験				利用理由											
	回収数	ある	ない	無回答	利用経験者	駐車場が無料である	港である自分の住んでいる県の空港から近い	出発地（自宅・職場など）から近い	家族・知人などに送迎してもらえ	められた職場や周囲から利用を勧め	航空機の発着時間がよい	利用したい旅行商品があった	（又はは福岡便より）安価である	（又はは推奨）した	その他	無回答
全体	1094	23.5	75.9	0.6	257	52.5	43.6	42.8	17.5	11.3	9.3	6.6	5.4	4.3	7.0	0.4
< 性・年齢・未既婚別 >																
男性	521	24.0	75.4	0.6	125	47.2	43.2	41.6	12.0	16.0	8.0	8.0	2.4	5.6	8.0	0.0
20代・未婚	63	28.6	69.8	1.6	18	27.8	44.4	27.8	16.7	5.6	0.0	16.7	0.0	16.7	22.2	0.0
20代・既婚	29	13.8	86.2	0.0	4	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
30代・未婚	20	15.0	85.0	0.0	3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
30代・既婚	61	19.7	80.3	0.0	12	41.7	25.0	25.0	0.0	33.3	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0
40代	102	26.5	73.5	0.0	27	37.0	25.9	37.0	14.8	22.2	11.1	7.4	3.7	0.0	7.4	0.0
50代	114	18.4	80.7	0.9	21	66.7	57.1	47.6	14.3	9.5	9.5	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0
60代以上	132	30.3	68.9	0.8	40	57.5	52.5	55.0	12.5	12.5	10.0	5.0	2.5	5.0	5.0	0.0
女性	572	23.1	76.4	0.5	132	57.6	43.9	43.9	22.7	6.8	10.6	5.3	8.3	3.0	6.1	0.8
20代・未婚	50	36.0	64.0	0.0	18	27.8	38.9	16.7	33.3	5.6	0.0	0.0	5.6	5.6	27.8	5.6
20代・既婚	31	16.1	83.9	0.0	5	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
30代・未婚	10	30.0	70.0	0.0	3	66.7	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代・既婚	81	13.6	86.4	0.0	11	100.0	36.4	63.6	9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
40代	121	16.5	81.8	1.7	20	75.0	45.0	45.0	15.0	5.0	5.0	10.0	10.0	0.0	5.0	0.0
50代	119	27.7	72.3	0.0	33	72.7	42.4	48.5	36.4	9.1	12.1	3.0	12.1	3.0	3.0	0.0
60代以上	160	26.3	73.1	0.6	42	42.9	57.1	40.5	16.7	4.8	16.7	9.5	7.1	2.4	2.4	0.0
< 居住年数別 >																
40年以上	320	25.9	72.5	1.6	83	48.2	47.0	44.6	20.5	12.0	15.7	6.0	3.6	3.6	3.6	0.0
20～40年未満	394	25.4	74.6	0.0	100	50.0	43.0	36.0	20.0	11.0	5.0	9.0	7.0	5.0	10.0	0.0
5～20年未満	253	22.9	76.7	0.4	58	65.5	44.8	50.0	8.6	10.3	8.6	5.2	6.9	3.4	5.2	1.7
5年未満	127	12.6	86.6	0.8	16	43.8	25.0	50.0	18.8	12.5	6.3	0.0	0.0	6.3	12.5	0.0
< 居住地域別 >																
佐賀市エリア	408	36.8	62.7	0.5	150	54.7	45.3	57.3	21.3	8.7	12.0	6.7	5.3	2.7	4.7	0.7
唐津市エリア	253	10.7	88.5	0.8	27	48.1	59.3	11.1	7.4	14.8	3.7	0.0	7.4	7.4	7.4	0.0
鳥栖市エリア	218	8.7	90.8	0.5	19	47.4	42.1	21.1	0.0	21.1	0.0	15.8	0.0	10.5	15.8	0.0
武雄市エリア	214	28.5	70.6	0.9	61	50.8	32.8	27.9	18.0	13.1	8.2	6.6	6.6	4.9	9.8	0.0

注) 数値は回収数を100とした%

注) 数値は利用経験者を100とした%

## 「佐賀空港」にふさわしい新名称

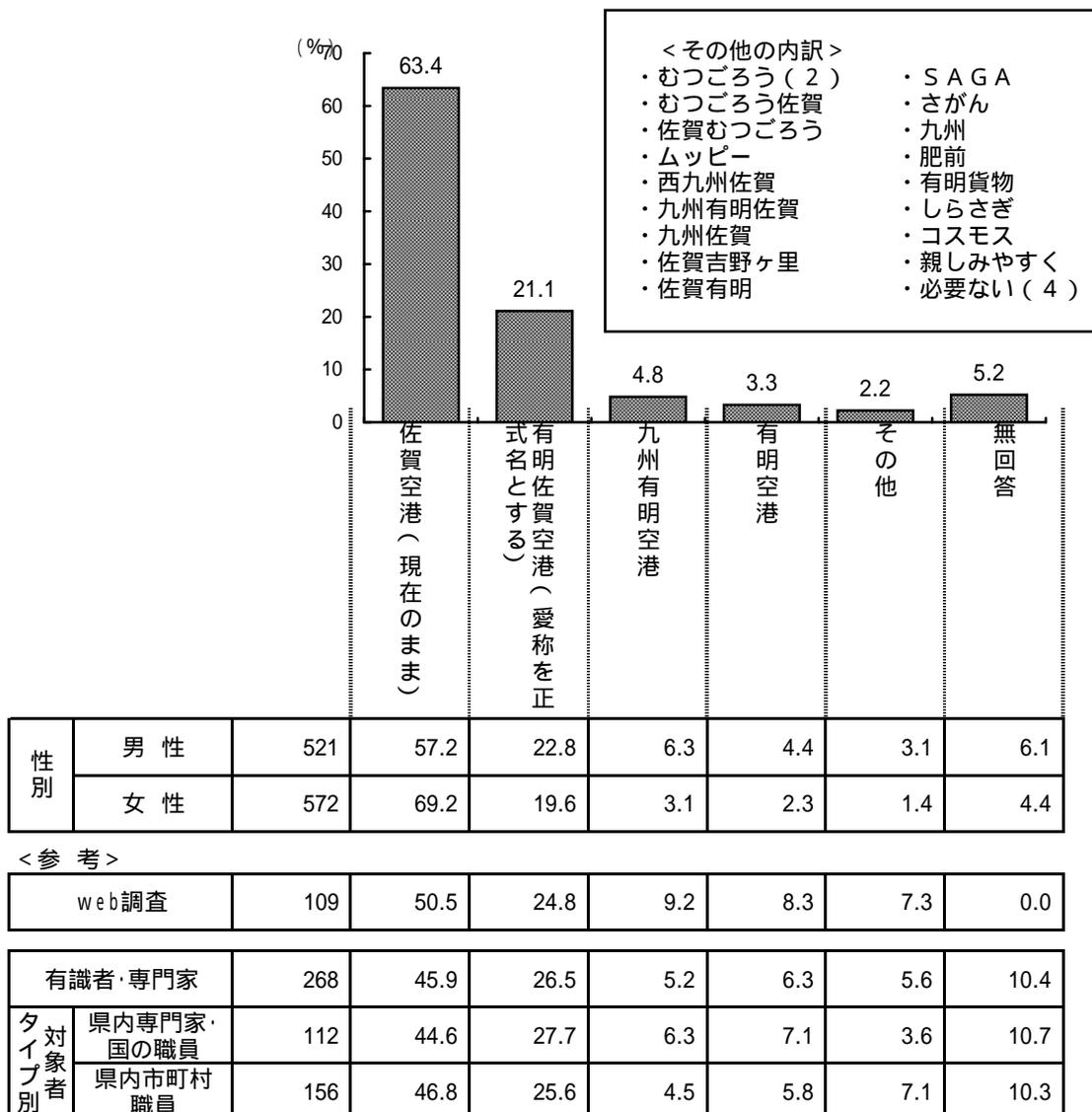
正式な名称が「佐賀空港」で、愛称が「有明佐賀空港」で、今後も有明海沿岸道路などアクセスの改善により、福岡県南西部などからの広域的な利用も期待できることを明示した上で、ふさわしい新名称を質問してみた。

現在の「佐賀空港」がふさわしいと考える人が63%で最も多い。  
次いで、「有明佐賀空港（愛称を正式名とする）」を支持する人が21%で続く。

性別にみると、現在の「佐賀空港」を支持する人は男性より女性で多い。

有識者・専門家でも、現在の「佐賀空港」がふさわしいとする人が最も多いものの、県民に比べると支持は少ない。  
逆に、「有明佐賀空港」をはじめ、「有明空港」などの支持がやや多い。

図3(3) 「佐賀空港」にふさわしい新名称 (N = 1094)



注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向

- ・各層とも「佐賀空港（現在のまま）」でよいという回答が最も多く、中でも20・30代女性でその傾向がみられる。  
60代以上の男性では「有明佐賀空港（愛称を正式名とする）」がふさわしいと考える人が3割ほどみられた。
- ・最も利用経験が高い佐賀市エリア居住層では、他エリア居住層に比べ、「有明佐賀空港（愛称を正式名とする）」がふさわしいと考える人が多い。

表3(3) 階層別にみた「佐賀空港」にふさわしい新名称

	回収数	在佐賀空港（現）	名（有明と愛称とする正式港）	九州有明空港	有明空港	その他	無回答
全体	1094	63.4	21.1	4.8	3.3	2.2	5.2
< 性・年齢・未既婚別 >							
男性	521	57.2	22.8	6.3	4.4	3.1	6.1
20代・未婚	63	57.1	20.6	4.8	7.9	4.8	4.8
20代・既婚	29	72.4	10.3	3.4	3.4	3.4	6.9
30代・未婚	20	55.0	20.0	5.0	0.0	5.0	15.0
30代・既婚	61	54.1	23.0	13.1	3.3	4.9	1.6
40代	102	56.9	20.6	3.9	6.9	2.0	9.8
50代	114	57.0	21.9	9.6	0.9	3.5	7.0
60代以上	132	56.1	29.5	3.8	5.3	1.5	3.8
女性	572	69.2	19.6	3.1	2.3	1.4	4.4
20代・未婚	50	74.0	12.0	2.0	2.0	6.0	4.0
20代・既婚	31	80.6	12.9	0.0	0.0	3.2	3.2
30代・未婚	10	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代・既婚	81	74.1	21.0	2.5	0.0	1.2	1.2
40代	121	64.5	24.8	3.3	2.5	2.5	2.5
50代	119	66.4	19.3	4.2	4.2	0.0	5.9
60代以上	160	67.5	19.4	3.8	2.5	0.0	6.9
< 居住年数別 >							
40年以上	320	62.8	19.7	5.0	4.4	1.9	6.3
20～40年未満	394	63.7	21.6	4.8	2.8	2.0	5.1
5～20年未満	253	60.1	24.5	4.0	3.2	3.6	4.7
5年未満	127	70.9	16.5	5.5	2.4	0.8	3.9
< 居住地域別 >							
佐賀市エリア	408	56.1	28.9	5.4	2.0	2.5	5.1
唐津市エリア	253	70.4	14.2	2.8	3.2	2.0	7.5
鳥栖市エリア	218	67.9	14.7	6.9	5.5	2.8	2.3
武雄市エリア	214	65.0	21.0	3.7	3.7	1.4	5.1
< 佐賀県への愛着度別 >							
愛着を感じる計	851	61.9	22.9	5.1	2.9	2.2	4.9
愛着を感じる	499	58.9	24.6	5.0	2.2	2.6	6.6
まあ愛着を感じる	352	66.2	20.5	5.1	4.0	1.7	2.6
どちらともいえない	143	72.0	14.7	2.1	2.8	3.5	4.9
愛着を感じない計	88	63.6	12.5	6.8	8.0	0.0	9.1
あまり愛着を感じない	69	65.2	13.0	7.2	7.2	0.0	7.2
愛着を感じない	19	57.9	10.5	5.3	10.5	0.0	15.8
< 佐賀県民であることの誇り度別 >							
誇りに思っている計	587	59.3	24.7	5.3	2.7	2.2	5.8
誇りに思っている	308	54.2	27.3	6.8	2.3	2.9	6.5
まあ誇りに思っている	279	64.9	21.9	3.6	3.2	1.4	5.0
どちらともいえない	359	68.8	17.5	3.9	3.3	2.2	4.2
誇りに思っていない計	134	66.4	14.2	5.2	6.0	2.2	6.0
あまり誇りに思わない	99	70.7	14.1	4.0	5.1	2.0	4.0
誇りに思わない	35	54.3	14.3	8.6	8.6	2.9	11.4

注) 数値は回収数を100とした%

## 4. 「都市景観分野」に対する考え方

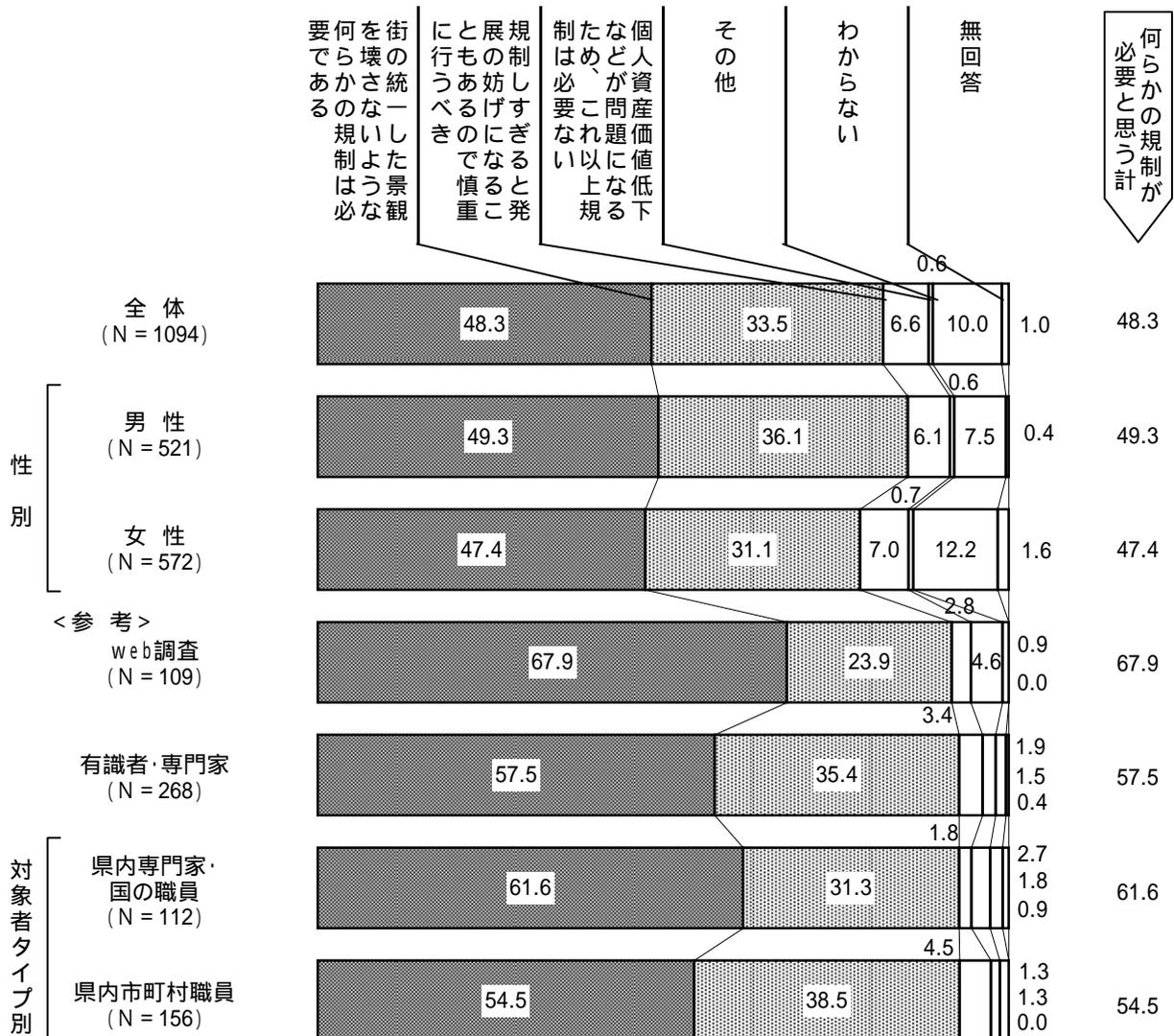
### (1) 「景観の良い街づくり」に対する意識

無秩序な街づくりを防止し、景観の良い街づくりを行うためには、建物の高さ、外観、形状、色、模様などが制限され、その際には住民の方の理解と合意が必要となります。という点を明示した上で、規制に対する必要性を質問した。

『景観の良い街づくり』のための規制に関して、半数近くの人には「街の統一した景観を壊さないような何らかの規制は必要である」(48%)と考えている。また、「規制しすぎると地区全体の発展の妨げになることも考えられるので慎重に行うべき」と捉える人も34%みられる。

特に、有識者・専門家で規制が必要との意識が高く、6割近い人が「街の統一した景観を壊さないような何らかの規制は必要」と明言している。

図4(1) 「景観の良い街づくり」に対する意識



注) 数値は回収数を100とした%

## (2)「屋外広告物規制」に対する考え方

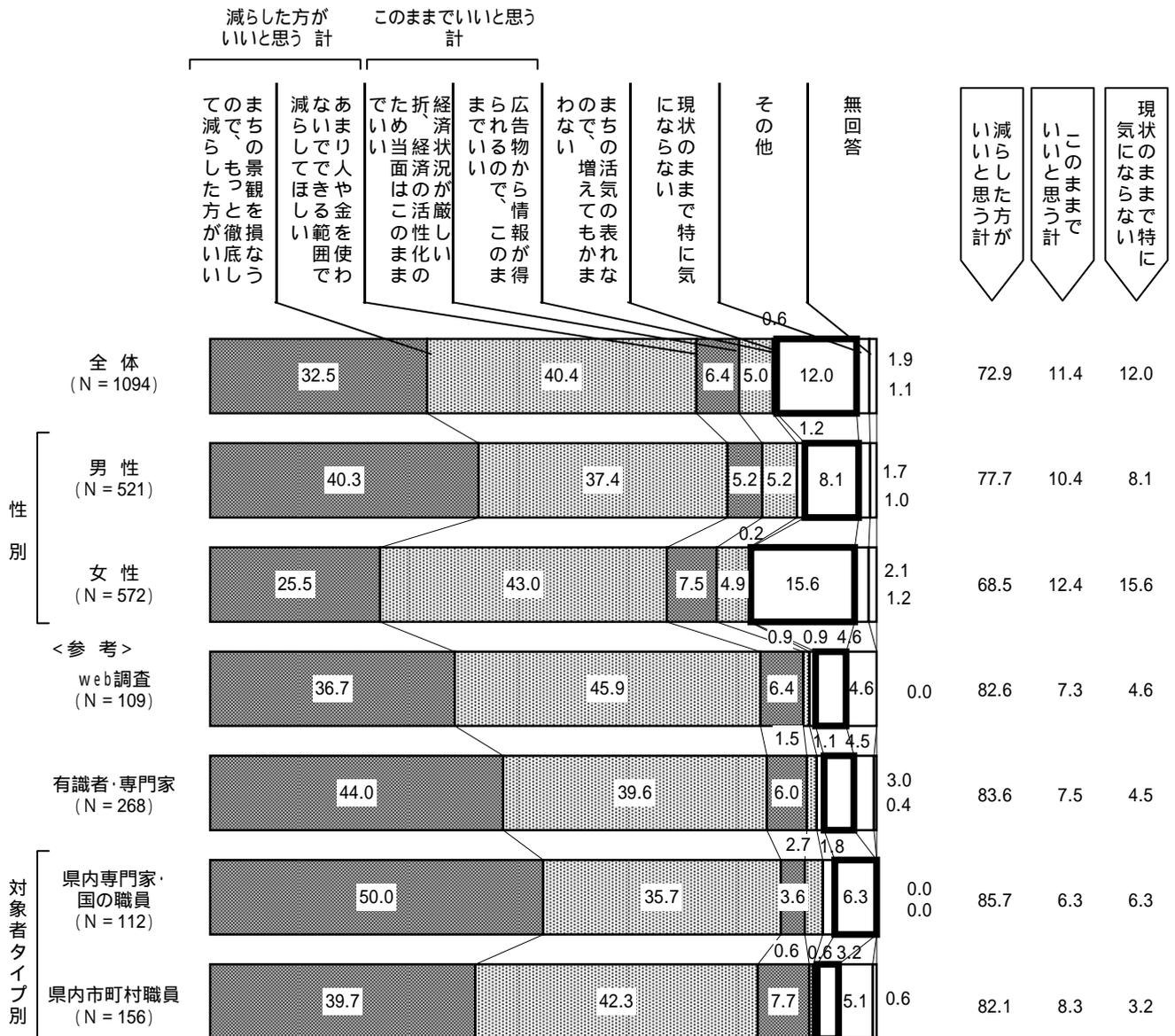
電柱などに取り付けられているはり紙、立看板などの屋外広告物については、「減らした方がよいと思う」人が73%みられ、「このままでいい」(11%)、「現状のままで特に気にならない」(12%)を大きく上回っている。

- ・減らす方向性としては、「まちの景観を損なうので、もっと徹底して減らした方がよい」と考える人は33%で、「あまり人や金を使わないでできる範囲で減らしてほしい」との意向の方が40%とやや多い。

性別にみると、男性で「減らすこと」への意向が高く、「もっと徹底して減らした方がよい」と積極的な規制を望む人が多い。

有識者・専門家では、県民以上に「減らすこと」に意欲的で、「もっと徹底して減らした方がよい」という回答が目立つ。

図4(2)「屋外広告物規制」に対する考え方



注) 数値は回収数を100とした%

\* 性・年齢・未既婚別にみた傾向

- ・男性20・30代では比較的「規制しすぎると発展の妨げになることもあるので慎重に行うべき」との考えが高い中、高齢層になると「街の統一した景観を壊さないような何らかの規制は必要である」との意識が高い。
- ・また、屋外広告物規制に関しては、男性30～50代では「まちの景観を損なうので、もっと徹底して減らした方がいい」と積極的な規制意識が高い。  
一方、女性の中でも20代未婚や40・50代では「あまり人や金を使わないでできる範囲で減らしてほしい」との意識が高いのに対し、20代既婚や30代女性では「このままでいい」「特に気にならない」との回答が他層に比べ高くなっている。

表4(2) 階層別にみた「都市景観分野」に対する考え方 - 1

	回収数	景観の良い街づくりに対する意識						屋外広告物規制に対する考え方				
		計何らかの規制が必要と思う	はな必要である	街の統一した景観を規制さ	慎重に行うべき	規制しすぎると発展の妨げになる	個人資産価値低下などが問題になるため	その他	わからない	減らした方がいいと思う計	で、まちの景観を損なうのら	ほでまし
全体	1094	81.8	48.3	33.5	6.6	0.6	10.0	72.9	32.5	40.4	11.4	12.0
< 性・年齢・未既婚別 >												
男性	521	85.4	49.3	36.1	6.1	0.6	7.5	77.7	40.3	37.4	10.4	8.1
20代・未婚	63	84.1	41.3	42.9	3.2	1.6	11.1	71.4	36.5	34.9	11.1	11.1
20代・既婚	29	86.2	34.5	51.7	6.9	0.0	6.9	65.5	17.2	48.3	20.7	13.8
30代・未婚	20	90.0	50.0	40.0	5.0	0.0	5.0	65.0	40.0	25.0	30.0	0.0
30代・既婚	61	83.6	36.1	47.5	8.2	0.0	8.2	77.0	42.6	34.4	16.4	3.3
40代	102	82.4	52.9	29.4	9.8	2.0	5.9	77.5	38.2	39.2	7.8	10.8
50代	114	82.5	51.8	30.7	8.8	0.0	7.9	85.1	52.6	32.5	7.0	4.4
60代以上	132	90.9	57.6	33.3	1.5	0.0	6.8	79.5	37.1	42.4	6.8	9.8
女性	572	78.5	47.4	31.1	7.0	0.7	12.2	68.5	25.5	43.0	12.4	15.6
20代・未婚	50	78.0	44.0	34.0	12.0	0.0	10.0	68.0	20.0	48.0	8.0	20.0
20代・既婚	31	67.7	22.6	45.2	6.5	3.2	22.6	51.6	16.1	35.5	29.0	19.4
30代・未婚	10	80.0	60.0	20.0	10.0	0.0	10.0	60.0	20.0	40.0	20.0	20.0
30代・既婚	81	70.4	40.7	29.6	7.4	2.5	19.8	61.7	21.0	40.7	12.3	22.2
40代	121	78.5	47.1	31.4	7.4	0.8	10.7	75.2	21.5	53.7	7.4	13.2
50代	119	83.2	52.1	31.1	5.0	0.0	10.9	73.9	28.6	45.4	13.4	10.9
60代以上	160	81.3	52.5	28.8	6.3	0.0	9.4	66.9	32.5	34.4	13.1	15.0
< 居住年数別 >												
40年以上	320	82.2	50.9	31.3	7.8	0.3	8.1	74.7	35.9	38.8	9.4	12.2
20～40年未満	394	83.0	49.7	33.2	5.8	0.0	10.2	74.6	33.8	40.9	11.2	11.2
5～20年未満	253	78.3	44.7	33.6	7.1	2.4	11.5	71.9	32.4	39.5	11.1	11.9
5年未満	127	84.3	44.1	40.2	4.7	0.0	11.0	65.4	20.5	44.9	18.1	14.2
< 居住地域別 >												
佐賀市エリア	408	85.0	52.0	33.1	5.6	0.5	8.6	73.0	33.8	39.2	11.5	12.0
唐津市エリア	253	78.7	47.0	31.6	7.1	1.2	11.1	70.4	31.2	39.1	12.3	15.0
鳥栖市エリア	218	80.7	48.6	32.1	8.7	0.9	9.2	77.5	32.6	45.0	11.0	8.3
武雄市エリア	214	80.8	42.5	38.3	5.6	0.0	11.7	71.5	31.8	39.7	10.7	12.1

注) 数値は回収数を100とした%

\* 佐賀県での暮らしへの満足度別にみた傾向

- ・現在の暮らしに満足している層でも6割ほどの人が「街の統一した景観を壊さないような何らかの規制は必要である」と考えている。
- ・一方、満足していない層では「何らかの規制が必要」との意識は他層と比べ、さほど高くはないものの、屋外広告物に関しては4割近い人が「まちの景観を損なうので、もっと徹底して減らした方がいい」と回答している。

表4(2) 階層別にみた「都市景観分野」に対する考え方 - 2

	回収数	景観の良い街づくりに対する意識						屋外広告物規制に対する考え方					
		計何らかの規制が必要と思う	はな必要である	街の統一した景観を壊さない	慎重に行うべき	規制しすぎると発展の妨げになる	個人資産価値低下などが問題になるため、これ以上が規制は必要ない	その他	わからない	減らした方がいいと思う計	した方がいい	でもまちの景観を損なうので減らさない	ほでいきり人や金を使わさない
全体	1094	81.8	48.3	33.5	6.6	0.6	10.0	72.9	32.5	40.4	11.4	12.0	
< 現在の満足度別 >													
満足している計	483	85.5	52.0	33.5	5.8	0.4	7.9	74.3	30.4	43.9	11.8	11.2	
満足している	37	78.4	59.5	18.9	5.4	2.7	10.8	73.0	35.1	37.8	16.2	5.4	
まあ満足している	446	86.1	51.3	34.8	5.8	0.2	7.6	74.4	30.0	44.4	11.4	11.7	
どちらともいえない	342	80.4	47.7	32.7	6.1	0.3	12.3	72.2	32.7	39.5	9.9	13.7	
満足していない計	255	76.5	41.2	35.3	8.6	1.6	11.4	72.2	36.1	36.1	12.2	11.4	
あまり満足していない	203	79.3	42.4	36.9	6.9	2.0	9.9	73.9	35.5	38.4	11.3	9.9	
満足していない	52	65.4	36.5	28.8	15.4	0.0	17.3	65.4	38.5	26.9	15.4	17.3	
< 安全・環境への期待度別 >													
期待している計	569	84.9	53.6	31.3	5.3	0.5	8.6	75.2	34.1	41.1	11.2	10.7	
期待している	213	84.0	55.9	28.2	5.6	0.9	8.0	75.1	36.2	39.0	12.7	8.0	
やや期待している	356	85.4	52.2	33.1	5.1	0.3	9.0	75.3	32.9	42.4	10.4	12.4	
どちらともいえない	311	82.0	41.5	40.5	6.8	1.0	9.6	72.3	28.3	44.1	10.3	13.5	
期待していない計	112	73.2	39.3	33.9	10.7	0.9	14.3	73.2	37.5	35.7	15.2	8.9	
あまり期待していない	87	74.7	44.8	29.9	10.3	1.1	13.8	75.9	36.8	39.1	16.1	6.9	
期待していない	25	68.0	20.0	48.0	12.0	0.0	16.0	64.0	40.0	24.0	12.0	16.0	

注) 数値は回収数を100とした%

## 5. 「経済・雇用分野」に対する考え方

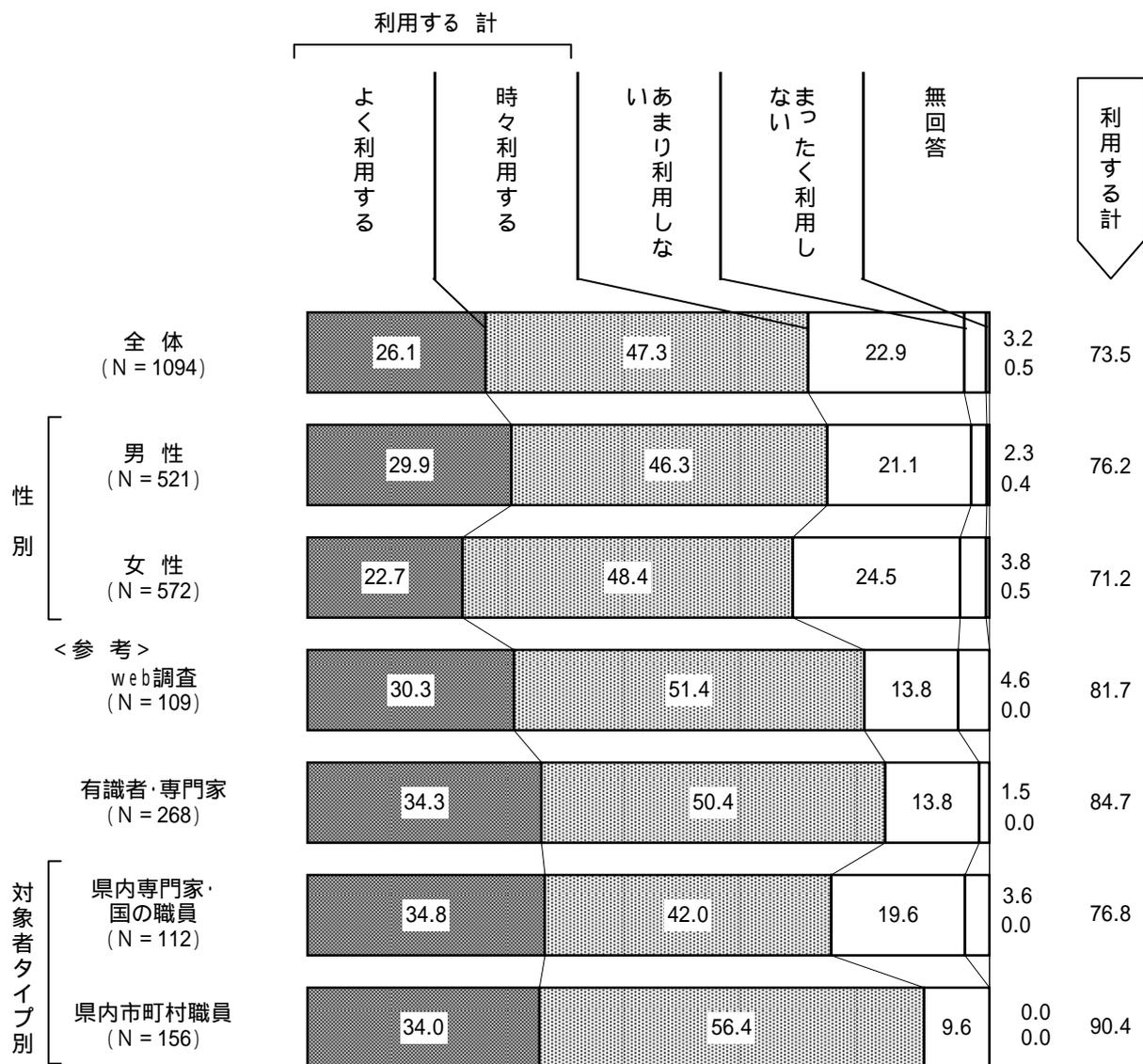
### (1) 「ショッピング」に関する利用状況

#### 「郊外型の大型ショッピングセンター」の利用状況

『郊外型の大型ショッピングセンター』の利用率は74%である。  
利用程度をみると、「よく利用する」人は26%で、「時々利用する」人が47%と多い。

性別にみると、女性より男性で利用率が高く、3割の人が「よく利用する」と回答している。

図5(1) 「郊外型の大型ショッピングセンター」の利用状況



注) 数値は回収数を100とした%

## 「地元のお店や商店街」の利用状況

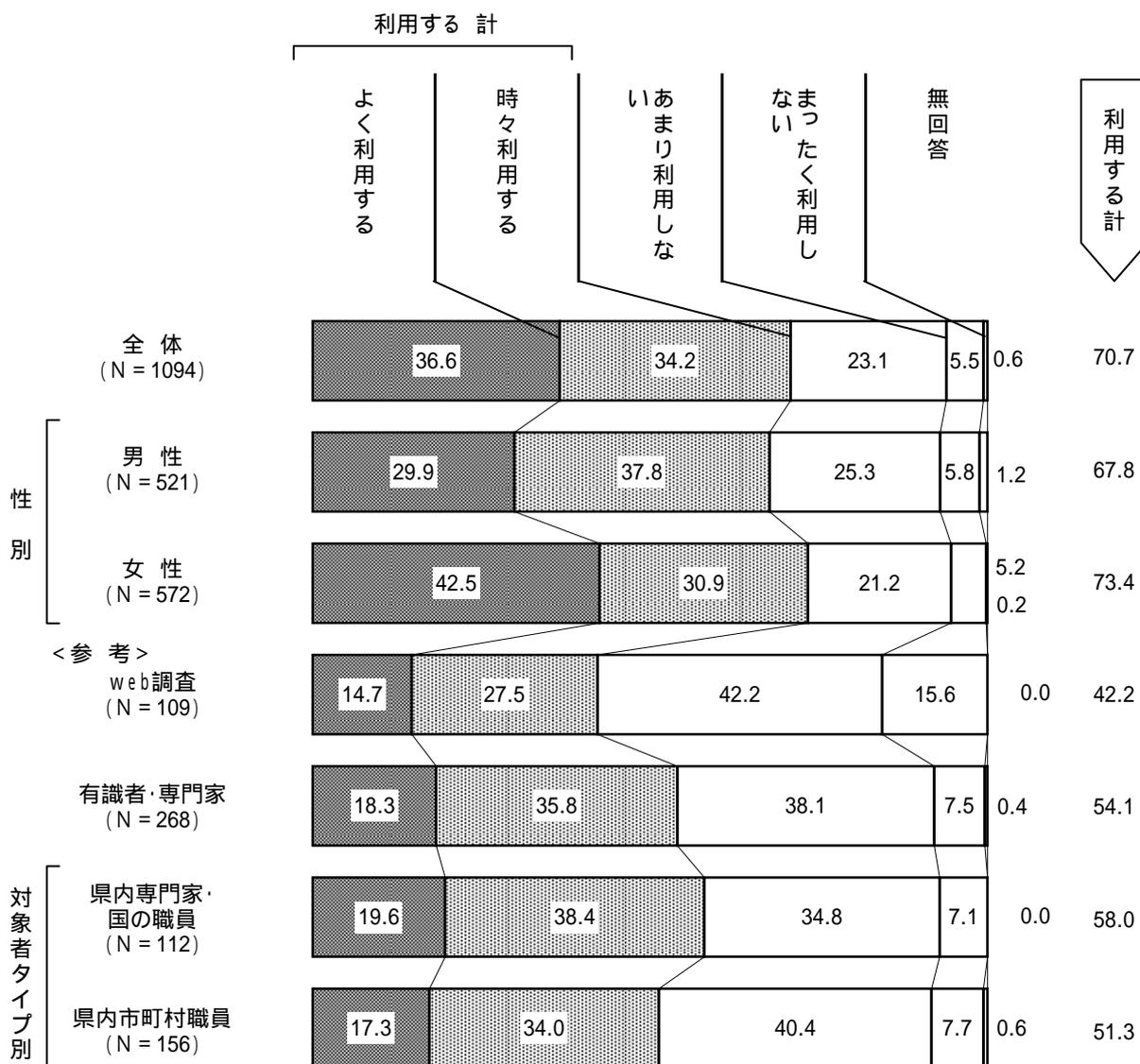
『地元のお店や商店街』の利用率は71%である。  
 (郊外型の大型ショッピングセンターの利用率：74%)

利用頻度をみると、「よく利用する」人が37%で、「時々利用する」(34%)を若干上回っている。

・「よく利用する」との高頻度層に着目すると、『郊外型の大型ショッピングセンター』は26%、『地元のお店や商店街』は37%で『地元』の方が利用頻度が高い。

性別にみると、『地元のお店や商店街』については女性で高い利用頻度となっている。

図5(1) 「地元のお店や商店街」の利用状況



注) 数値は回収数を100とした%

## ショッピングの利用パターン

『郊外型の大型ショッピングセンター』と『地元のお店や商店街』の利用状況の回答パターンにより、「郊外型の大型ショッピングセンター利用派」「地元のお店や商店街利用派」「同程度利用派」の3つのタイプに分けてみた。

「郊外型の大型ショッピングセンター利用派」は33%、「地元のお店や商店街利用派」が40%で「地元のお店や商店街利用派」の比率がやや高い。  
また、「どちらも同程度利用派」の人は26%みられた。

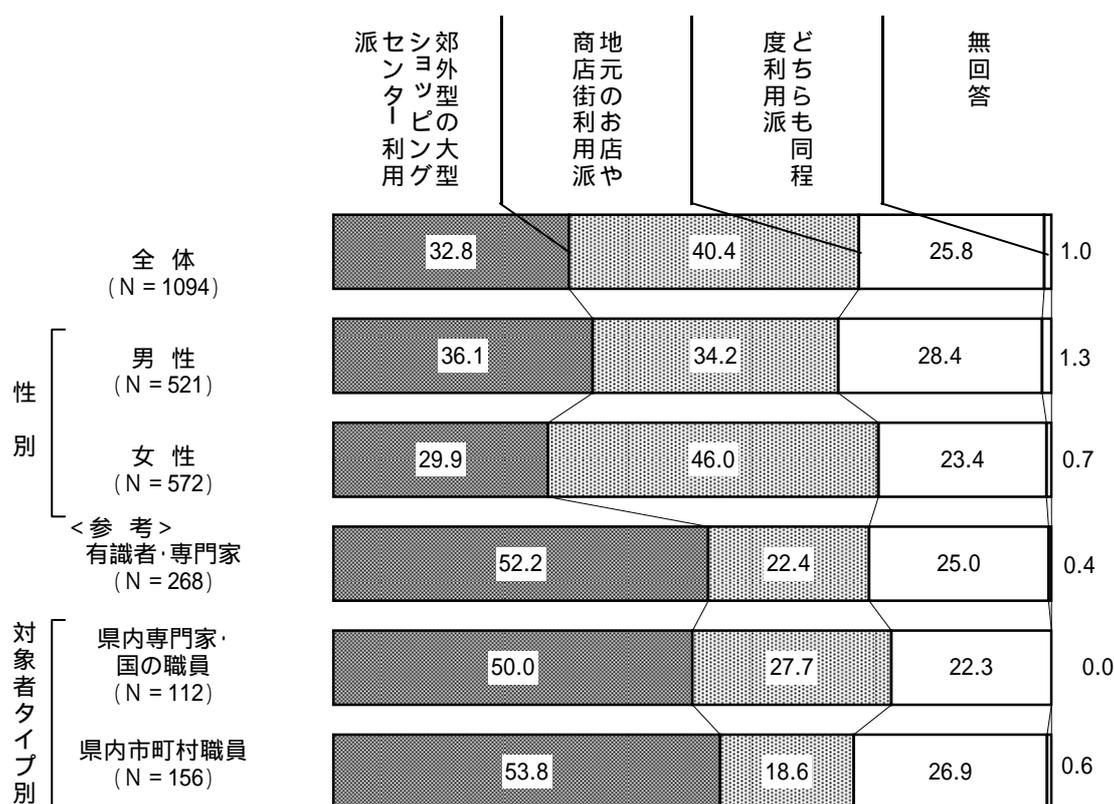
性別にみると、男性では「郊外型の大型ショッピングセンター利用派」、女性では「地元のお店や商店街利用派」の比率が高い。

(利用パターンの考え方)

		地元のお店や商店街			
		よく利用する	時々利用する	あまり利用しない	まったく利用しない
郊外型の大型ショッピングセンター	よく利用する	両方ともよく利用			
	時々利用する		両方とも時々利用		
	あまり利用しない			両方ともあまり利用しない	
	まったく利用しない				両方ともまったく利用しない

地元のお店や商店街利用派
  郊外型の大型ショッピングセンター利用派

図5(1) ショッピングの利用パターン



注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向

- ・性・年齢・未既婚別にみると、20・30代男女では「大型ショッピングセンター利用派」が多いのに対し、60代以上の男性や50代以上の女性では「地元のお店・商店街利用派」が多くなっている。
- ・居住年数別にみると、長い層ほど「地元のお店・商店街利用派」が多く、40年以上になると半数を超える人が「地元のお店・商店街利用派」である。  
一方、5年未満の居住層では「大型ショッピングセンター利用派」が多くなっている。
- ・居住地域別にみると、各エリアとも「大型ショッピングセンター利用派」と「地元のお店・商店街利用派」に二分している中、武雄市エリア居住層では「地元のお店・商店街利用派」の割合が高い。

表5(1) 階層別にみた「ショッピング」に関する利用状況

	回収数	郊外型の大型ショッピングセンター					地元のお店や商店街					利用パターン		
		利用する計	よく利用する	時々利用する	あまり利用しない	まったく利用しない	利用する計	よく利用する	時々利用する	あまり利用しない	まったく利用しない	セ大型ショッピングセンター利用派	街地元の利用派	どちらでも同程度利用
全体	1094	73.5	26.1	47.3	22.9	3.2	70.7	36.6	34.2	23.1	5.5	32.8	40.4	25.8
<性・年齢・未既婚別>														
男性	521	76.2	29.9	46.3	21.1	2.3	67.8	29.9	37.8	25.3	5.8	36.1	34.2	28.4
20代・未婚	63	74.6	28.6	46.0	23.8	1.6	50.8	19.0	31.7	34.9	12.7	42.9	27.0	28.6
20代・既婚	29	82.8	37.9	44.8	13.8	3.4	55.2	17.2	37.9	34.5	6.9	48.3	17.2	31.0
30代・未婚	20	70.0	25.0	45.0	30.0	0.0	60.0	20.0	40.0	40.0	0.0	35.0	25.0	40.0
30代・既婚	61	86.9	42.6	44.3	9.8	3.3	55.7	18.0	37.7	31.1	13.1	52.5	21.3	26.2
40代	102	83.3	26.5	56.9	15.7	1.0	71.6	31.4	40.2	19.6	7.8	31.4	34.3	33.3
50代	114	70.2	25.4	44.7	28.1	0.9	67.5	35.1	32.5	28.1	3.5	34.2	38.6	26.3
60代以上	132	71.2	30.3	40.9	23.5	4.5	82.6	39.4	43.2	15.9	0.0	28.0	44.7	25.0
女性	572	71.2	22.7	48.4	24.5	3.8	73.4	42.5	30.9	21.2	5.2	29.9	46.0	23.4
20代・未婚	50	76.0	24.0	52.0	22.0	0.0	50.0	16.0	34.0	42.0	8.0	46.0	20.0	32.0
20代・既婚	31	87.1	41.9	45.2	12.9	0.0	61.3	29.0	32.3	22.6	16.1	45.2	29.0	25.8
30代・未婚	10	100.0	40.0	60.0	0.0	0.0	70.0	10.0	60.0	10.0	20.0	50.0	10.0	40.0
30代・既婚	81	90.1	28.4	61.7	8.6	1.2	61.7	30.9	30.9	29.6	8.6	43.2	28.4	28.4
40代	121	71.9	27.3	44.6	21.5	5.0	72.7	42.1	30.6	22.3	5.0	33.1	44.6	20.7
50代	119	70.6	17.6	52.9	24.4	5.0	77.3	51.3	26.1	21.8	0.8	23.5	55.5	21.0
60代以上	160	55.0	15.0	40.0	39.4	5.6	86.9	55.0	31.9	9.4	3.1	16.3	62.5	20.6
<居住年数別>														
40年以上	320	63.4	21.3	42.2	32.5	3.8	79.1	42.5	36.6	17.2	3.1	24.4	50.6	24.1
20～40年未満	394	72.6	25.1	47.5	23.9	3.0	66.2	34.5	31.7	27.7	5.3	35.0	38.1	25.9
5～20年未満	253	81.0	28.1	53.0	15.0	3.2	71.5	36.0	35.6	22.5	5.5	33.6	37.5	27.7
5年未満	127	86.6	37.8	48.8	11.0	2.4	62.2	29.1	33.1	25.2	11.8	45.7	27.6	26.0
<居住地域別>														
佐賀市エリア	408	77.0	28.4	48.5	19.6	2.9	68.4	39.5	28.9	22.1	8.3	35.0	39.0	24.5
唐津市エリア	253	71.5	24.1	47.4	24.5	4.0	68.0	33.2	34.8	26.1	5.9	33.6	40.7	25.7
鳥栖市エリア	218	74.3	28.4	45.9	22.0	2.3	72.5	36.2	36.2	25.2	1.8	34.4	37.6	26.1
武雄市エリア	214	68.2	22.0	46.3	28.0	3.7	76.6	35.0	41.6	19.6	3.3	26.2	45.3	28.0
<同居家族別>														
乳幼児がいる	231	81.8	29.9	51.9	16.0	2.2	68.0	27.7	40.3	23.8	7.4	38.5	30.3	30.3
1歳未満	52	90.4	50.0	40.4	7.7	1.9	63.5	23.1	40.4	21.2	13.5	55.8	25.0	17.3
1歳～小学校入学前	206	80.6	28.2	52.4	17.5	1.9	68.4	27.2	41.3	24.3	6.3	36.4	29.6	33.0
小学生	198	80.3	30.3	50.0	16.2	3.0	72.7	36.4	36.4	20.2	7.1	33.8	38.4	27.3
中学生	125	80.0	30.4	49.6	17.6	2.4	65.6	28.0	37.6	28.8	5.6	40.0	32.8	27.2
高校生	143	72.7	23.1	49.7	23.1	2.8	70.6	35.0	35.7	24.5	3.5	29.4	39.2	29.4
短大・大学生・専門学校生	114	79.8	33.3	46.5	17.5	1.8	66.7	36.0	30.7	28.1	4.4	38.6	34.2	25.4
未婚の社会人	396	71.2	22.7	48.5	25.0	3.5	67.2	37.6	29.5	27.8	4.8	32.6	41.9	25.0
65歳以上の方	564	71.5	23.0	48.4	24.5	3.5	73.2	39.2	34.0	22.5	3.5	29.8	44.5	24.5
この中にはいない	106	69.8	28.3	41.5	25.5	4.7	71.7	44.3	27.4	18.9	8.5	34.0	46.2	18.9

注) 数値は回収数を100とした%

## (2)「ショッピング」環境に対する印象

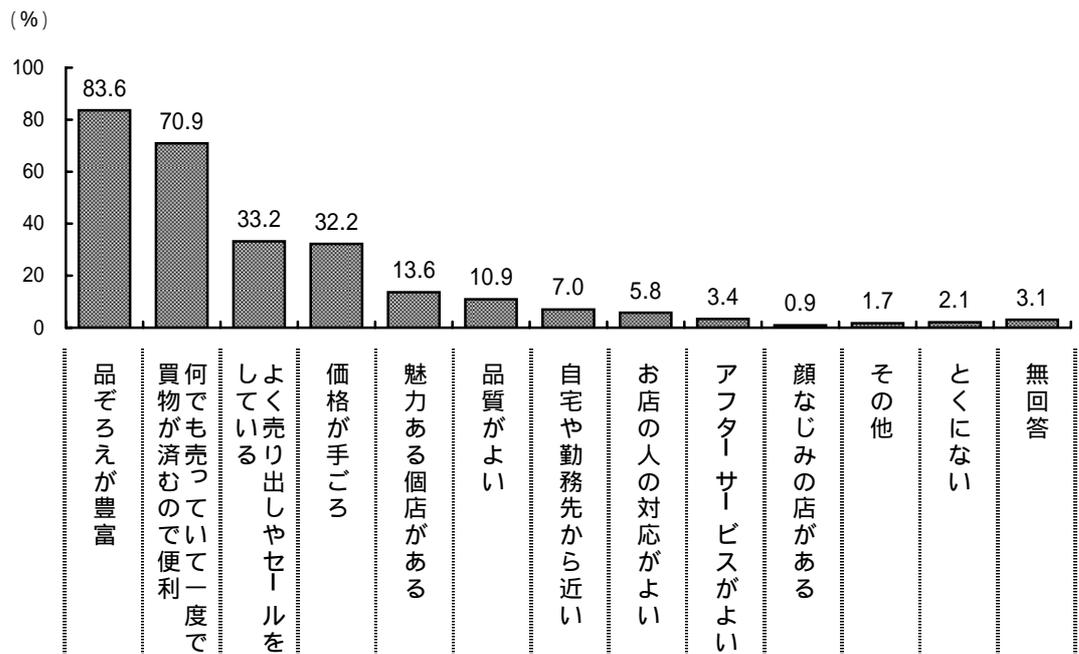
### 「郊外型の大型ショッピングセンター」の印象

『郊外型の大型ショッピングセンター』は、「品ぞろえが豊富」(84%)な点をトップに「何でも売っていて一度で買物が済むので便利」(71%)との印象が高い。

以下、「よく売り出しやセールをしている」(33%)、「価格が手ごろ」(32%)といった値頃感のある印象が持たれている。

よく利用するという回答が高かった男性で「価格が手ごろ」との印象が高いくらいで性別による大きな印象の差はみられない。

図5(2) 「郊外型の大型ショッピングセンター」の印象(N = 1094)



性別	品ぞろえが豊富		何でも売っていて一度で買物が済むので便利		よく売り出しやセールをしている		価格が手ごろ		魅力ある個店がある		品質がよい		自宅や勤務先から近い		お店の人の対応がよい		アフターサービスがよい		顔なじみの店がある		その他		とくにない		無回答			
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
	521	572	85.2	82.2	69.1	72.7	33.4	33.0	36.9	28.0	12.7	14.5	11.7	10.1	7.7	6.5	6.7	4.9	3.8	3.0	0.8	1.0	1.3	2.1	1.7	2.4	2.9	3.3

<参考>

web調査		109	82.6	71.6	23.9	42.2	8.3	6.4	4.6	7.3	2.8	0.0	7.3	6.4	0.0
有識者・専門家		268	89.9	77.6	29.1	39.2	13.4	7.5	7.1	5.6	2.2	0.4	3.0	1.5	0.7
タイプ別	県内専門家・国の職員	112	89.3	78.6	29.5	31.3	11.6	6.3	9.8	5.4	0.9	0.0	1.8	2.7	1.8
	県内市町村職員	156	90.4	76.9	28.8	44.9	14.7	8.3	5.1	5.8	3.2	0.6	3.8	0.6	0.0

注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向

- ・性・年齢・未既婚別にみると、上位の印象の他に20代男女では「魅力ある個店がある」との印象が高い。
- ・居住年数別にみると、5年未満の層では他層に比べ、「よく売り出しやセールをしている」「魅力ある個店がある」との印象が高い。
- ・利用頻度別にみると、よく利用する層では上位イメージの他に「価格が手ごろ」との印象が高くなっている。

表5(2) 階層別にみた「郊外型の大型ショッピングセンター」の印象

	回収数	品ぞろえが豊富	济むの度で便利	何でも買物がいい	よく売っている	価格が手ごろ	魅力ある個店がある	品質がよい	自宅や勤務先から近い	お店の人の対応がよい	アフターサービスがよい	顔なじみの店がある	その他	とくにない	無回答
全体	1094	83.6	70.9	33.2	32.2	13.6	10.9	7.0	5.8	3.4	0.9	1.7	2.1	3.1	
<性・年齢・未既婚別>															
男性	521	85.2	69.1	33.4	36.9	12.7	11.7	7.7	6.7	3.8	0.8	1.3	1.7	2.9	
20代・未婚	63	87.3	68.3	42.9	28.6	25.4	19.0	7.9	7.9	7.9	1.6	0.0	3.2	0.0	
20代・既婚	29	79.3	75.9	34.5	41.4	24.1	6.9	10.3	13.8	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
30代・未婚	20	80.0	55.0	25.0	30.0	0.0	5.0	10.0	15.0	5.0	0.0	5.0	10.0	0.0	
30代・既婚	61	83.6	62.3	26.2	24.6	24.6	18.0	6.6	9.8	3.3	3.3	4.9	4.9	0.0	
40代	102	85.3	69.6	31.4	42.2	9.8	9.8	7.8	7.8	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	
50代	114	91.2	71.1	29.8	40.4	8.8	7.9	12.3	1.8	6.1	0.0	0.9	0.9	3.5	
60代以上	132	81.8	71.2	37.9	39.4	6.1	12.1	3.0	5.3	2.3	0.0	0.8	0.0	6.8	
女性	572	82.2	72.7	33.0	28.0	14.5	10.1	6.5	4.9	3.0	1.0	2.1	2.4	3.3	
20代・未婚	50	88.0	78.0	30.0	18.0	26.0	12.0	12.0	2.0	2.0	8.0	0.0	0.0	0.0	
20代・既婚	31	80.6	64.5	35.5	12.9	35.5	22.6	3.2	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
30代・未婚	10	90.0	50.0	40.0	50.0	10.0	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
30代・既婚	81	86.4	81.5	32.1	28.4	22.2	7.4	2.5	3.7	2.5	0.0	6.2	1.2	0.0	
40代	121	84.3	72.7	34.7	28.9	15.7	11.6	11.6	5.8	3.3	1.7	1.7	1.7	0.8	
50代	119	89.1	75.6	39.5	31.1	10.9	7.6	5.0	4.2	1.7	0.0	0.8	1.7	1.7	
60代以上	160	71.3	67.5	27.5	29.4	5.0	10.0	3.8	6.3	4.4	0.0	2.5	5.6	10.0	
<居住年数別>															
40年以上	320	82.8	71.6	31.6	35.6	6.6	9.7	4.7	5.9	3.8	0.6	0.3	2.8	5.9	
20~40年未満	394	84.3	71.3	34.0	29.4	16.0	9.9	9.1	6.1	3.0	1.5	1.5	1.5	2.5	
5~20年未満	253	83.4	68.0	30.0	35.2	13.0	13.4	7.5	4.3	3.6	0.0	3.6	2.8	2.0	
5年未満	127	84.3	74.0	40.9	26.0	25.2	11.8	5.5	7.1	3.1	1.6	2.4	0.8	0.0	
<居住地域別>															
佐賀市エリア	408	83.1	73.5	31.6	28.7	15.4	10.5	10.3	5.4	3.9	1.2	3.2	1.7	2.0	
唐津市エリア	253	84.2	70.8	33.2	39.1	10.7	11.1	5.9	5.9	3.6	0.4	1.2	2.8	4.7	
鳥栖市エリア	218	84.4	69.7	30.7	32.1	11.0	13.8	6.4	5.5	2.3	0.5	0.9	1.8	2.8	
武雄市エリア	214	83.6	67.3	38.8	30.8	16.4	8.4	2.8	6.5	3.3	1.4	0.5	2.3	3.7	
<同居家族別>															
乳幼児がいる	231	84.4	72.7	32.5	29.4	20.8	10.8	5.6	5.2	2.6	0.4	3.5	0.9	1.7	
1歳未満	52	78.8	80.8	28.8	40.4	21.2	7.7	7.7	7.7	1.9	1.9	1.9	0.0	0.0	
1歳~小学校入学前	206	84.0	71.4	32.5	28.6	21.8	10.7	6.3	4.9	2.4	0.5	3.9	1.0	1.9	
小学生	198	85.9	71.2	29.3	36.4	13.1	11.1	5.6	7.1	4.5	0.0	1.0	2.5	1.5	
中学生	125	86.4	70.4	39.2	39.2	12.8	12.8	7.2	7.2	5.6	0.0	0.8	2.4	0.0	
高校生	143	85.3	73.4	35.7	34.3	14.7	9.1	5.6	4.2	0.0	0.7	0.7	2.1	1.4	
短大・大学生・専門学校生	114	88.6	78.9	41.2	27.2	10.5	14.0	12.3	7.9	7.0	1.8	0.0	1.8	0.9	
未婚の社会人	396	85.1	70.7	36.1	32.1	13.4	10.9	6.6	5.8	3.5	2.0	1.3	1.8	2.8	
65歳以上の方	564	83.0	69.7	30.3	33.7	11.5	11.5	6.2	5.3	3.0	0.7	1.1	2.5	3.7	
この中にはいない	106	88.7	74.5	33.0	34.0	13.2	7.5	4.7	7.5	1.9	0.9	2.8	0.9	3.8	
<郊外型・大型ショッピングセンターの利用頻度別>															
よく利用する	286	85.3	73.8	37.4	40.2	15.0	16.1	10.8	8.4	4.5	2.4	4.2	0.0	0.7	
時々利用する	518	86.5	73.9	32.4	31.9	14.5	9.7	6.9	3.7	3.5	0.4	0.8	1.2	1.9	
あまり利用しない	250	80.4	66.8	32.4	26.8	10.4	8.4	4.0	6.0	2.4	0.4	0.4	4.0	6.0	
まったく利用しない	35	57.1	40.0	20.0	11.4	8.6	2.9	0.0	14.3	0.0	0.0	5.7	20.0	14.3	

注) 数値は回収数を100とした%

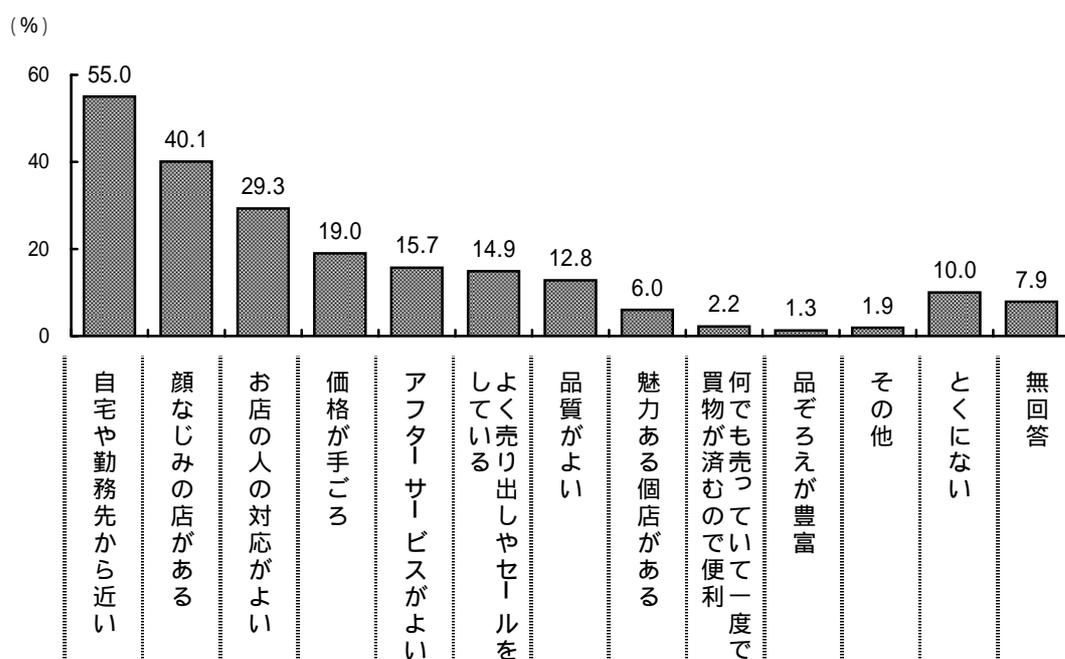
## 「地元のお店や商店街」の印象

『地元のお店や商店街』の印象としては、「自宅や勤務先から近い」（55%）といった立地上の利便性のよさが最も高い。

以下、「顔なじみの店がある」（40%）、「お店の人の対応がよい」（29%）など“品揃えなどの商品面”より、“なじみ感”の印象が高くなっている。

性別にみると、「顔なじみの店がある」「お店の人の対応がよい」などの点は男性で高いのに対し、よく利用するとの回答が高かった女性では男性に比べ、「価格が手ごろ」「よく売り出しやセールをしている」などの“価格面”への反応も高い。

図5(2) 「地元のお店や商店街」の印象 (N = 1094)



性別	男性		女性	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
男性	521	53.4	572	56.6
女性	521	44.7	572	36.0
	521	31.9	572	26.9
	521	14.6	572	23.1
	521	19.0	572	12.6
	521	9.4	572	19.9
	521	11.1	572	14.3
	521	6.7	572	5.2
	521	1.3	572	3.0
	521	0.6	572	1.9
	521	1.7	572	2.1
	521	10.0	572	10.0
	521	8.6	572	7.2

< 参考 >

調査対象	人数	自宅や勤務先から近い (%)	顔なじみの店がある (%)	お店の人の対応がよい (%)	価格が手ごろ (%)	アフターサービスがよい (%)	よく売り出しやセールをしている (%)	品質がよい (%)	魅力ある個店がある (%)	買物が済むので便利 (%)	何でも売っていて一度で品ぞろえが豊富 (%)	その他 (%)	とくにない (%)	無回答 (%)	
web調査	109	45.9	38.5	26.6	4.6	14.7	2.8	12.8	7.3	0.0	0.0	4.6	27.5	0.0	
有識者・専門家	268	62.3	45.1	25.0	8.2	20.9	3.7	9.3	9.7	0.4	0.7	4.1	14.2	4.1	
タイプ別	県内専門家・国の職員	112	52.7	34.8	29.5	12.5	23.2	4.5	8.9	14.3	0.9	0.9	6.3	15.2	7.1
	県内市町村職員	156	69.2	52.6	21.8	5.1	19.2	3.2	9.6	6.4	0.0	0.6	2.6	13.5	1.9

注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向

- ・ 性・年齢・未既婚別にみると、各層とも「自宅や勤務先から近い」点がトップにある中、50代男性では「顔なじみの店がある」との印象がトップとなっている。その他、30代未婚・60代以上の男性では「お店の人の対応がよい」、20代既婚女性では「価格が手ごろ」「よく売り出しやセールをしている」といった値頃感に関する印象が高い。
- ・ 居住年数別にみると、40年以上と長期居住層では「顔なじみの店がある」「アフターサービスがよい」といった点の印象が高い。
- ・ 利用頻度別にみると、よく利用する層では「自宅や勤務先から近い」点以外に、「価格が手ごろ」「よく売り出しやセールをしている」といった値頃感が持たれている。

表5(2) 階層別にみた「地元のお店や商店街」の印象

	回収数	自宅や勤務先から近い	顔なじみの店がある	お店の人の対応がよい	価格が手ごろ	アフターサービスがよい	よく売り出しやセールをしている	品質がよい	魅力ある個店がある	何でも売っている	品ぞろえが豊富	その他	とくにない	無回答
全体	1094	55.0	40.1	29.3	19.0	15.7	14.9	12.8	6.0	2.2	1.3	1.9	10.0	7.9
<性・年齢・未既婚別>														
男性	521	53.4	44.7	31.9	14.6	19.0	9.4	11.1	6.7	1.3	0.6	1.7	10.0	8.6
20代・未婚	63	54.0	39.7	28.6	19.0	11.1	15.9	6.3	4.8	3.2	0.0	4.8	14.3	7.9
20代・既婚	29	65.5	37.9	27.6	13.8	20.7	0.0	20.7	6.9	0.0	0.0	0.0	6.9	6.9
30代・未婚	20	55.0	45.0	50.0	10.0	10.0	10.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	10.0	5.0
30代・既婚	61	49.2	23.0	16.4	14.8	14.8	9.8	8.2	6.6	1.6	0.0	1.6	19.7	8.2
40代	102	55.9	45.1	29.4	8.8	20.6	8.8	9.8	4.9	0.0	0.0	1.0	14.7	5.9
50代	114	52.6	55.3	32.5	13.2	26.3	7.0	7.0	9.6	0.0	0.0	0.9	7.0	9.6
60代以上	132	50.8	49.2	40.2	18.9	18.2	10.6	18.9	6.8	3.0	2.3	2.3	3.0	11.4
女性	572	56.6	36.0	26.9	23.1	12.6	19.9	14.3	5.2	3.0	1.9	2.1	10.0	7.2
20代・未婚	50	56.0	20.0	22.0	22.0	6.0	14.0	6.0	12.0	0.0	0.0	0.0	14.0	8.0
20代・既婚	31	58.1	19.4	22.6	32.3	6.5	25.8	3.2	0.0	3.2	3.2	0.0	19.4	0.0
30代・未婚	10	80.0	30.0	0.0	20.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0
30代・既婚	81	61.7	35.8	24.7	21.0	12.3	22.2	19.8	0.0	0.0	0.0	1.2	12.3	2.5
40代	121	58.7	32.2	24.8	21.5	14.0	22.3	12.4	5.0	1.7	0.0	2.5	13.2	2.5
50代	119	63.0	42.9	31.1	21.8	15.1	20.2	18.5	5.0	3.4	3.4	0.8	7.6	5.0
60代以上	160	46.3	42.5	30.6	25.0	13.1	17.5	15.0	7.5	6.3	3.8	3.8	5.6	15.6
<居住年数別>														
40年以上	320	54.1	49.1	32.5	17.5	21.6	10.3	14.7	6.6	2.2	1.6	0.6	5.9	10.6
20～40年未満	394	55.3	39.6	28.9	20.6	16.2	17.8	10.9	6.1	2.3	1.3	3.0	9.9	6.6
5～20年未満	253	58.1	34.4	29.6	16.6	10.3	16.2	11.9	5.9	2.0	1.2	2.8	13.4	5.5
5年未満	127	50.4	30.7	21.3	22.8	10.2	15.0	15.7	4.7	2.4	0.8	0.0	13.4	9.4
<居住地域別>														
佐賀市エリア	408	50.0	34.8	29.9	19.6	14.0	18.6	13.2	5.9	2.2	1.5	2.2	11.8	8.1
唐津市エリア	253	53.8	45.5	29.6	14.6	15.0	11.9	13.4	5.1	2.0	1.2	2.8	10.7	9.5
鳥栖市エリア	218	59.2	40.4	26.1	22.9	16.1	14.7	11.5	6.0	0.9	0.5	0.9	9.6	6.4
武雄市エリア	214	62.1	43.9	30.8	19.2	19.6	11.7	12.6	7.5	3.3	1.9	1.4	6.1	7.0
<同居家族別>														
乳幼児がいる	231	59.7	39.4	23.8	20.8	11.7	17.7	12.6	3.0	0.9	0.9	0.4	11.7	5.6
1歳未満	52	61.5	34.6	21.2	21.2	13.5	17.3	13.5	1.9	0.0	0.0	1.9	17.3	0.0
1歳～小学校入学前	206	58.3	39.8	25.2	20.9	11.2	18.0	13.1	2.9	1.0	1.0	0.0	11.2	6.3
小学生	198	52.5	42.4	26.8	15.7	16.2	13.6	12.6	5.6	2.0	1.0	1.0	12.6	6.6
中学生	125	47.2	40.0	31.2	17.6	20.8	12.8	6.4	8.0	0.8	0.0	1.6	15.2	4.8
高校生	143	54.5	30.8	27.3	18.9	21.0	15.4	10.5	5.6	0.7	0.0	1.4	13.3	8.4
短大・大学生・専門学校生	114	55.3	37.7	34.2	16.7	14.0	11.4	13.2	6.1	1.8	0.0	0.9	11.4	6.1
未婚の社会人	396	60.4	42.9	30.6	17.9	18.2	14.6	11.6	6.3	1.8	0.3	2.5	8.1	7.1
65歳以上の方	564	52.1	43.8	32.1	18.8	16.0	14.4	13.5	5.7	2.3	1.8	1.8	9.2	9.4
この中にはいない	106	57.5	37.7	26.4	22.6	15.1	15.1	13.2	6.6	4.7	1.9	3.8	7.5	10.4
<地元のお店や商店街の利用頻度別>														
よく利用する	400	68.8	43.8	32.5	32.3	15.0	22.8	18.0	7.3	4.0	2.3	1.5	2.0	5.3
時々利用する	374	59.6	47.6	33.7	16.8	16.8	15.2	12.6	7.0	1.9	1.3	1.6	3.5	6.4
あまり利用しない	253	38.3	31.2	23.3	5.5	17.8	5.1	7.5	4.0	0.4	0.0	2.0	21.3	10.3
まったく利用しない	60	5.0	8.3	8.3	0.0	5.0	1.7	3.3	1.7	0.0	0.0	5.0	56.7	21.7

注) 数値は回収数を100とした%

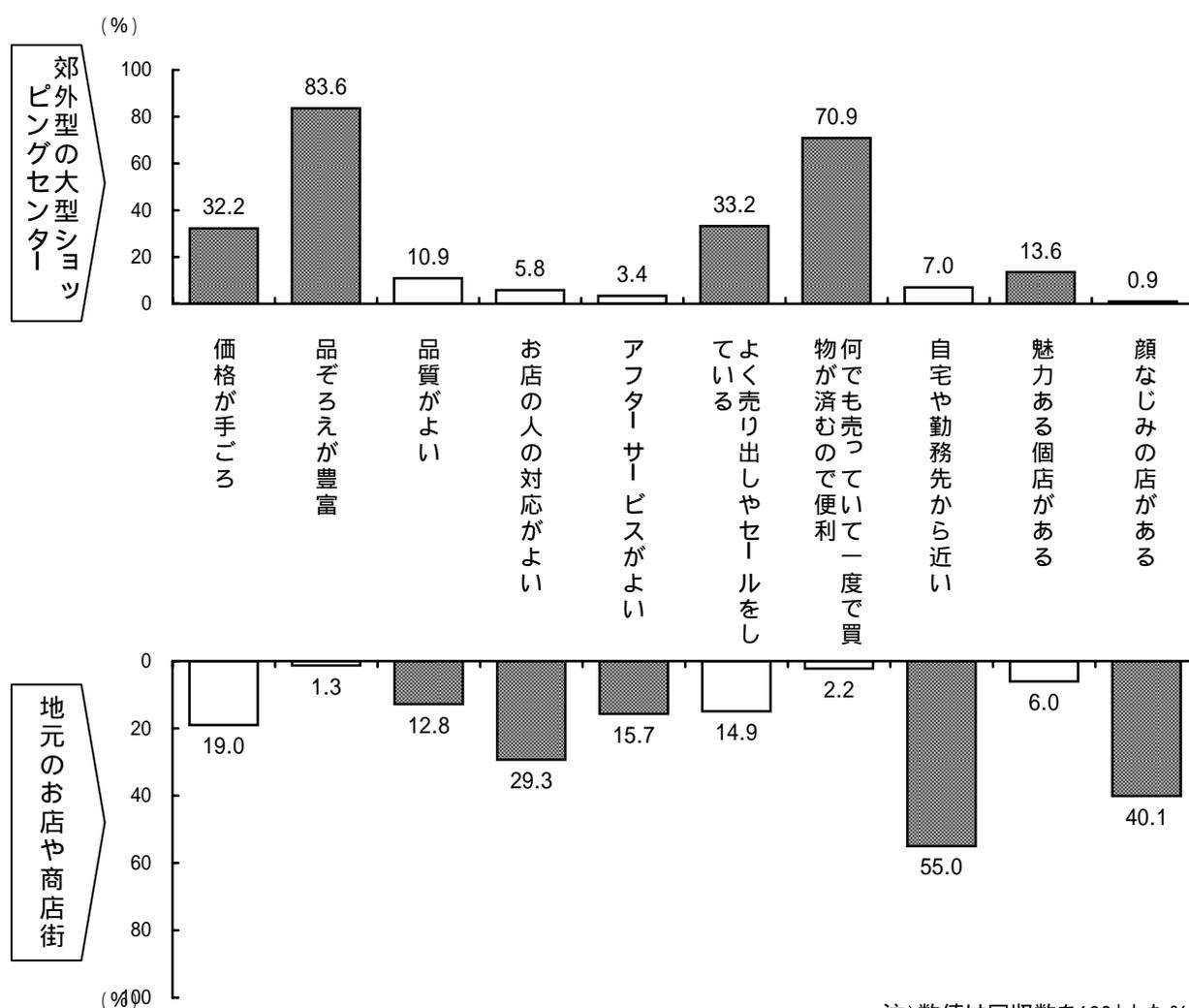
## 『郊外型の大型ショッピングセンター』と『地元のお店や商店街』との印象の違い

『郊外型の大型ショッピングセンター』と『地元のお店や商店街』の印象の違いを比較してみた。

『郊外型の大型ショッピングセンター』は「品ぞろえが豊富」「何でも売っていて一度で買物が済むので便利」といった“豊富さ”、それに対し『地元のお店や商店街』は「自宅や勤務先から近い」「顔なじみの店がある」といった“なじみ感”が最大のポイントである。

また、『郊外型の大型ショッピングセンター』では「価格が手ごろ」「よく売り出しやセールをしている」といった“値頃感”、『地元のお店や商店街』は「お店の人の対応がよい」「アフターサービスがよい」といった“サービス面”が上記に次ぐ魅力点となっている。

図5(2) 「郊外型の大型ショッピングセンター」と「地元のお店や商店街」との印象の違い(N = 1094)



### (3) 「大型店規制緩和」に対する考え方

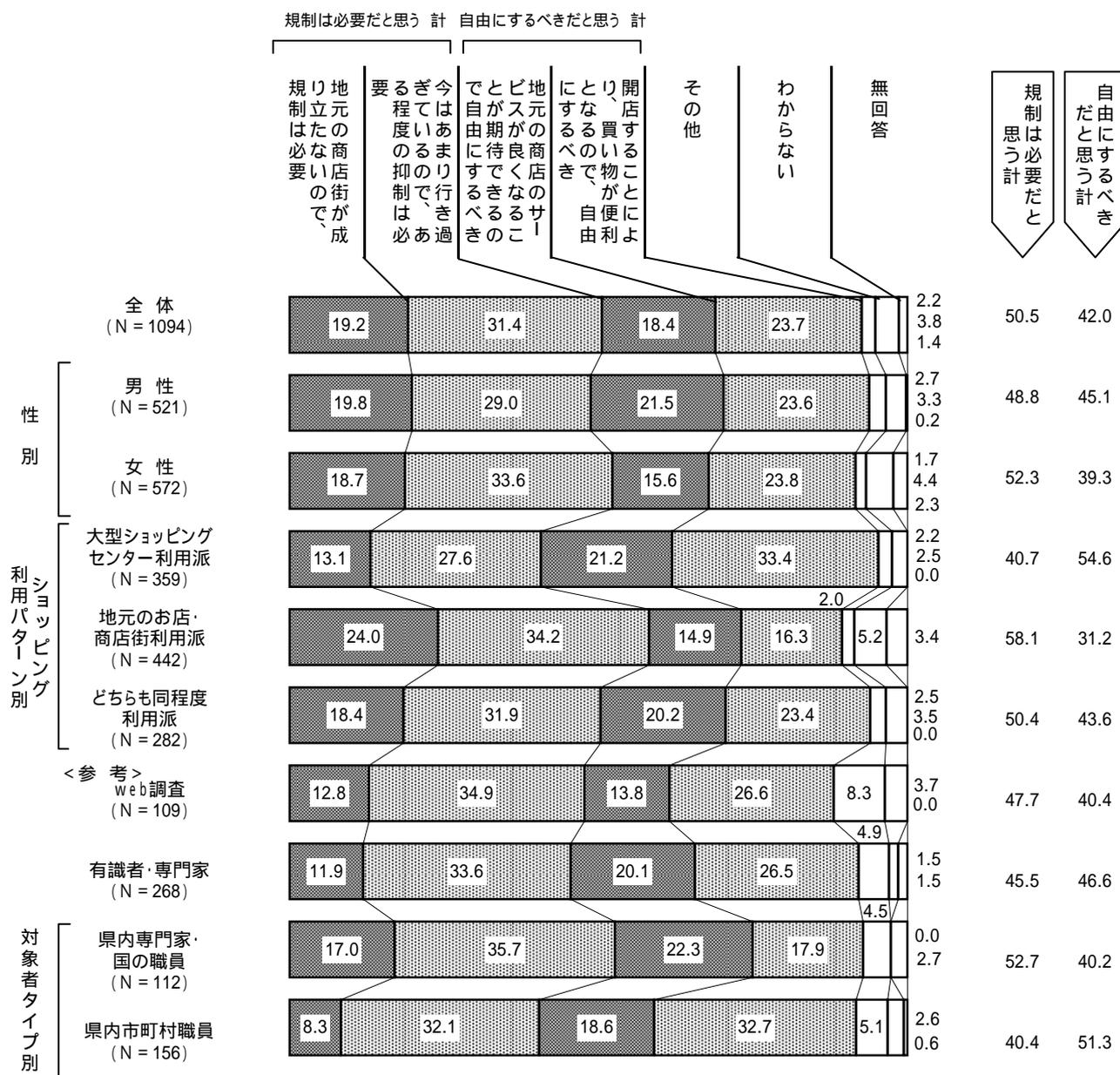
大型店の規制緩和に対して、「規制は必要だと思う」人が51%、「自由にするべきだと思う」人が42%で評価は分かれている。

規制程度としては「地元の商店街が成り立たないので、規制は必要」と絶対的な必要性を支持する人は19%で、「今はあまり行き過ぎているので、ある程度の抑制は必要」と考える人が31%が多い。

一方、自由にすべきとの意向に関しては「地元の商店のサービスが良くなることが期待できるので、ある程度は自由にすべき」と考える人は18%で、「開店することにより、買い物が便利となるので自由にすべき」と強く望む人の方が24%とやや多い。

地元利用派の多い女性や地元のお店や商店街利用派では「規制は必要」との意識、大型ショッピングセンター利用派では「自由にすべき」との意識が高い。

図5(3) 「大型店規制緩和」に対する考え方



注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 1

- ・30代未婚・60代以上の男性や50代以上の女性では「規制は必要だと思う」と60%以上が回答、中でも60代以上では「地元のお店街が成り立たないので、規制は必要」とされ、地元のお店・商店街利用派である様子がうかがえる。
- ・居住地域別にみると、各エリアとも「規制は必要」との意識が高いのに対し、唐津市エリア・武雄市エリア居住層では「規制は必要」「自由にするべき」と評価が二分している。

表5(3) 階層別にみた「大型店規制緩和」に対する考え方 - 1

	回収数	規制は必要だと思う	地元のお店街が成り立たないので、規制は必要	過度は必要	自由にするべき	地元のお店街が成り立たないので、規制は必要	自由にするべき
全体	1094	50.5	19.2	31.4	42.0	18.4	23.7
< 性・年齢・未婚別 >							
男性	521	48.8	19.8	29.0	45.1	21.5	23.6
20代・未婚	63	36.5	22.2	14.3	54.0	22.2	31.7
20代・既婚	29	31.0	10.3	20.7	65.5	20.7	44.8
30代・未婚	20	60.0	15.0	45.0	30.0	15.0	15.0
30代・既婚	61	44.3	18.0	26.2	45.9	21.3	24.6
40代	102	48.0	17.6	30.4	47.1	21.6	25.5
50代	114	46.5	15.8	30.7	48.2	25.4	22.8
60代以上	132	61.4	27.3	34.1	34.1	18.9	15.2
女性	572	52.3	18.7	33.6	39.3	15.6	23.8
20代・未婚	50	30.0	10.0	20.0	66.0	22.0	44.0
20代・既婚	31	35.5	6.5	29.0	48.4	12.9	35.5
30代・未婚	10	30.0	20.0	10.0	70.0	20.0	50.0
30代・既婚	81	48.1	16.0	32.1	42.0	9.9	32.1
40代	121	50.4	15.7	34.7	40.5	19.0	21.5
50代	119	59.7	17.6	42.0	35.3	17.6	17.6
60代以上	160	61.9	28.1	33.8	28.1	12.5	15.6
< 居住地域別 >							
佐賀市エリア	408	54.2	18.6	35.5	41.9	17.4	24.5
唐津市エリア	253	45.5	22.9	22.5	45.5	18.2	27.3
鳥栖市エリア	218	54.1	18.3	35.8	37.2	19.3	17.9
武雄市エリア	214	46.3	16.8	29.4	43.5	19.6	23.8
< 同居家族別 >							
乳幼児がいる	231	43.7	15.2	28.6	48.9	20.8	28.1
1歳未満	52	32.7	5.8	26.9	59.6	25.0	34.6
1歳～小学校入学前	206	45.6	16.5	29.1	46.6	18.9	27.7
小学生	198	52.0	22.2	29.8	38.4	14.6	23.7
中学生	125	51.2	19.2	32.0	39.2	9.6	29.6
高校生	143	47.6	17.5	30.1	43.4	16.8	26.6
短大・大学生・専門学校生	114	50.9	16.7	34.2	41.2	17.5	23.7
未婚の社会人	396	52.0	19.9	32.1	39.9	15.9	24.0
65歳以上の方	564	54.1	21.6	32.4	37.6	15.2	22.3
この中にはいない	106	51.9	17.9	34.0	41.5	20.8	20.8

注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 2

- ・郊外型・大型ショッピングセンターの利用頻度別にみると、よく利用する層では「自由にするべき」との意識が高い半面、それ以外の利用層では「規制は必要」と考える人が多い。中でも、まったく利用しない層では6割を超す人が「規制は必要」と考えている。
- ・一方、地元のお店や商店街の利用頻度別にみると、地元のお店や商店街をよく利用する層の6割近くが「規制は必要」と考えているのに対し、あまり・まったく利用しない層では「自由にするべき」との回答が「規制は必要」を上回っている。
- ・ショッピングに関する利用パターン別にみても、上記と同様の結果がみられ、大型ショッピングセンター利用派では「自由にするべき」、地元のお店・商店街利用派では「規制は必要」との意識が高い。

表5(3) 階層別にみた「大型店規制緩和」に対する考え方 - 2

	回収数	規制は必要だと思う計	は立地元の商店街が規制	度は今のあまり行き過ぎ	自由にするべきだと思	に期待できる自由	るべき	り、開店することによ
全体	1094	50.5	19.2	31.4	42.0	18.4	23.7	
< 郊外型・大型ショッピングセンターの利用頻度別 >								
よく利用する	286	38.1	14.3	23.8	57.7	23.4	34.3	
時々利用する	518	51.9	18.7	33.2	41.9	18.5	23.4	
あまり利用しない	250	59.6	25.2	34.4	28.4	13.6	14.8	
まったく利用しない	35	62.9	22.9	40.0	17.1	8.6	8.6	
< 地元のお店や商店街の利用頻度別 >								
よく利用する	400	57.0	22.8	34.3	35.0	17.0	18.0	
時々利用する	374	51.1	21.4	29.7	40.6	18.7	21.9	
あまり利用しない	253	45.1	11.9	33.2	49.8	20.2	29.6	
まったく利用しない	60	26.7	8.3	18.3	65.0	16.7	48.3	
< ショッピングに関する利用パターン別 >								
大型ショッピングセンター利用派	359	40.7	13.1	27.6	54.6	21.2	33.4	
地元のお店・商店街利用派	442	58.1	24.0	34.2	31.2	14.9	16.3	
どちらも同程度利用派	282	50.4	18.4	31.9	43.6	20.2	23.4	

注) 数値は回収数を100とした%

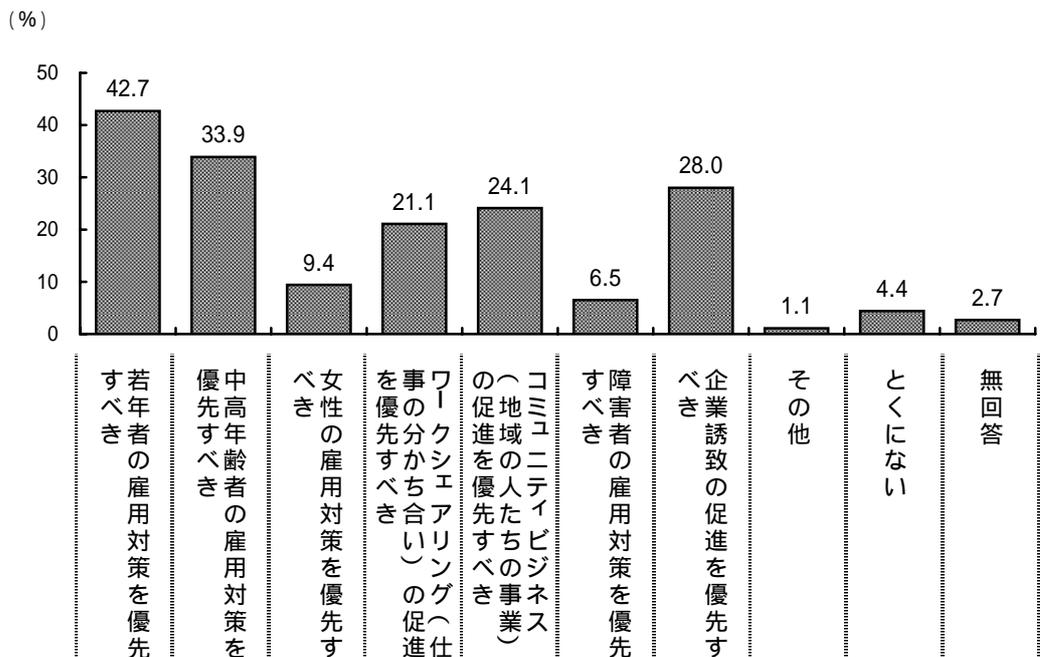
#### (4)「雇用対策」を推進する上で優先すべき内容

『雇用対策』を推進する上で、＜対応者＞としては「若年者の雇用対策を優先すべき」（43％）との意向が高く、それに「中高年齢者の雇用対策」（34％）が続く。「女性の雇用対策」（9％）、「障害者の雇用対策」（7％）を優先すべきと考える人は10％を下回る。

促進すべき内容としては、「企業誘致の促進」（28％）をトップに、「コミュニティビジネス（地域の人たちの事業）の促進」（24％）、「ワークシェアリング（仕事の分かち合い）の促進」（21％）がいずれも2割台の回答となっている。

性別にみると、男性では「若年者の雇用対策」「企業誘致の促進」、女性では「コミュニティビジネス（地域の人たちの事業）の促進」の優先度合いが高い。

図5(4) 「雇用対策」を推進する上で優先すべき内容(N = 1094)



性別	若年者の雇用対策を優先すべき		中高年齢者の雇用対策を優先すべき		女性の雇用対策を優先すべき		ワークシェアリング（仕事の分かち合い）の促進を優先すべき		コミュニティビジネス（地域の人たちの事業）の促進を優先すべき		障害者の雇用対策を優先すべき		企業誘致の促進を優先すべき		その他		とくにない		無回答	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
男性	521	47.2	34.4	6.3	22.1	21.9	6.9	31.5	1.2	3.1	1.7									
女性	572	38.6	33.4	12.2	20.3	26.2	6.1	24.7	1.0	5.6	3.5									

<参考>

web調査		109	53.2	14.7	10.1	34.9	26.6	9.2	23.9	5.5	0.9	0.0
有識者・専門家		268	60.4	23.9	4.1	25.0	24.6	7.5	34.0	1.5	0.4	1.1
対象者タイプ別	県内専門家・国の職員	112	61.6	25.0	4.5	24.1	19.6	10.7	32.1	1.8	0.0	2.7
	県内市町村職員	156	59.6	23.1	3.8	25.6	28.2	5.1	35.3	1.3	0.6	0.0

注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 1

- ・性・年齢・未既婚別にみると、20代未婚男性では「若年者の雇用対策」、40代男性では「中高年齢者の雇用対策」、20・30代女性では「女性の雇用対策」を優先すべきと考えられる人が他層に比べ多い。  
また、50代女性では「コミュニティビジネス（地域の人たちの事業）の促進」の優先が高くなっている。  
50代以上の男性や40代女性では「企業誘致の促進」の優先が高く、60代以上の男性では「若年者の雇用対策」に次ぐ優先順位となっている。
- ・同居家族別にみると、短大・大学生・専門学校生や未婚の社会人を有する人では「若年者の雇用対策を優先すべき」との意識が高い。  
また、短大・大学生・専門学校生を有する人では「企業誘致の促進」や「コミュニティビジネス（地域の人たちの事業）の促進」の優先意向も他層に比べ高くなっている。

表5(4) 階層別にみた「雇用対策」を推進する上で優先すべき内容 - 1

	回収数	若年者の雇用対策を優先すべき	中高年齢者の雇用対策を優先すべき	女性の雇用対策を優先すべき	ワークシェアリングの促進を優先すべき	地域の人たちの事業を優先すべき	コミュニティビジネスの促進を優先すべき	障害者の雇用対策を優先すべき	企業誘致の促進を優先すべき	その他	とくにない	無回答
全体	1094	42.7	33.9	9.4	21.1	24.1	6.5	28.0	1.1	4.4	2.7	
< 性・年齢・未既婚別 >												
男性	521	47.2	34.4	6.3	22.1	21.9	6.9	31.5	1.2	3.1	1.7	
20代・未婚	63	63.5	23.8	14.3	23.8	15.9	12.7	23.8	0.0	1.6	1.6	
20代・既婚	29	44.8	31.0	13.8	24.1	17.2	3.4	20.7	0.0	0.0	3.4	
30代・未婚	20	40.0	20.0	10.0	25.0	25.0	10.0	30.0	0.0	10.0	0.0	
30代・既婚	61	31.1	37.7	8.2	23.0	18.0	6.6	24.6	3.3	8.2	1.6	
40代	102	42.2	41.2	3.9	20.6	27.5	9.8	30.4	2.0	2.9	0.0	
50代	114	41.2	38.6	7.0	25.4	28.9	3.5	33.3	0.0	1.8	0.9	
60代以上	132	57.6	31.8	0.8	18.2	16.7	5.3	40.2	1.5	2.3	3.8	
女性	572	38.6	33.4	12.2	20.3	26.2	6.1	24.7	1.0	5.6	3.5	
20代・未婚	50	36.0	26.0	20.0	26.0	26.0	10.0	14.0	2.0	10.0	0.0	
20代・既婚	31	35.5	32.3	25.8	19.4	16.1	6.5	3.2	9.7	6.5	3.2	
30代・未婚	10	10.0	50.0	20.0	40.0	30.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
30代・既婚	81	30.9	37.0	14.8	28.4	19.8	6.2	22.0	0.0	3.7	1.2	
40代	121	39.7	34.7	10.7	23.1	28.1	5.0	33.1	0.0	5.0	2.5	
50代	119	46.2	37.0	8.4	16.0	30.3	3.4	23.5	0.8	4.2	4.2	
60代以上	160	39.4	29.4	9.4	14.4	26.9	8.1	28.1	0.6	6.9	6.3	
< 居住年数別 >												
40年以上	320	51.9	30.0	4.7	19.1	24.1	3.8	31.9	1.3	4.4	4.4	
20～40年未満	394	42.6	33.0	11.4	18.3	24.6	6.6	26.9	1.0	5.6	1.8	
5～20年未満	253	36.8	35.6	11.5	26.5	24.9	7.1	28.5	0.4	2.8	2.4	
5年未満	127	31.5	43.3	11.0	24.4	21.3	11.8	20.5	2.4	3.9	1.6	
< 居住地域別 >												
佐賀市エリア	408	42.9	32.1	9.8	22.8	22.3	8.1	30.1	1.0	3.4	2.5	
唐津市エリア	253	47.0	33.2	8.3	18.6	26.5	5.9	27.7	2.0	4.3	3.6	
鳥栖市エリア	218	37.6	37.2	11.5	18.8	27.5	6.4	26.1	0.9	4.1	1.8	
武雄市エリア	214	42.5	35.0	7.9	23.4	21.5	4.2	26.2	0.5	6.5	2.3	
< 同居家族別 >												
乳幼児がいる	231	36.8	33.8	13.9	24.2	20.8	5.2	18.2	1.7	6.1	3.5	
1歳未満	52	40.4	40.4	11.5	21.2	15.4	3.8	17.3	1.9	3.8	3.8	
1歳～小学校入学前	206	35.4	34.0	14.1	25.7	21.8	5.3	17.0	1.5	6.8	3.4	
小学生	198	39.4	35.4	8.6	21.7	24.2	6.1	25.3	1.5	6.6	2.0	
中学生	125	44.8	35.2	11.2	17.6	28.0	6.4	32.0	0.0	1.6	2.4	
高校生	143	43.4	37.8	7.7	21.7	25.2	7.7	35.0	0.7	3.5	0.7	
短大・大学生・専門学校生	114	48.2	26.3	7.9	24.6	33.3	6.1	35.1	0.0	2.6	0.0	
未婚の社会人	396	48.5	32.6	10.1	19.7	26.5	6.6	28.5	0.5	4.3	1.5	
65歳以上の方	564	46.3	33.2	8.2	20.4	23.8	5.1	29.4	1.2	3.9	3.2	
この中にはいない	106	34.0	42.5	6.6	23.6	25.5	6.6	28.3	0.9	1.9	4.7	

注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 2

- ・佐賀県での暮らしに満足している層では「若年者の雇用対策を優先すべき」との意向が特に高い。  
半面、満足していない層は男性40代が高かったこともあり、「若年者の雇用対策」よりも「中高年齢者の雇用対策を優先すべき」との意向が最も高い。
- ・経済・雇用・観光への期待度別にみると、期待していると強い期待意向を示している層では「若年者の雇用対策」ならびに「企業誘致の促進」を優先すべきとの意向が高い。

表5(4) 階層別にみた「雇用対策」を推進する上で優先すべき内容 - 2

	回収数	若年者の雇用対策を優先すべき	中高年齢者の雇用対策を優先すべき	女性の雇用対策を優先すべき	ワークシェアリング（仕事の分かち合い）の促進を優先すべき	（地域の人たちの事業）の促進を優先すべき	コミュニティビジネス	障害者の雇用対策を優先すべき	企業誘致の促進を優先すべき	その他	とくにない	無回答
全体	1094	42.7	33.9	9.4	21.1	24.1	6.5	28.0	1.1	4.4	2.7	
< 現在の満足度別 >												
満足している計	483	44.9	31.9	9.5	22.8	27.3	6.2	24.8	1.2	3.9	1.7	
満足している	37	59.5	27.0	10.8	10.8	24.3	2.7	8.1	2.7	8.1	5.4	
まあ満足している	446	43.7	32.3	9.4	23.8	27.6	6.5	26.2	1.1	3.6	1.3	
どちらともいえない	342	42.4	33.9	10.8	19.9	19.3	7.9	30.1	0.3	5.0	3.5	
満足していない計	255	39.2	38.4	6.3	20.8	25.5	4.3	31.0	2.0	4.3	2.7	
あまり満足していない	203	40.4	37.9	7.4	22.2	25.6	4.4	30.5	2.0	4.4	2.5	
満足していない	52	34.6	40.4	1.9	15.4	25.0	3.8	32.7	1.9	3.8	3.8	
< 経済・雇用・観光への期待度別 >												
期待している計	561	45.8	35.1	8.7	21.4	26.4	5.3	29.9	0.7	3.0	2.0	
期待している	276	47.8	34.1	8.7	21.4	25.0	4.3	33.7	0.0	1.8	1.8	
やや期待している	285	43.9	36.1	8.8	21.4	27.7	6.3	26.3	1.4	4.2	2.1	
どちらともいえない	248	37.9	33.1	8.1	22.2	23.4	9.7	25.0	0.8	5.6	1.2	
期待していない計	195	41.5	29.2	11.3	25.6	25.1	4.1	28.7	2.1	4.6	2.6	
あまり期待していない	155	40.6	28.4	11.6	27.1	26.5	4.5	27.1	1.9	4.5	1.9	
期待していない	40	45.0	32.5	10.0	20.0	20.0	2.5	35.0	2.5	5.0	5.0	

注) 数値は回収数を100とした%

## 6. 「農林水産業分野」に対する考え方

### (1) 「農山村地域の整備」に対する考え方

『農山村地域の整備』にむけて、「予算を増やすべき」と思っている人が34%と1/3程度みられる。

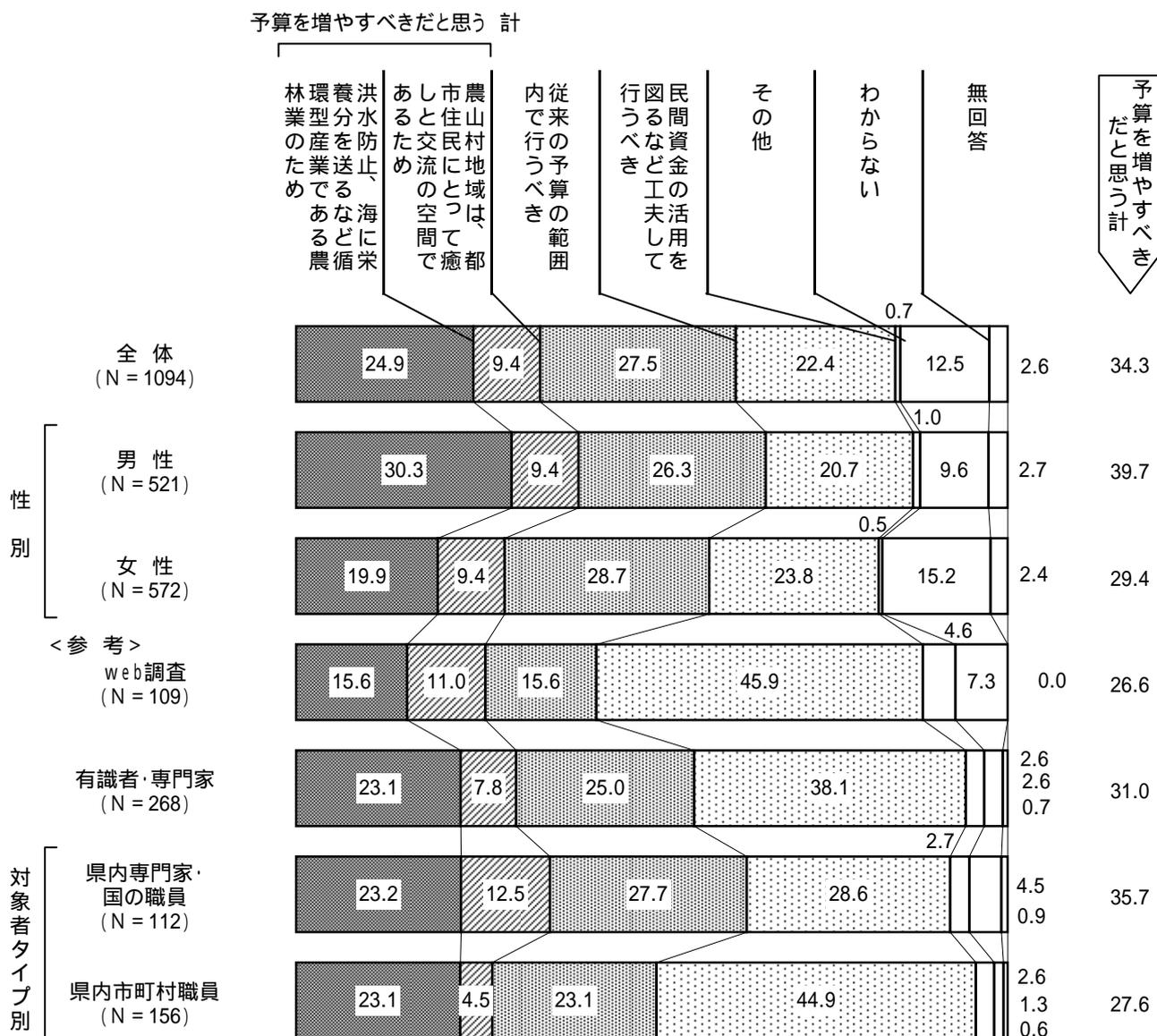
それに対し、「従来の予算の範囲内で行うべき」と考える人が28%、「民間資金の活用を図るなど工夫して行うべき」と考える人が22%みられた。

性別にみると、男性では4割の人が「予算を増やすべき」と考えている。中でも、「洪水の防止や海に栄養分を送るなど循環型産業である農林業のため」(30%)という考えの人が目立って多い。

一方、女性では「予算を増やすべき」という考えと「従来の予算の範囲内で行うべき」という考えの人(各29%)に分かれる。

有識者・専門家では県民に比べ、「民間資金の活用を図るなど工夫して行うべき」との考えが目立つ。特に、県内市町村職員で顕著である。

図6(1) 「農山村地域の整備」に対する考え方



注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 1

- ・性・年齢・未既婚別にみると、50代以上の男性では4割を超す人が「予算を増やすべき」と考え、中でも「洪水防止、海に栄養分を送るなど循環型産業である農林業のため」との考えの人が多い。  
一方、20代既婚男性や30代男性、20・30代女性では「従来の予算の範囲内で行うべき」との考えが多い。
- ・居住年数別にみると、40年以上居住している層で「予算を増やすべき」と考える人が多く、それも「洪水防止、海に栄養分を送るなど循環型産業である農林業のため」という考えが目立って多い。

表6(1) 階層別にみた「農山村地域の整備」に対する考え方 - 1

	回収数	予算を増やすべきだと思ふ計	洪水防止、海に栄養分を送るなど循環型産業のため	農山村地域は、都市との空間で癒える	従来からの予算の範囲内で行うべき	民間資金の活用を図るなど工夫すべき	その他	わからない	無回答
全体	1094	34.3	24.9	9.4	27.5	22.4	0.7	12.5	2.6
< 性・年齢・未既婚別 >									
男性	521	39.7	30.3	9.4	26.3	20.7	1.0	9.6	2.7
20代・未婚	63	34.9	27.0	7.9	17.5	27.0	0.0	15.9	4.8
20代・既婚	29	31.0	20.7	10.3	48.3	17.2	0.0	3.4	0.0
30代・未婚	20	30.0	15.0	15.0	45.0	5.0	0.0	20.0	0.0
30代・既婚	61	27.9	13.1	14.8	32.8	26.2	3.3	9.8	0.0
40代	102	39.2	29.4	9.8	27.5	22.5	1.0	9.8	0.0
50代	114	43.9	36.0	7.9	23.7	20.2	0.9	7.9	3.5
60代以上	132	47.7	40.2	7.6	21.2	17.4	0.8	7.6	5.3
女性	572	29.4	19.9	9.4	28.7	23.8	0.5	15.2	2.4
20代・未婚	50	20.0	10.0	10.0	44.0	28.0	0.0	8.0	0.0
20代・既婚	31	19.4	12.9	6.5	35.5	22.6	0.0	22.6	0.0
30代・未婚	10	10.0	10.0	0.0	50.0	40.0	0.0	0.0	0.0
30代・既婚	81	18.5	9.9	8.6	39.5	18.5	1.2	19.8	2.5
40代	121	35.5	22.3	13.2	19.8	26.4	0.8	15.7	1.7
50代	119	29.4	21.8	7.6	26.1	23.5	0.0	17.6	3.4
60代以上	160	36.3	26.9	9.4	24.4	22.5	0.6	12.5	3.8
< 居住年数別 >									
40年以上	320	44.1	35.9	8.1	22.2	20.9	0.3	8.4	4.1
20～40年未満	394	30.2	19.8	10.4	31.2	22.8	1.0	11.7	3.0
5～20年未満	253	30.4	20.6	9.9	27.3	24.1	1.2	15.8	1.2
5年未満	127	29.9	21.3	8.7	29.9	21.3	0.0	18.9	0.0
< 居住地域別 >									
佐賀市エリア	408	32.8	22.3	10.5	25.2	23.3	1.0	15.4	2.2
唐津市エリア	253	36.0	26.1	9.9	30.4	20.6	0.4	10.7	2.0
鳥栖市エリア	218	32.1	24.8	7.3	28.9	23.9	0.9	11.5	2.8
武雄市エリア	214	37.4	28.5	8.9	27.1	21.5	0.5	9.8	3.7

注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 2

- ・佐賀県での暮らしへの満足度別にみると、「予算を増やすべきだと思う」という考えは、満足度合いにより差はみられない。  
ただ、総合的な暮らしに満足している層の3割が「民間資金の活用を図るなど工夫して行うべき」と考えている。
- ・農林水産業への期待度別にみると、期待度の高い層で「予算を増やすべき」との意向が高く、中でも「洪水防止、海に栄養を送るなど循環型産業である農林業のため」の考えの人が多い。

表6(1) 階層別にみた「農山村地域の整備」に対する考え方 - 2

	回収数	予算を増やすべきだと思 う計	洪水防止、海に栄養を送るなど循環型産業のため	農山村地域は、都市交際の空間である	従来からの予算の範囲内で行うべき	民間資金の活用を図るなど工夫して行うべき	その他	わからない	無回答
全体	1094	34.3	24.9	9.4	27.5	22.4	0.7	12.5	2.6
< 現在の満足度別 >									
満足している計	483	34.0	25.7	8.3	29.8	24.2	0.2	9.5	2.3
満足している	37	35.1	29.7	5.4	18.9	29.7	0.0	13.5	2.7
まあ満足している	446	33.9	25.3	8.5	30.7	23.8	0.2	9.2	2.2
どちらともいえない	342	33.0	21.3	11.7	27.8	19.0	0.9	17.3	2.0
満足していない計	255	35.3	27.5	7.8	23.5	23.9	1.6	12.5	3.1
あまり満足していない	203	35.0	27.6	7.4	21.7	26.6	2.0	11.3	3.4
満足していない	52	36.5	26.9	9.6	30.8	13.5	0.0	17.3	1.9
< 農林水産業への期待度別 >									
期待している計	345	48.1	36.8	11.3	21.7	20.9	1.2	7.2	0.9
期待している	142	57.0	45.8	11.3	17.6	16.9	1.4	5.6	1.4
やや期待している	203	41.9	30.5	11.3	24.6	23.6	1.0	8.4	0.5
どちらともいえない	459	22.2	14.4	7.8	34.0	25.1	0.4	15.3	3.1
期待していない計	194	38.7	28.9	9.8	25.8	21.6	1.0	11.3	1.5
あまり期待していない	149	38.9	28.2	10.7	25.5	20.8	1.3	11.4	2.0
期待していない	45	37.8	31.1	6.7	26.7	24.4	0.0	11.1	0.0

注) 数値は回収数を100とした%

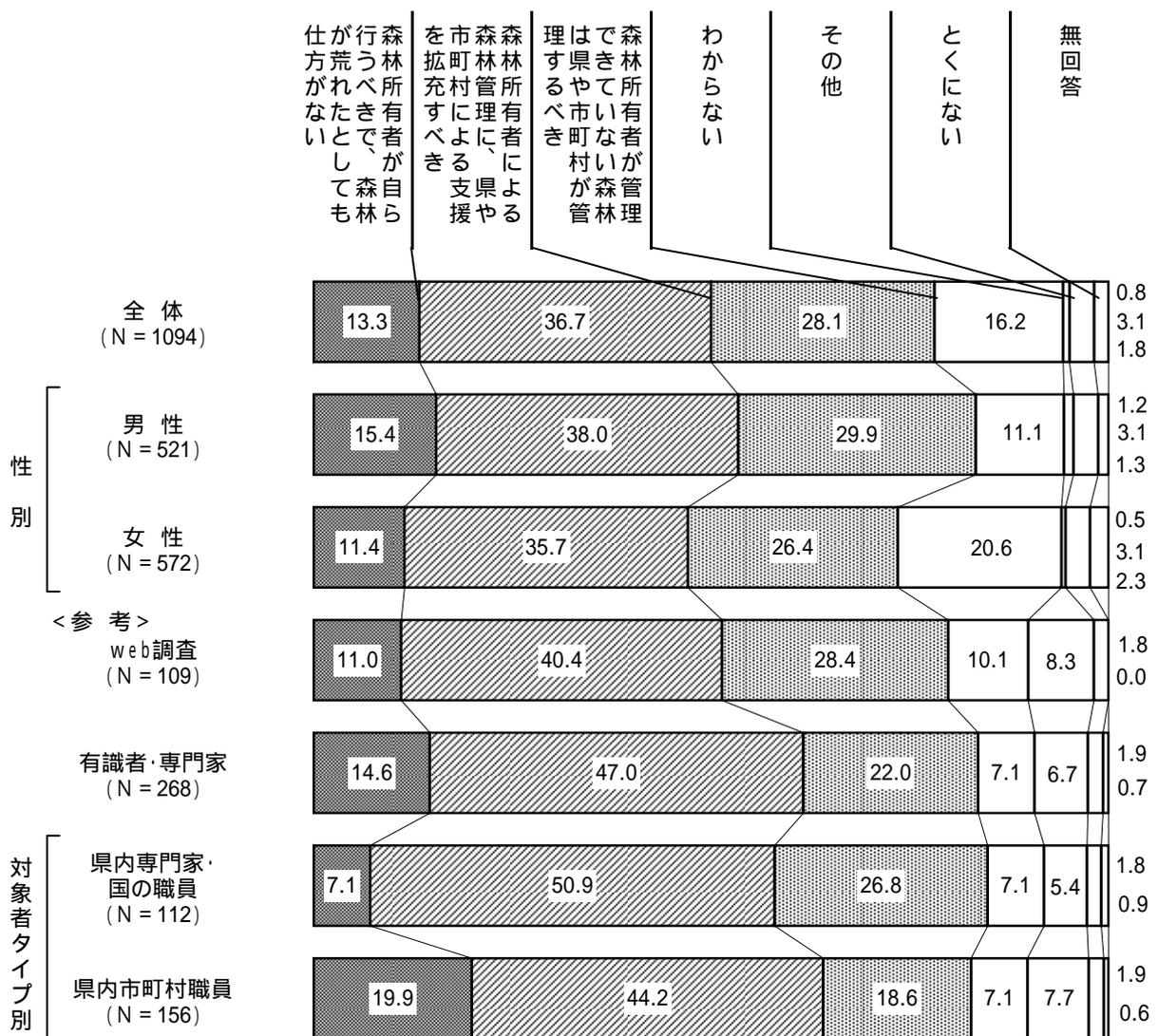
## (2)「森林資源の管理」に対する考え方

森林の役割を考えると、『個人所有の森林管理』は「森林所有者が自ら行うべきで、森林が荒れたとしても仕方がない」と考える人は13%である。

それに対し、「森林所有者による間伐などの森林管理に、県や市町村による支援を拡充すべき」と考える人が37%で最も多く、「森林所有者が管理できていない森林は県や市町村が管理すべき」（28%）を合わせると、65%の人が県や市町村の援助が必要としている。

有識者・専門家調査の結果をみると、県内市町村職員では「森林所有者が自ら行うべき」と考える人が多いのに対し、県内専門家・国の職員では「県や市町村による支援を拡充すべき」と考える人が半数を占める。

図6(2) 「森林資源の管理」に対する考え方



注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 1

- ・性・年齢・未既婚別にみると、「森林所有者による森林管理に、県や市町村による支援を拡充すべき」との意向が中心の中、30代未婚男性では「森林所有者が自ら行うべきで、森林が荒れたとしても仕方がない」、30代既婚男女や20代未婚女性では「森林所有者が管理できていない森林は県や市町村が管理すべき」との考えの人が最も多い。
- ・居住年数別にみると、40年以上の居住層で「森林所有者による森林管理に、県や市町村による支援を拡充すべき」との意向が高くなっている。

表6(2) 階層別にみた「森林資源の管理」に対する考え方 - 1

	回収数	とべ森しき林で、所有者が自ら行いたい	よ管森林に、支援を県や市町村に	町て森林が、所有者が管理すべき	わからない	その他	とくにない	無回答
全体	1094	13.3	36.7	28.1	16.2	0.8	3.1	1.8
< 性・年齢・未既婚別 >								
男性	521	15.4	38.0	29.9	11.1	1.2	3.1	1.3
20代・未婚	63	19.0	36.5	28.6	14.3	0.0	1.6	0.0
20代・既婚	29	24.1	37.9	20.7	13.8	3.4	0.0	0.0
30代・未婚	20	25.0	15.0	25.0	15.0	10.0	10.0	0.0
30代・既婚	61	18.0	29.5	34.4	14.8	3.3	0.0	0.0
40代	102	10.8	45.1	28.4	11.8	0.0	3.9	0.0
50代	114	12.3	38.6	32.5	8.8	0.9	4.4	2.6
60代以上	132	15.2	40.2	30.3	8.3	0.0	3.0	3.0
女性	572	11.4	35.7	26.4	20.6	0.5	3.1	2.3
20代・未婚	50	16.0	22.0	38.0	24.0	0.0	0.0	0.0
20代・既婚	31	12.9	45.2	25.8	6.5	0.0	6.5	3.2
30代・未婚	10	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
30代・既婚	81	4.9	27.2	34.6	27.2	2.5	1.2	2.5
40代	121	8.3	44.6	25.6	18.2	0.8	1.7	0.8
50代	119	13.4	39.5	17.6	23.5	0.0	4.2	1.7
60代以上	160	13.1	32.5	26.3	18.8	0.0	5.0	4.4
< 居住年数別 >								
40年以上	320	11.3	43.1	25.3	13.8	0.0	2.8	3.8
20～40年未満	394	14.5	33.0	29.7	18.0	0.5	3.3	1.0
5～20年未満	253	13.4	36.4	27.3	17.4	1.2	3.2	1.2
5年未満	127	14.2	33.1	31.5	14.2	3.1	3.1	0.8
< 居住地域別 >								
佐賀市エリア	408	10.3	39.0	29.4	15.9	1.0	2.9	1.5
唐津市エリア	253	16.2	38.7	23.3	17.0	0.4	3.2	1.2
鳥栖市エリア	218	11.9	33.9	30.3	17.0	1.4	2.8	2.8
武雄市エリア	214	16.8	33.2	29.0	15.0	0.5	3.3	2.3

注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 2

- ・農林水産業への期待度別にみると、期待している層で「森林所有者による森林管理に、県や市町村による支援を拡充すべき」との意向が高い。  
また、（非常に）期待していると期待度の強い層では他層に比べ、「森林所有者が管理できていない森林は県や市町村が管理すべき」との意向も高くなっている。

表6(2) 階層別にみた「森林資源の管理」に対する考え方 - 2

	回 収 数	と べ き 森 林 所 有 者 が 自 ら 行 う	よ 管 理 に 支 援 を 県 や 市 町 村 に 林	町 で 森 村 が 管 理 す る は 管 理 で き や 市	わ か ら な い	そ の 他	と く に な い	無 回 答
全 体	1094	13.3	36.7	28.1	16.2	0.8	3.1	1.8
< 現在の満足度別 >								
満足している計	483	14.1	38.1	28.4	15.3	0.4	2.5	1.2
満足している	37	18.9	35.1	27.0	10.8	0.0	5.4	2.7
まあ満足している	446	13.7	38.3	28.5	15.7	0.4	2.2	1.1
どちらともいえない	342	12.9	38.0	25.7	17.3	0.9	3.2	2.0
満足していない計	255	12.9	31.0	31.0	16.9	1.6	4.3	2.4
あまり満足していない	203	13.3	32.5	29.6	15.8	2.0	4.4	2.5
満足していない	52	11.5	25.0	36.5	21.2	0.0	3.8	1.9
< 農林水産業への期待度別 >								
期待している計	345	9.0	46.4	29.0	12.8	0.3	1.7	0.9
期待している	142	8.5	45.8	31.7	9.2	0.7	2.1	2.1
やや期待している	203	9.4	46.8	27.1	15.3	0.0	1.5	0.0
どちらともいえない	459	14.4	34.6	27.0	17.6	0.9	3.5	2.0
期待していない計	194	18.0	31.4	27.3	17.5	2.1	3.1	0.5
あまり期待していない	149	16.1	34.2	27.5	17.4	0.7	3.4	0.7
期待していない	45	24.4	22.2	26.7	17.8	6.7	2.2	0.0

注) 数値は回収数を100とした%

### (3)「水源税の導入」に対する考え方

『水源税の導入』に関して、「賛成する」人は31%で、「反対する」(20%)を上回っている。

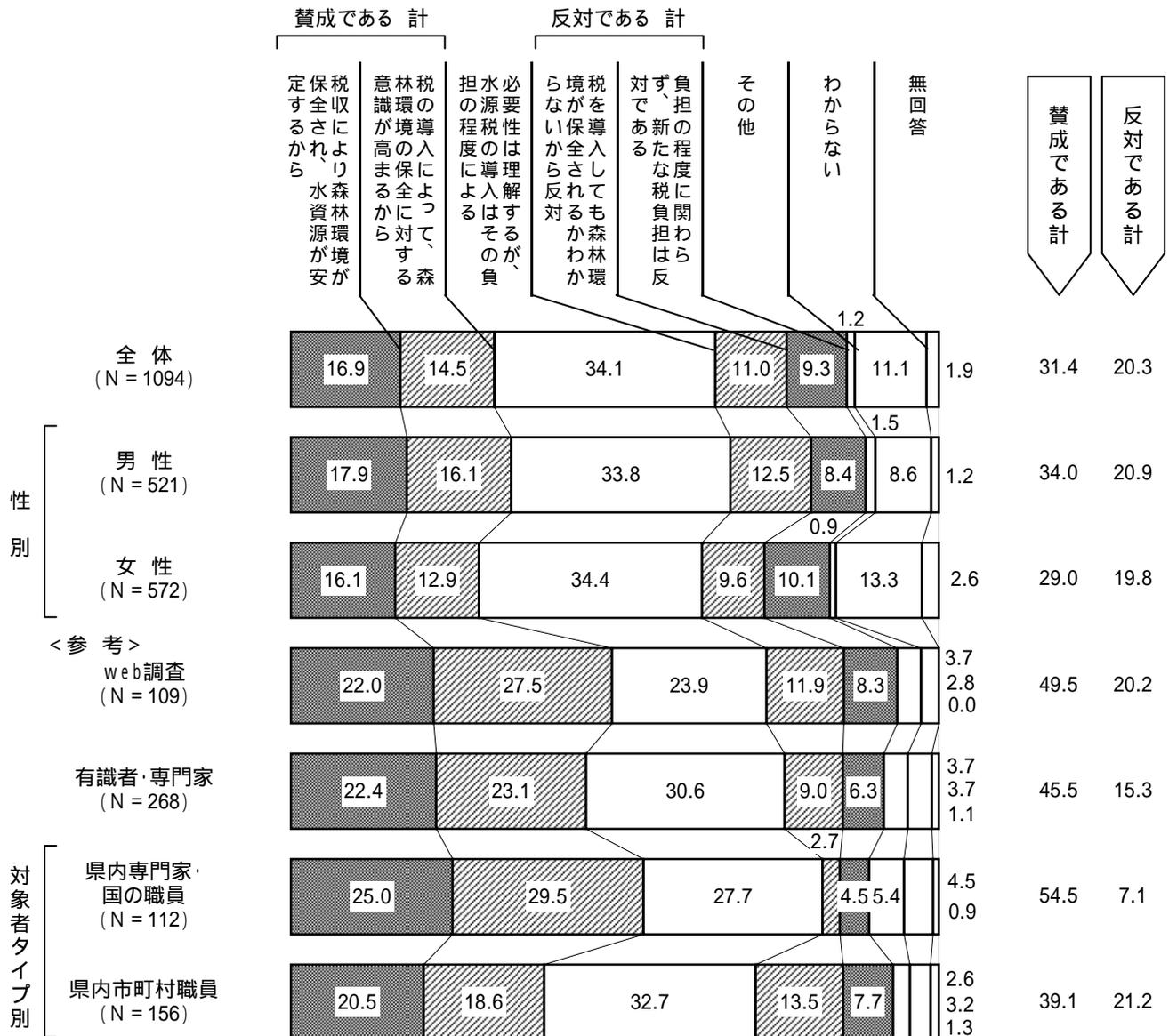
- ・具体的な賛成内容としては、「税収により森林環境が保全され、水資源が安定するから」が17%、「税の導入によって、森林環境の保全に対する意識が高まるから」が15%となっている。

また、「森林環境を保全する必要性は理解するが、水源税の導入はその負担の程度による」と決め兼ねている人が34%と1/3ほどみられた。

性別にみると、男性で「賛成する」人がやや多い。

有識者・専門家調査の結果をみると、県内専門家・国の職員では前述の「森林資源の管理」に関しては「県や市町村による援助の拡充」を支持しながらも、下流域の住民に対する『水源税の導入』については、半数以上の人々が「賛成」との意思表示をしている。

図6(3)「水源税の導入」に対する考え方



注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 1

- ・性・年齢・未既婚別にみると、「必要性は理解するが、水源税の導入はその負担の程度による」との意識の人が多く、20代未婚男性、30代既婚男性、50代男性、60代以上の女性では「賛成」が最多となっている。
- 一方、20代既婚男性では「賛成」と「反対」に意向が分かかれ、30代未婚男性では「反対」との意向者が最も多い。

表6(3) 階層別にみた「水源税の導入」に対する考え方 - 1

	回収数	賛成である計	定保税	意林税	程源必要	反対である計	ら境税	対で	その他	わからない	無回答
			全取に	識環の							
全体	1094	31.4	16.9	14.5	34.1	20.3	11.0	9.3	1.2	11.1	1.9
< 性・年齢・未既婚別 >											
男性	521	34.0	17.9	16.1	33.8	20.9	12.5	8.4	1.5	8.6	1.2
20代・未婚	63	33.3	22.2	11.1	31.7	20.6	11.1	9.5	0.0	14.3	0.0
20代・既婚	29	31.0	3.4	27.6	24.1	31.0	17.2	13.8	3.4	10.3	0.0
30代・未婚	20	25.0	5.0	20.0	15.0	30.0	15.0	15.0	10.0	20.0	0.0
30代・既婚	61	34.4	18.0	16.4	31.1	26.2	19.7	6.6	1.6	6.6	0.0
40代	102	33.3	18.6	14.7	35.3	21.6	13.7	7.8	2.0	6.9	1.0
50代	114	36.8	18.4	18.4	30.7	21.1	13.2	7.9	1.8	7.9	1.8
60代以上	132	34.1	19.7	14.4	42.4	14.4	6.8	7.6	0.0	6.8	2.3
女性	572	29.0	16.1	12.9	34.4	19.8	9.6	10.1	0.9	13.3	2.6
20代・未婚	50	26.0	14.0	12.0	34.0	24.0	16.0	8.0	0.0	14.0	2.0
20代・既婚	31	22.6	3.2	19.4	32.3	25.8	16.1	9.7	3.2	16.1	0.0
30代・未婚	10	40.0	30.0	10.0	40.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0
30代・既婚	81	25.9	11.1	14.8	35.8	22.2	11.1	11.1	1.2	13.6	1.2
40代	121	32.2	15.7	16.5	39.7	16.5	8.3	8.3	0.8	9.9	0.8
50代	119	24.4	16.0	8.4	37.8	22.7	8.4	14.3	0.0	12.6	2.5
60代以上	160	33.1	21.3	11.9	27.5	16.9	8.1	8.8	1.3	15.6	5.6
< 居住年数別 >											
40年以上	320	35.0	20.3	14.7	34.1	17.5	9.1	8.4	0.6	9.1	3.8
20～40年未満	394	30.5	16.5	14.0	34.3	19.5	12.2	7.4	1.3	12.9	1.5
5～20年未満	253	29.2	15.0	14.2	34.4	21.7	9.5	12.3	2.0	11.5	1.2
5年未満	127	29.9	13.4	16.5	33.1	26.8	15.0	11.8	0.8	9.4	0.0
< 居住地域別 >											
佐賀市エリア	408	30.6	16.2	14.5	37.3	17.2	9.6	7.6	1.2	12.0	1.7
唐津市エリア	253	30.0	16.2	13.8	36.4	20.9	9.5	11.5	1.2	9.9	1.6
鳥栖市エリア	218	32.6	17.4	15.1	29.8	22.0	13.3	8.7	1.8	11.5	2.3
武雄市エリア	214	33.6	18.7	15.0	29.9	23.8	13.1	10.7	0.5	10.3	1.9

注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向 - 2

- ・佐賀県での暮らしへの満足度別にみると、満足している層では水源税の導入に関して「賛成である」との支持層が多いのに対し、満足していない層では「反対である」との考えの人が多い。  
特に、(まったく)満足していない層の1/3にあたる人が「反対」との意思表示をしている。
- ・農林水産業への期待度別にみると、期待している層では「賛成である」と同意を示す人が多いものの、期待していない層(中でも、(まったく)期待していない層)では「反対」の人が多い。

表6(3) 階層別にみた「水源税の導入」に対する考え方 - 2

	回収数	賛成である計	定保税 する全 から、 水森 資源 環境 が境 安が	意林税 識環の が境の が高入 まる全 からに 対す、 する森	程源必 度の要 にの性 導は 入理 は解 その るが、 負担の 水	反対である計	ら境税 ないを から導 反対入 されて も森 かわ 林環	対で ず、 負担 である 新たな 程度 に 関 わ ら 反	その他	わからない	無回答
全体	1094	31.4	16.9	14.5	34.1	20.3	11.0	9.3	1.2	11.1	1.9
< 現在の満足度別 >											
満足している計	483	38.9	18.8	20.1	32.7	16.1	9.3	6.8	1.0	10.1	1.0
満足している	37	54.1	21.6	32.4	16.2	13.5	10.8	2.7	2.7	10.8	2.7
まあ満足している	446	37.7	18.6	19.1	34.1	16.4	9.2	7.2	0.9	10.1	0.9
どちらともいえない	342	28.1	17.3	10.8	34.8	21.1	11.4	9.6	0.6	13.2	2.3
満足していない計	255	22.4	12.5	9.8	35.7	27.8	13.7	14.1	2.4	9.0	2.7
あまり満足していない	203	23.6	13.8	9.9	36.0	26.6	12.8	13.8	3.0	7.9	3.0
満足していない	52	17.3	7.7	9.6	34.6	32.7	17.3	15.4	0.0	13.5	1.9
< 農林水産業への期待度別 >											
期待している計	345	43.5	23.8	19.7	35.7	13.0	7.8	5.2	0.9	6.1	0.9
期待している	142	41.5	21.8	19.7	35.2	14.8	8.5	6.3	1.4	4.9	2.1
やや期待している	203	44.8	25.1	19.7	36.0	11.8	7.4	4.4	0.5	6.9	0.0
どちらともいえない	459	25.1	13.5	11.5	37.0	22.4	13.1	9.4	1.7	11.8	2.0
期待していない計	194	26.8	15.5	11.3	29.9	28.4	13.4	14.9	1.0	12.4	1.5
あまり期待していない	149	30.2	17.4	12.8	29.5	24.8	10.7	14.1	0.7	13.4	1.3
期待していない	45	15.6	8.9	6.7	31.1	40.0	22.2	17.8	2.2	8.9	2.2

注) 数値は回収数を100とした%

## 7. 「都道府県のあり方」に対する考え方

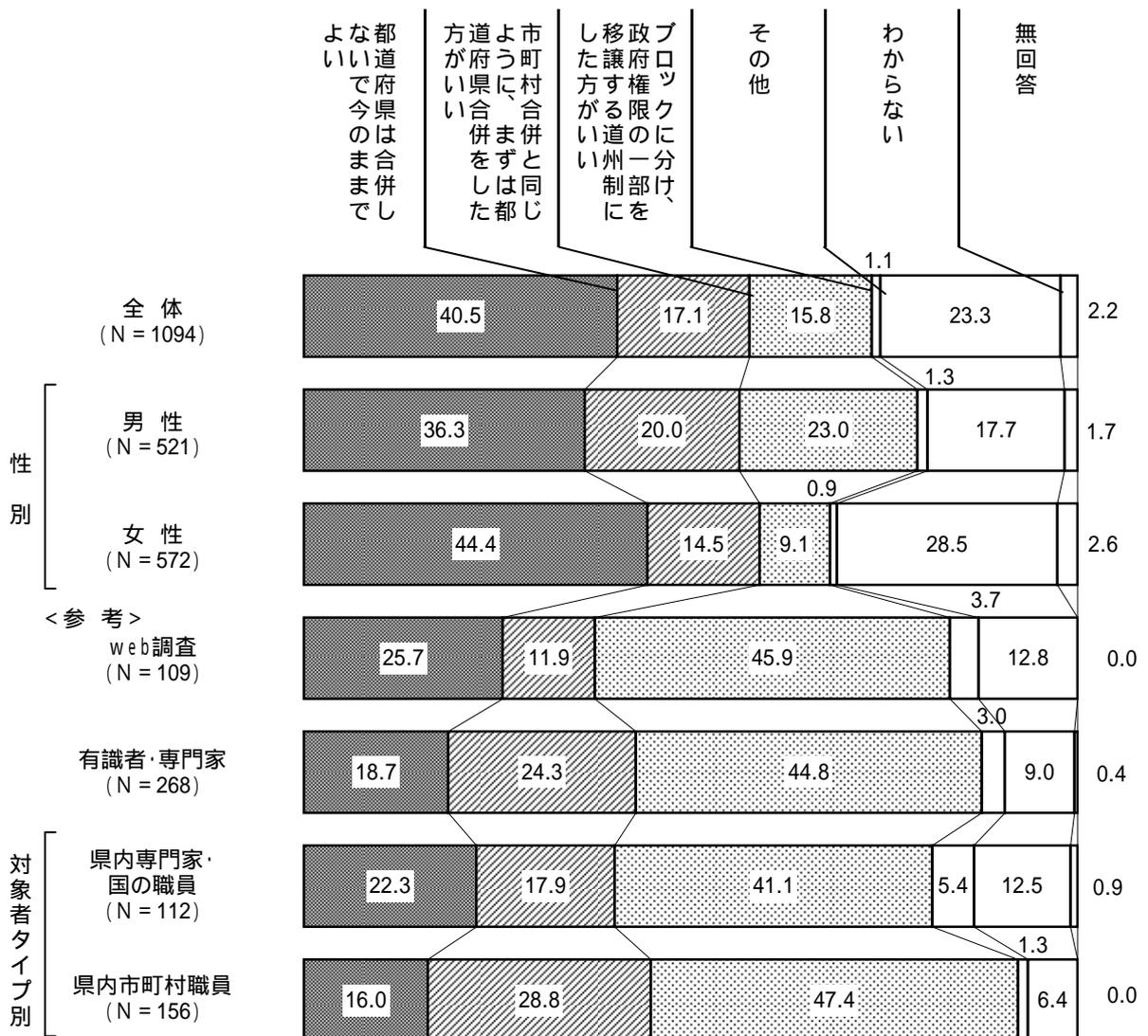
『都道府県のあり方』については、41%の人が「都道府県は合併しないで今のままでよい」と考えている。

一方、「市町村合併と同じように、まずは都道府県合併をした方がいい」は17%、「全国をブロックに分け、政府の権限の一部を移譲する道州制にした方がいい」は16%みられた。

性別にみると、女性では「合併しないで今のままでよい」と考える人が多いのに対し男性では「ブロックに分け、政府の権限の一部を移譲する道州制にした方がいい」と考える人が多い。

有識者・専門家調査の結果をみると、県民では「合併しないで今のままでよい」との意向が高いのに対し、有識者・専門家では「ブロックに分け、政府の権限の一部を移譲する道州制にした方がいい」との意向が最も高い。  
特に、県内市町村職員で「政府権限の一部の移譲」の意向が目立って高い。

図7 「都道府県のあり方」に対する考え方



注) 数値は回収数を100とした%

\* 階層別にみた傾向

- ・ 性・年齢・未既婚別にみると、「都道府県は合併しないで今のままでよい」との意向が各層とも共通して高い。  
それ以外の傾向をみると、20代既婚と60代以上を除く男性では「ブロックに分け、政府権限の一部を移譲する道州制にした方がいい」との意向が高い。  
一方、女性では「今のままでよい」以外に「わからない」という回答が目立つ。
- ・ 佐賀県への愛着度、誇り度別にみると、愛着を感じていない層や誇りに思っていない層では他層に比べ、「市町村合併と同じように、まずは都道府県合併をした方がいい」との意向が高くなっている。

表7 階層別にみた「都道府県のあり方」に対する考え方

	回収数	まし都 でな道 よい府 いで県 今は の合 ま併	をはし し都よ た道う 方府に が県、 い合ま い併ず 同	が道一 い州部 い制を に移府 し譲権 にたす 限分 方の	その 他	わ か ら な い	無 回 答
全体	1094	40.5	17.1	15.8	1.1	23.3	2.2
< 性・年齢・未既婚別 >							
男性	521	36.3	20.0	23.0	1.3	17.7	1.7
20代・未婚	63	41.3	9.5	23.8	1.6	23.8	0.0
20代・既婚	29	44.8	20.7	17.2	0.0	10.3	6.9
30代・未婚	20	45.0	0.0	25.0	5.0	25.0	0.0
30代・既婚	61	41.0	18.0	21.3	3.3	16.4	0.0
40代	102	37.3	18.6	22.5	1.0	19.6	1.0
50代	114	30.7	21.9	28.9	0.9	15.8	1.8
60代以上	132	32.6	23.0	19.7	0.8	15.9	3.0
女性	572	44.4	14.5	9.1	0.9	28.5	2.6
20代・未婚	50	64.0	6.0	10.0	2.0	16.0	2.0
20代・既婚	31	41.9	12.9	6.5	3.2	35.5	0.0
30代・未婚	10	30.0	30.0	10.0	0.0	30.0	0.0
30代・既婚	81	48.1	8.6	6.2	1.2	34.6	1.2
40代	121	47.1	13.2	10.7	0.8	26.4	1.7
50代	119	46.2	16.0	7.6	0.8	28.6	0.8
60代以上	160	34.4	19.4	10.6	0.0	29.4	6.3
< 居住年数別 >							
40年以上	320	36.6	22.8	17.5	0.6	18.8	3.8
20～40年未満	394	42.6	12.9	16.0	1.5	25.4	1.5
5～20年未満	253	40.3	15.0	15.4	1.6	25.7	2.0
5年未満	127	44.1	19.7	11.8	0.0	23.6	0.8
< 佐賀県への愛着度別 >							
愛着を感じる計	851	42.5	16.2	16.2	0.9	22.1	2.0
愛着を感じる	499	43.7	15.4	17.4	1.0	20.4	2.0
まあ愛着を感じる	352	40.9	17.3	14.5	0.9	24.4	2.0
どちらともいえない	143	33.6	16.8	13.3	2.1	32.9	1.4
愛着を感じない計	88	31.8	22.7	18.2	0.0	22.7	4.5
あまり愛着を感じない	69	36.2	24.6	13.0	0.0	23.2	2.9
愛着を感じない	19	15.8	15.8	36.8	0.0	21.1	10.5
< 佐賀県民であることの誇り度別 >							
誇りに思っている計	587	40.9	16.9	16.7	1.0	22.3	2.2
誇りに思っている	308	40.9	17.5	17.9	1.6	20.1	1.9
まあ誇りに思っている	279	40.9	16.1	15.4	0.4	24.7	2.5
どちらともいえない	359	42.6	13.9	14.5	1.1	26.5	1.4
誇りに思っていない計	134	33.6	24.6	15.7	0.7	21.6	3.7
あまり誇りに思わない	99	35.4	24.2	12.1	1.0	23.2	4.0
誇りに思わない	35	28.6	25.7	25.7	0.0	17.1	2.9
< 現地域への居住意向別 >							
住みたいと思う計	873	41.6	17.3	15.0	0.9	23.0	2.2
これからもずっと住みたい	682	42.2	17.4	14.8	1.0	22.6	1.9
将来的には住みたい	191	39.3	16.8	15.7	0.5	24.6	3.1
住みたくない	95	34.7	20.0	20.0	0.0	22.1	3.2
わからない	112	36.6	11.6	19.6	2.7	28.6	0.9

注) 数値は回収数を100とした%

表 意見・要望の具体的意見のまとめ一覧  
 ( 具体的意見は、次ページ以降参照 )

<b>県知事・県職員について</b>	<b>64</b>
新知事に期待しているので頑張してほしい	23
公務員の人員削減・待遇の改善をしてほしい	15
公務員の意識改革を行ってほしい	13
議員の意識改革を行ってほしい	2
その他	11
<b>産業について</b>	<b>33</b>
農業や林業への支援充実してほしい	10
箱ものを作るのではなく、産業全般に力を入れてほしい	9
若者にむけて発信できる街づくり・働き場の確保をしてほしい	7
観光地・観光スポット周辺の施設を充実してほしい	3
企業誘致して活力のある県にしてほしい	2
その他	2
<b>社会資本の整備について</b>	<b>32</b>
道路整備を行ってほしい	8
佐賀空港を有効活用してほしい	6
空港・港湾などの建設費・維持費を削減してほしい	4
歩道の整備をしてほしい	3
下水道整備をしてほしい	3
市内以外にも病院を作してほしい	2
街の中心部に駐車場が少ない・市役所の駐車場を無料にしてほしい	1
その他	5
<b>街づくりについて</b>	<b>28</b>
住みやすい街づくりをしてほしい	9
自然の豊かさを活かした街づくりをしてほしい	4
市内などの中心部以外の街づくりを充実してほしい	4
街灯を増やしてほしい	4
佐賀の特徴を活かしてほしい	3
今のままで十分・満足している	3
その他	1
<b>福祉・保健・医療について</b>	<b>22</b>
少子化対策の議論をしっかりと行ってほしい	13
福祉(親身な相談、心の環境など)に力を入れてほしい	4
病院・医師の質の向上を目指してほしい	3
その他	2
<b>教育・スポーツについて</b>	<b>14</b>
教育・教員のレベルアップをしてほしい	6
スポーツへの支援を充実してほしい	3
その他	5
<b>PRについて</b>	<b>5</b>
<b>流通・経済について</b>	<b>2</b>
<b>その他</b>	<b>42</b>
<b>アンケートについて</b>	<b>39</b>
アンケートの内容が多い・言葉がむずかしい	11
アンケートの結果をもとに将来のビジョンを具体化・実行してほしい	8
アンケートの結果を公開してほしい	4
いい勉強になった/これからも続けてほしい	4
行政のことを知らなさすぎるので、勉強会を開催してほしい	1
その他	8

注) 数値は件数

意見・要望(一部抜粋して掲載しているものもあります)

### <知事・県職員>

#### 新知事に期待しているので頑張ってほしい

県民全員が佐賀に誇りを持てるよう、「人情産地佐賀」となれるよう、古川知事には期待するし、そのためには協力したい  
厳しい社会情勢の中での斬新な古川県知事の行政手腕に、大いに期待をしている

商工共済の件で当時現職でなかった古川知事が報酬をカットする対処は理解できない。県政の最高責任者としての職務からして知事報酬はもっと高くしてもよいのではないか

知事が変わってから県も少しずつよい方向に向かっていようだ

古川県政に大いに期待している。古い体質を打破してどんどん進めてほしい。住みよい佐賀県を目指してほしい。住民の満足度が高くなれば観光客も増えると思う

知事と佐賀市長が若い世代に代わったのでとてもパワーを感じる。今までは不満がとても多く通らなかったことなどどんどん良くなってきているのがうれしい。佐賀市役所の職員の方の態度も非常に親切で良くなった

佐賀はのんびりとしていて、我々50代には住みやすい町だと思うが、若い人たちには刺激が少なく物足りなさを感じるのかもしれない。昨年、若い知事が誕生して大変よかったと思う。古川知事はそれに応え大変よくがんばっていると思う。これからは体気をつけてもらい、佐賀のために頑張ってもらいたいと思うし、応援もしていきたいと思う

佐賀県も古川県知事を迎え入れて何かあらゆるところに活性化の兆しが見受けられるようで本当に期待している

古川知事に期待している

知事が県民に対して、今までになく耳を傾け意見を聞いているので、期待している

古川知事の手腕に大いに期待する

今後の県政に期待する

若い県知事さんの働きで佐賀県がますます発展することを願っている

今後の佐賀県に期待している

古川知事の行動力、親しみやすさ、頭の回転の早さ等素晴らしい知事だと思う。行財政改革を佐賀県なりに断行してもらい、まじめに懸命に働く者が報われる社会を築いてほしいと思う

田舎人で保守的意識が強く改革など前向きなスピリットに欠けている。リーダーが若返りがむしゃらに先導していくことが必要である

新しい古川知事に替わって豊かな佐賀県に変化し発展していくことを楽しみにしている

このところ「県」の情報がかなりオープンになり非常に身近に感じるような気がする。今後の県政に期待している

県民みんなが笑顔でがんばるぞと佐賀県を引っ張っていくような県作りをお願いしたい

しっかりとやってもらいたい

良い佐賀県を目指して共にがんばりたい

県当局の前向きの姿勢が感じられた。県勢発展のため努力してもらいたい

ますます厳しくなる経済、やることはたくさんあると思うが県民が安心して生活できる県政を期待する

#### 公務員の人員削減・待遇の改善をしてほしい

いらぬ公務員の数減らしてほしい。何度も同じ道路を掘って工事をしているところをなくしてほしい

公務員の待遇がよすぎるし、態度が大きすぎる。退職金も多すぎる。民間に合わせるべき。日当いくらかで働いている人もいる。もう少し平等であってほしい

税金、公的資金の不透明が多すぎる。公務員のリストラを早急に行なうべき。公務中に単行本などを読んでいる部署がある。不愉快である

中程度の障害者の生活が苦しいので知事または福祉関係者は真剣に(自宅で仕事をしている中度障害者)のことを考え、県などの仕事を優先的に出せないのか。私たちにわかるように県庁便りなどに返答してほしい。またパソコンの仕事など民間に出せないのか。古川知事に検討してもらいたい。なお県庁内で人を雇っていると税金のムダが多い。民間でできることは民間にさせる

民間に比べ官公庁ではまだまだ危機感が薄いように思われる。もっと人件費を削減し、経費の無駄使いをやめてほしい

また税金が減れば公務員の「リストラ」もあっていいと思う

公務員の天下りをなくしてもらいたい。若者のフリーターが増えているから

公務員の数が多すぎると思われる。民間の会社は経費削減は人員カットである。かなり厳しいのである。ボーナス支給が民間より一番早いというのどうかと思う。私はボーナスカット3年目である!

とにかく予算がないのだから公務員数を減らしてもらいたい。そのお金を回す。それが一番の早道

厳しい状況の民間企業のサラリーマンに比べ、公務員等は給料や賞与が優遇されすぎである

思い切った行政改革を行い人件費の削減を具体的に明示してほしい。民間会社員の収入減が問題視されている中、公務員のモラルが問われている。本気で対応してほしい

厳しい財政状況と言われているが、県職員からことの重大さを知るべきである。まずは県庁のスリム化を図り無駄な支出を抑え、県民に努力を見せるべきである。次の世代に借金を払わせるのは絶対に反対

公務員を減らしてほしい

議員(公務員)の退職金を減らしてほしい

一般市民から税金を取ることばかり考えないで、まずは公務員、市議、県議の数を減らす、給料・賞与(特に期末手当)を減らしてほしいと思う

#### 公務員の意識改革(サービス業である、経済感覚足りないなど)を行ってほしい

職員の方の態度が悪すぎる。行政職員も、もっと民間に見習ってもらいたい

福岡(佐賀も)の議員や警察のように信用できない人たちが力を持つと大変である。裁判所までそうになったらどうなるか…。信用できる人たちの意見が通る世の中がいい



## <産業>

### 農業や林業への支援充実してほしい

もっと農業に力をいれてほしいのと、法人化した農業の支援を充実させてほしいと思う

農業は今、高齢者が支えている。今後農業を継いでも不安が多く、田畑を持っていても作りたくない。何かよい対策はないか

佐賀県は農林業主体の県であるので農林業のリサイクルについてもっと研究開発すべきと考える。例えば今後林業等に力を注ぐ場合、間伐材が出てくる。この利用を家屋の一部やチップ材として公園、歩道や一般歩道の材料に使用することも考えられる。県全体が多少予算を使ってもリサイクルについて徹底して考えるべきであると思う

県民の方々が満足できるような行政を切に願います。特に農業は国際化で厳しい状況だ

私は農業経営をしているが現在農業を取り巻く状況は大変厳しい。農業に対する政策の改革を進めてほしい

農林水産業の予算を多くしてほしい

現在、公的なお金の流用などの話題が次々に出てきている。真面目に職務に当たっている方が大半と信じているが、今まで以上にその使用については気を配ってほしいと思う。また、佐賀県は無理して都会にならなくてよいと思う。他と肩を並べるより他がなくした田舎臭さがよいような気がする。他県から移住したくなる明るい農村がいいのではと最近思う

私の町は他に比べたら安全面(災害)では満足しているが、佐賀県の農業が企業や住宅などで水田や畑地がなくなってきて、頼りなくなっているのが残念。後継者がなく荒果てた土地が多くなり、平野部では工場、山間では家で水田がなくなってきている。農業県佐賀を確立し、自給率がトップというような佐賀県であってほしい

農林水産業に若者が魅力を感じられるような農政と、住民が安心して住める県政を希望する。それとイノシシやサルによる農作物の被害が山間部でひどく大変困っている。早期に駆除をお願いする

農業生産者に補助を多く規制緩和

### 若者にむけて発信できる街づくり・働き場の確保(県外流出防止)

県勢発展のための課題が多すぎて、どこに力点を置くのか大変だろう。若者が生き残っていける働き場を確保してほしい

もっと佐賀市内を活性化させて、若者が外から入ってくるくらい魅力ある街にしてほしいと思う

県内の雇用が悪い状況にあることが一番心配である。大学生の娘が二人いるができれば手元においておきたい。だから県内でぜひ就職してほしい。何とか雇用状況を、ひいては景気を良くしてほしい

無駄な税金は使ってほしくない。もう道路、建物はいらぬ。雇用促進に力を入れて若者に希望を持ってもらいたい

若い人が働ける企業が増えることを希望する

佐賀県を好きな人はたくさんいると思う。就職口が少なく県外へ出てしまう友達が多くなったように感じる。就職ができるような県、他県より佐賀へと思われる県作りに期待する

やはり「人、物、金」が重要であると思われるので、全国でも人口が少ない県なので「人口流出ストップ」「人口流入推進」策等を具体的に強力に推進してもらいたい。また「保守県」「閉鎖的県」のイメージがあり実際にその傾向が強いことからそれらを打ち消す施策を行ってもらいたい

### 企業誘致して活力のある県にしてほしい

財政の厳しい中ではあるがスポーツ、文化、教育など佐賀県の特徴を生かした企業誘致をし活力ある県にしてほしい

唐津、相知地域に企業誘致させ若者に職場を

### 箱ものを作るのでなく、産業全般に力を入れてほしい・活性化

もっと高齢者が働けるところをつくってほしい

宇宙科学館や佐賀城博物館など箱ものばかりにお金をかけず、もっと産業に力を入れてほしい

もっと中高年が働けるようになったらいいと思う。母が50代後半で元気だが、仕事がなく探している

また全体の活性化をぜひ願います

先行き希望が持てずにいる現在、不安が多い日々である。個人経営を考えるとやりにくい時代に思う

もっといい県にしてほしい。町がさびれていると思うので、活性化が必要

一方停滞している経済を活性化できるような問題をどんどん提起し改善していけるような仕組み作りも必要

とにかく元気のある佐賀県にしてほしい

佐賀県は教育県だと聞いた。今までにも素晴らしい人材が生まれてきているが、それが県に繁栄されていると思わない。それは佐賀県にそれだけの受け皿がないからだと思う。今のままではもったいないと思う。魅力ある県にしてほしい

### 観光地・観光スポット周辺の施設を充実してほしい

私は佐賀県民であることに大変誇りを持っている。今後全国で有名な県にしてほしい。そのためにはスポーツや観光、特産品や生活面において何かまず全国一になることだと思う。特に観光スポットでは唐津・東松浦地区が特に優れているため、至急活かして実践してほしい

佐賀県の不足している財源を豊かにするのは吉野ヶ里等の観光スポット利用(地域住民参加型)だけである。まず宿泊施設と食事処、そしてお土産屋さんの充実が最優先であるはず。何もできていないのはやる気がないから。「はなわ」ががんばっている今のうちに根性据えて本気で取り掛からないと「老人の国」になってしまう。もちろん地域住民完全参加型は言うまでもない。中身の悪い箱(施設工事等)は考えず知恵を使ってほしい。おもしろくやろうと思えば何だってある

昨年から佐賀県も全国的によく知られるようになったと思う。今後も観光等に力を入れてほしいと思う

### その他

景気低迷が長く続いているので何とかテコ入れをしてほしい。都会との差が開いているように思われる

ゴミ建設は大反対

<p><b>&lt;社会資本の整備&gt;</b></p> <p><b>道路整備を行ってほしい(狭い、悪路、国道34号線など)</b>  有明佐賀空港を利用してもらうために福岡県南西部地区、久留米市より大牟田市まで約60万人、道路整備をお願いした道をきれいにしてほしい  佐賀線跡地の道路が予定より25年間も遅くなって、南佐賀より佐賀駅までの道程を信号なしの二車線道路が早く出来上がったなら車の流れもよく、町もきれいになって明るく楽しく生活ができると思う。早く道路を整備してほしい  道路もきちんと整備してほしい  唐津に住んでいるが佐賀に行くのに不便なのでもっと早く道をつくってほしい  他の県に比べて道路が狭く、悪路(工事のしすぎ)が多い気がする。肩側2車線化希望(34号線他)  生活道路の幅が狭いと思う。クレークにふたをするなどの対策が取れないだろうか。国道34号線の渋滞の解消、上下4車線化にするなどできないだろうか  幹線道路の歩道整備をしてほしい。県道武雄白石線等</p>
<p><b>歩道の整備をしてほしい</b>  国道で町中を走っている道路で歩道のないところがある。車が交差するのも大変で自転車通学の子どもの危険なので、早くバイパス等つくるなどして対策を考えてほしい  歩道が急に高くなったり低くなったり、でこぼこしていたりしているところがあるので、自転車などハンドルを取られたり歩いても夜間などつまずいたりで非常に危険なので、平らになるように改善してほしい。昼間だったが私の友人が倒れてメガネを割りケガをした  また、至急名護屋橋の歩道を作してほしい。以前、はねられそうになった方を見た</p>
<p><b>佐賀空港を有効活用してほしい</b>  佐賀空港をもっと有効に活用すべき。空港の近くに民家が少なく騒音などの苦情も少ないと思われるので、自衛隊の基地を誘致すれば税収増にもつながるのではないと思う  佐賀空港活用策として パイロット訓練施設の誘致(沖縄の例) 空き地を利用したゴルフ場(台北国際空港は中心が空き地のため) 発展途上国では空き地で放牧しているところもある。奇策として沖縄普天間基地の代替空港にしてはどうか  佐賀空港はいらないと思う  空港に対してはいろいろ考え存続の方向で進めてほしいと思う  佐賀空港発着の旅行商品があれば利用したい。宣伝をしてもらいたい  空港にしても、本来必要なかったのでは、という感じだが、作ってしまったのだから佐賀県民である以上利用していく必要はあると思うし、利便性向上のため、発展しなくてはならないと思う</p>
<p><b>街の中心部に駐車場が少ない・市役所などの駐車場を無料にしてほしい</b>  佐賀県は他の県に比べて個人の行動が車で成り立っている。その割に街の中心部に駐車場がなく、休日などに街に行こうとする気持ちが起きない。市役所や県庁は駐車場を無料開放すべきではないか</p>
<p><b>空港・港湾などの建設費・維持費を削減してほしい</b>  空港がないからと建設されたが本当に活性化されたのだろうか?それよりも病院や教育に税金を使ってほしい  空港、新幹線、港湾等の建設費や維持費は極力削減してもらいたい  厳しい財政状況で、県でも財政不足の見込みの中、公共事業計画・着工されている中で見直しあるいは中止すべきではないか。また、事業中の工事の計画変更(工期延長)しないようにすべき。負担増になる。例えば城原ダム等速やかに中止すべきではないか  佐賀空港には税金、各税補助金を投入しないでほしい。まだまだ先に整備することがいっぱいある。空港をつくったからいろいろしなければならぬということはないでほしい。ムダはしないでほしい</p>
<p><b>市内以外にも病院をつくってほしい(救急センター、小児科など)</b>  県立病院がなぜ佐賀市内なのか疑問。佐賀大学病院もあるのに。県内の人につくるのならば交通の便を考えてほしい  呼子に救急センターを作ってほしい。または小児科の病院を作ってほしい。市内まで行かなければならぬので不便である。大いに医療に関して不満である</p>
<p><b>下水道整備をしてほしい</b>  転勤で全く初めて佐賀県へきて3年、物価は安いし食べ物おいしいが他県と比べると? ?と思われることが多々ある。いまだに下水が整備されていないなどびっくりしている。道路工事の多さや速度の遅さ、民間の会社の少なさなど財源のある市町村と財源のない市町村で雇用、環境整備すべてにおいて差がありすぎると思う(高齢者福祉も同様)。特に下水道設備の必要性は高いと思う  下水道の整備が全国でも低いので早期整備を望む</p>
<p><b>その他</b>  今、佐賀県で問題になっているプルサーマル方式の原発は、石油依存と省資源の日本にとっては推進すべきで、再処理による核燃料のリサイクルは地球温暖化防止にもなる。その反面、安全上の品質管理は重要  毎日の通勤で乗用車の規制はできないのか。環境(二酸化炭素を)減少できる。通勤の距離で4km以上とする  長崎新幹線を作るのはどうかと思う。高速道路もきちんとできていし先は長崎までである。空港もあるので誰がそんなに乗るのか?  佐賀駅のエスカレーターを利用する人はほとんどいない。障害者や老人はエレベーターがあればほんとに助かる  安全性がない、強化するべき</p>



<p><b>&lt;福祉・保健・医療&gt;</b></p> <p><b>福祉（親身な相談、心の環境など）に力を入れてほしい</b></p> <p>また、無理に佐賀空港を推進せず、福祉や教育に重点を置いてほしい。ぜひ住みやすい県にしてもらいたい</p> <p>福祉の方はもっと親身に相談に乗ってほしい。2～3年前は福祉も良い方ばかりで現在相談事があるので何うと何だか上の空のようである</p> <p>介護保険など、本当に必要な方に利用してもらいたい。将来、この介護保険が継続されているのか、私たちが介護が必要な時にあるのだろうか。できちゃった婚が多く、そのために離婚も多い。児童虐待も多くなっているのではないだろうか。母子手当なども将来あるのだろうか</p> <p>生活の貧しいところから財源をカットしないでほしい</p>
<p><b>少子化対策の議論しっかり行ってほしい</b></p> <p><b>（子育て支援、学童保育の見直し、保育料安く、子どもの医療費安く、中学の給食実現など）</b></p> <p>保育園から高校まで学費無料にしたら子供が増えるのではないか</p> <p>少子化傾向にあることは理解できるがその解決策としては何ら提言されておらず、その解消方法について大いに議論する場を設けてもらいたい。県が率先してその対策について提案し実現の方向で進めていけばよいと考える</p> <p>子どもの医療費の負担を軽くしてほしい(3才までなので小学校低学年くらいまでにする)</p> <p>とにかくもっと保育園を増やしてほしい。空きが少なくて困っている人はすごく多いと思う</p> <p>社会の基本は家庭であると思っている。家庭の中で最も大事なものは子育てだと確信している。女性が安心して子育てできる環境を充実させ、実現することができれば、きっと明るい未来が開けてくる気がする</p> <p>少子化対策は就学前は整っていても入学してからが働けない。学童保育はあっても時間は短いし休みも多い。しかも4年からはない。仕事をやめるしかないのでは何とかしてほしい(保育園並みの時間、盆・正月以外は見てくれる、6年まで受け入れなど)</p> <p>今年から二人の子どもを保育園に入れるが、保育料が高い。その辺の補助の推進を考えてもらいたい</p> <p>今の経済他の問題も原因に少子化があるのに何か対策を考えているのか？若者が安定のある職に就かなければ結婚もしないし子どもも少なくなる。また、子どもがほしくてもできない人が多いという現状は農業や水など環境の悪化、食に関わる会社のモラルの低下が結果的に少子化を進め自分たちの将来も脅かすと思う。都会的な発展は望んでいない。自然のサイクルを大切にできる県にならないものか。小学校と中学校の入学式の日が同じなので困る。別の日が午前、午後で分けてしてもらいたい</p> <p>少子高齢化が進む中、高齢者はもちろんだが、子どもを守り育てていくこと(保育、教育、福祉)がより重要と思う。「保育所の待機0」といっても全く減らない。母親の育休中は保育所を退所になるというのはおかしいと思う。教育もゆとりばかりが叫ばれ、学力低下が心配されている。中学校の給食ももう20年近く実現できない。パンだけの子がちゃんと成長できるのだろうか。次の世代を担う子どもたちがこんな風では将来の日本が心配になる。環境を整えればみんながもう一人ずつ子どもを生むと思う。福祉が充実した都市には子どもが集まり活気が出る</p> <p>子どもの通学の安全に着いてもっと考えてほしい。集団下校など口だけの指導ではダメだと思う。子どもが多い家庭に対する支援をしてほしい</p> <p>あまり考えたことのない事柄が多く、あまり参考にならないかもしれない。4歳、0歳児の父親として将来が不安になることが多々ある。これから、この子供たちが安全に生活できるようにお願いしたい</p> <p>保育所などで言われている第三者評価は本当にされているのだろうか。また、働く必要で預けているのに園の都合(卒園式、入園式)で早めの降園、休みでいいのだろうか。子育て支援とは矛盾している</p> <p>医療費の負担が多すぎるのでもう少し考えてほしい</p>
<p><b>病院・医師の質の向上を目指してほしい</b></p> <p>唐津・東松浦地区での小児医療の充実は以前に比べればよい方だとは思いますが、17歳～20歳までの間の受け入れ施設を充実させてほしい</p> <p>県病院の医師に失望した。もっとしっかりしてほしい</p> <p>他県で出産し子どもの心臓が悪いことがわかった。佐賀県でいろんな病院をまわったが「大丈夫です」と検査をしてくれなかった。結局長崎の病院まで通院している。もっと病院の質を上げるべきだと思う。きちんと検査してくれる病院をつくってほしい</p>
<p><b>その他</b></p> <p>子どもの心が荒れないよう複雑な気持ちを理解したり、理解できないまでも支えることができるといい。出会い、体験を通して成長できるよう、子どもの可能性を信じて伸ばせるよう、その時々を満足して安心して過ごせるようになればいい</p> <p>佐賀はまだ田舎なのでなかなか若い人が居つかないと思う。おしゃれじゃないとかそういうのではなく、古い習慣(町や村の役や集まりなど)に核家族ではついていけないものがある。仕事をして子育ても真っ最中の私たちには幼稚園や学校の行事、役等だけで手いっぱいである。もう少し町や村の自治体はその辺を考えてほしい。ムダなスポーツ祭りも迷惑なだけなのに毎年あるし...</p>

<b>&lt;教育・スポーツ&gt;</b>
<b>スポーツへの支援を充実してほしい(サッカーのサポート、中高年向け施設)</b>
サガン鳥栖のサポートを鳥栖市にばかり任せず、県でも応援すべきである
高齢者対策は各町村で福祉センターなどを作り盛んだが市内に少ない。中高年のスポーツ施設があればよい
スケートリンクが廃止されたのは実に残念。子どもに夢を与える施設は雪の少ない佐賀県には特に必要だったのに。立派な本丸を作るより、身近なところに目を向けてほしい。前の美しい議事堂にせよ、協和会館にせよ、もうこれ以上古くても建物を壊さないでほしい
<b>教育・教員のレベルアップをしてほしい(教師の選び方、障害児に対する理解深厚)</b>
県としては色々な事業で大変だと思うが、仕事柄、完全学校週5日制はよくないと思う。休みが多すぎても勉強・部活をする訳でもなく、家族との交流を図る訳でもなく、どこで何をしているのかわからないのが現状だ。その上、教員へのバッシングは強くなり、少ない給料で休みなしに働いている。もっと地域ぐるみで教育の向上、人とのつながりを持ってほしい
将来の日本を担う子どもたちの教育に、大いにお金を使ってほしい。学習塾などに行かなくていいようになればいいと思う
古川知事の仕事ぶりには敬意を表したいが、教育委員会の施策(特に高校再編)に関してはタッチさせてもらえず、古川県政とは別世界状態にある
県立高校に通うのはバス代が高く負担が多いことが悩み。月2万5千円から3万円。行きたい高校に行けず、近くの高校に行ってもらっても…。どうにかならないのだろうか。現在、そのために送り迎えする父兄が多いと思う
教育について学校のあり方をもっと考えてほしい
自分の身近なことだけが目について県全体のような広い範囲で考える知識がなかったことを反省し、もっと勉強したいと思った。教育の場のことはもっと先生自身が常識をわきまえて心の広い人物を選んでほしいと思う。頼りになる人が少ない
<b>その他</b>
「遊」にはまだ欠けていることから県が民間にバックアップ策をとってもらいたい
遊園地があつたらいい
佐賀県に遊楽地が少なすぎる
子どもの教育はもっと家庭から行うことが必要である
物事全てをもっと大切にするように親も子どもにも教育が必要だと思う
<b>&lt;PR&gt;</b>
<b>全国にむけてのアピールを積極的にしてほしい</b>
今よりさらに佐賀県のアピールを全国に推進して行ってほしい。
佐賀県のPRの仕方が悪い。もっともっと多くの人に佐賀県のよさを知ってもらうためにもおしゃれなPRの仕方を検討してほしい
佐賀県をどんどんPRしてハナワさんのような人をもっと多くしてはどうか
<b>県民に対して広報誌を出してほしい</b>
公共事業の道路整備についてだが、どうしても年度末に工事が集中する。その理由などがあれば何らかの形で県民に知らせしてほしい
情報不足や勉強不足等もあり答えが出しにくい面があった。特に農水産面とか佐賀県全体のことになると難しいと思った。佐賀県全体の情報誌のようなものがほしい
<b>&lt;流通・経済&gt;</b>
<b>佐賀駅周辺(駅前商店街含め)の活性化をしてほしい</b>
佐賀県に引越しをしてみようと思ったのが、佐賀駅周辺の寂しさである。九州他県と比べても、県庁所在地とは思えないくらいである。もっと発展することを考え、駅前中央の商店街のあり方を見直す必要があると思う。日曜の昼に人がいないなんてありえない
<b>商工会館を活性化してほしい</b>
商工会館には佐賀の名産品がたくさん並んでいるのに、駐車場もなく知られていない。イベントをやっている人も人はまばら。たくさんの人に来てほしいという気持ちは全く感じられない。宝の持ち腐れだと思う。観光バスも立ち寄りたくなるような、もっとオープンで親しみやすい建物にすべき

<b>&lt;その他&gt;</b>
<b>税金を増やさないでほしい・税金の無駄遣いをしないでほしい</b>
税金の無駄使いをやめてほしい
税金を増やさないでほしい
無駄な税金は使用しないでほしい。税金を上げると生活が苦しくなるので上げないでほしい
政治家はもっとがんばってもらいたい。税金の使い方をよく考えてほしい。国民の税負担を減らしてほしい
増税されることによって我々の生活、暮らしが良くなるのであれば協力していきたいが現状ではそれが見えてこない中、税金ばかり増やされても納得いれない。経費削減できないかと見直した行政を大いに期待している
税金のムダ使いをしないでほしい
これからも県民や市町村民のために全力投球してもらいたい。大切な皆の税金を上手に使ってもらおうようお願いしたい
公僕の税金の不正はやめてほしい。不正があった時は責任の所在をはっきりして責任をきっちりとしてほしい。私も佐賀商工共済の被害者である
今の時期の工事がとても迷惑。毎年、この時期に無駄なお金の使いすぎだと思う
<b>市町村レベルでの犯罪発生状況を公開してほしい（住民の警戒意識のアップ）</b>
治安・安全の立場から、各市町村レベルでの犯罪発生状況を県のホームページで公開してほしい。車上荒らしや空き巣など、毎月の統計がわかれば住民の警戒意識が高まると思う。鳥栖の小学生連れ去り事件にしても、初回発生時に広報が充実していれば2度目の事件の発生は防止できたかもしれない
<b>県や市町村の関係を密にしてほしい（市町村合併の協議推進）</b>
市町村合併を早くすること
合併問題は一人一人考え方が違うので家庭や会社でアンケートをとったらどうか？面倒だが子どもたちの将来のことでもあるし、中学1年生でもある程度大人の考えをする子もいるし。もう白石町は決まっているからそのままでもいいけれど、佐賀周辺や伊万里、有田地区は棚上げになっているみたいなので、伊万里、有田地区は特に世界に名が知られているのでどういいう知名になるのか興味はある。まだ時間があるようだったら佐賀の将来のことだからお金はかかるけれどどの町とどの町が合併したらいいか、どういう町名にしたらいいか
社会福祉、教育問題など県が抱えている難題がたくさんあると思うが、地域の方とのより良い交流を図りより一層の県の向上に努めてもらいたいと思う
<b>県同士の合併も考えてほしい</b>
県単位の合併もあっていいと思う
合併について県同士(例えば長崎との合併など)でも考えてほしい
<b>県民のことを考えてほしい</b>
県民みんなが幸せに暮らせるよう、佐賀県を全国的にも良い県と知られるようがんばってもらいたい
もっと県民一人ひとりが足元をしっかりと見つけ、幅広く協力をしあって生活の豊かさを育てていけるようにしていきたい
県全体の中ではなく端々を見てほしい
もっと県民のことを考えて政治を行ってほしい
<b>その他</b>
もらえるか、もらえないかわからない国民年金を払うのには抵抗がある。今の老人に与えている年金の額は多すぎるのではないか
年金制度の充実が日本国民に50～100年後には国民一人一人に一定の配分金が良いと思う。年金制度は私たちにとって内容が難しすぎる
最近パート仲間と年金についてよく話し合う。私たちはもうもらわないまま死んでいくのかなと思う。以前は専業主婦も国民年金に入っていた。もう一度それを考え直さなくてはいけない時代になってきたのではないかと
ボランティアというものは押し付けるものではないけれど、貧乏をしているところからも寄付金を取られる。こういう佐賀県では住みたくなくなる。
役所の中が冬は暑く夏は寒いのも何とかならないか
今後必要なもの(福祉施設、多自然型の公園、渋滞のない道路、企業誘致、雇用改善)と、不必要なものの分別をはっきりさせ、魅力ある佐賀県になっていくことを期待している
製造業の仕事を中国などでしてそれを日本に持ってきても仕事がないのに買えるわけがない
暴走族の取り締まりの強化
各種祭礼の奉納金が多すぎる。あまりにも種類が多すぎる
全体の考えがほしい
車社会になり、商店等が町からなくなり私たち車の運転のできない者にとっては住みにくいところになった。何事にも選ぶということができない生活を送っている。生活レベルは下の方である(もう諦めているが)
中原町設置のゴミ焼却炉が当初のアナウンス(計画)と異なり一方的である。ゴミ焼却炉の人事採用アナウンスがない。不正な取引があるように思うので調べてほしい
貧富の差がだんだんと大きくなっていくように思う。末端の人たちが多くなってきている
寂しいニュースが一杯な世の中になって、すごく不安を感じている。楽しい世の中になればいいと思う。一杯幸せが来ると皆幸せに暮らせる

<p>現在は会社の転勤等で結構いろいろな県で短期間生活する人が増えているが、満足しない人はどこへ行っても満足しないようである。特別何か災害が起こるわけでもなく佐賀県はいいところだといつも思っている。全国にPRしなくてもずっと住んでいる人が佐賀県はいいところだと思うのが一番である。隣近所の人と仲良く暮らせるのが一番幸せである</p> <p>最近テレビによく佐賀県という名が全国に出るようになったと思う。悪いほうではなく良いほうがたくさん出るように期待したいと思う</p> <p>低収入の人の賃金、利息を少しでもかしてほしい</p> <p>佐賀県だけでまともうとしても未来は困難と思う。資源を有効に生かし、融通しあって生きる道を選んだ方がよいと思う。それぞれ藩の文化はあるが、垣根を取り払うことが大事</p> <p>私は70才の老人だが県で生まれ育ちこれまできた。幸いにも恵まれ満足しているが、道路が良くなれば事故が多くなり世の中すべて良いことばかりはなく、良いことの裏には悪いことが必ずあるように思う。世の中を見ているとそうではないだろうか？より良い県になるように努力してもらいたい。消費税も私たち下々の者が一番多く払っているように思う</p> <p>時間的にも労力的にも経済的にもデメリットな生活習慣が(共同作業)30年住みついた今でもなお残る有り様である。他人の生活に入り込みたがる(世話好き)地域民性などがいまだに気に障る。こんな習慣が他県からの販売目的となるように前向き志向に変革できないものか</p> <p>社会資本の整備などに関わっていないのでよくわからない</p> <p>家の仕事が漁業のため、最近のり不作のため暮らしも満足していない</p> <p>県の末端の方では不如意な出来事も起っているが、泣き寝入りなども仕方がないと思っている</p>
<p><b>&lt;アンケートに関して&gt;</b></p> <p><b>アンケートの内容が多い、言葉がむずかしい</b></p> <p>日常的にデスクワークをしている職業の者ならば何とか我慢して記入できるが、そういうことに慣れていないものにとっては非常に辛いものがある</p> <p>もう少し誰にでもわかるような言葉を使ってほしい。わかりにくい言葉が何度かあった</p> <p>自由記述が多いのではないかと。決められた範囲の問題と回答では答えようのない事項があった(必然的に答えるのがそれしかないような)</p> <p>家庭にばかりいる私には理解しづらく難しかった</p> <p>疲れた</p> <p>考えすぎて、答えるのに迷った</p> <p>質問が漠然としていて想像しにくかった。県がどのような対応をされているか知る機会がないため、よくわからなかった</p> <p>内容が少し難しかった</p> <p>質問に対し、「この中から」にない項目がややあった。本当はこう思うのにと風にならな</p> <p>もっと具体的な内容があってもいいと思う。考え方に個人差があるので数回実施して内容をもっと深くして欲しい。佐賀県のためであれば意見はどんどん出す</p> <p>を2つくらいつけたい項目が沢山あった。1つだけ を選ぶのは難しい</p>
<p><b>アンケートの結果を公開してほしい</b></p> <p>調査結果を公開してほしい</p> <p>アンケート結果は広報誌で公表してほしい</p> <p>アンケートに書いたことに対しての結果はきちんと出るのか。いつも一方通行の行政なのでそれに対しての意見の回答などあるわけない</p> <p>知識のない頭で一生懸命考えて記入した。他に記入した方がどのような考えを持たれているのか興味があるので集計結果が知りたい</p>
<p><b>行政のことを知らなさすぎるので、勉強会を開催してほしい</b></p> <p>勉強不足で質問内容が難しく、参考になるかどうかかわからないがよろしく願います。また、こういった内容の勉強会を開いてもらえたら真剣に考えるきっかけになると思う</p>
<p><b>アンケートの結果をもとに、将来へのビジョンを具体化・実行してほしい</b></p> <p>調査結果が有効に活用されることを心から願う</p> <p>これから佐賀県の「選択と集中」の施策の実施が楽しみである</p> <p>調査するのはかまわないが、県民へのフィードバックが不十分なのではないか。そして、将来へのビジョンを具体化してほしい。議員、官僚は誰のために存在するのか</p> <p>ぜひ内容に目を通してもらいたい。そしてできれば実行にうつしてもらいたい</p> <p>調査の統計と県の対処はどのようにするのかは、いつどのように表明されるのか？</p> <p>県税の使い方、県政のあり方など、今回みたいなアンケートなどでもっと県民の意見を聞くべきだと思う。もっと県民一人ひとりのためになる県政、税金の利用をしてもらいたい</p> <p>以前にもこのような調査をしたように思うが、近くの河川の整備等は何の変化もないように思われる。街路灯はついたが、電球が切れてついていない時が多いのでは何の意味もないと思う</p> <p>佐賀県民満足度調査はこれから先も必要だと思うので、県民の意向を調査して県政に活用してもらいたい</p>

**アンケートを続けてほしい**

アンケート企画は非常によいこと。今後も行なってほしい

これからもいろんな内容のアンケートがほしい

**アンケートをすることでいい勉強になった**

今回、このアンケートを書いている中で自分の視野の狭さにつくづくがっかりした。いい勉強をさせてもらった

自分の住んでいる県のことを知らなすぎると思った。自分自身で行政に関心を持ち勉強をしなければと思った

**その他**

満足度調査内容について、不満足である

何のためのアンケートなのかわからない。このアンケートなど必要ならば、色々なイベントがある時などに協力してもらったら、より沢山のアンケートが取れるのではないだろうか。また、その時には今の佐賀の現状などパネルか何かで説明してもらいたい

資料のようなものがあると考えやすい。通常意識していないことを考えるのは難しい。佐賀県と住んでいる佐賀市のやっていることの区分が難しい。県で1200人というのは少なすぎる

県民の意識調査をすることはとても重要なことで、今後もぜひ続けてもらいたいが、内容に関してはもう少し検討してほしいし、この結果に関する好評はどのような形でなされるのかも教えてほしい

普段、あまり考えないような内容が多かったので、それだけ自分の暮らしや佐賀県に対しての意識が低いのだなと思った。わたしのような若い人はもっと一杯いると思う

1200人の人にアンケート調査と書いてあったが、調査は大変だろうがもっと多くの人にこのアンケートをしてみたらよいと思う

県民の立場に立った満足度調査になっていない項目が多い

こんな調査をして佐賀県が変わるのか

**\*添付資料・ 調査票（本調査）**

---

## 佐賀県県民満足度調査

2004年3月

このたびは「佐賀県県民満足度調査」にご協力いただき、ありがとうございます。  
ご記入につきましては、下記の【ご記入上のお願い】をご一読のうえ、お答え  
いただきますよう、お願いいたします。

## ご記入上のお願い

## 【調査票の取り扱い】

アンケートは無記名で、調査結果はすべてコンピュータを使って統計的に処理いたしますので、個別の回答内容が公表されることはありません。  
また、他の目的に利用することも一切ございません。

## 【ご記入にあたってのお願い】

アンケートをお願いしました、あなたご自身のご意見をお聞かせください。

ご回答は、質問の順にご記入ください。

回答項目を用意してあるものは、あてはまる番号を 印で囲んでください。  
印の数は、質問文中の指示(ひとつ、いくつでも)の通りにおつけください。  
( )内や「その他」の( )内には具体的なご意見をお書きください。

ご記入に際しては「黒の鉛筆」か「黒のボールペン」でお願いします。

## 【調査票のご返送について】

ご記入いただいた調査票は、お渡ししました返信用封筒(切手は不要)に入れ、

**3月31日(水)**までにお送りください。

このアンケートについて不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

\*\*\*\*\*

## 調査の主旨や内容についてのお問い合わせ

佐賀県庁企画部企画調整課  
電話 0952-25-7360

担当:横尾

## 記入方法や回収についてのお問い合わせ

「佐賀県県民満足度調査」アンケート事務局  
(㈱電通九州内電通リサーチ)

電話 0120-205-197 / 092-713-2672

月曜～金曜 10:00～17:00(12:00～13:00を除く)

住所 福岡市中央区赤坂1-16-10電通福岡ビル内

担当:信國・富山・長谷川

～最初に、あなたご自身のことについてお聞きします。

問1 あなたの性別をお知らせください。( はひとつだけ)

1 男性

2 女性

問1-2 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。( はひとつだけ)

1 20～24歳

7 50～54歳

2 25～29歳

8 55～59歳

3 30～34歳

9 60～64歳

4 35～39歳

10 65歳以上

5 40～44歳

6 45～49歳

問1-3 あなたはご結婚されていますか。( はひとつだけ)

1 未婚

2 既婚(配偶者あり)

3 既婚(現在、配偶者と離別又は死別)

問1-4 あなたのお住まいは、次のどこにあてはまりますか。( はひとつだけ)

1 佐賀市・多久市・佐賀郡・小城郡

2 唐津市・伊万里市・東松浦郡・西松浦郡

3 鳥栖市・三養基郡・神埼郡

4 武雄市・鹿島市・杵島郡・藤津郡

問1-5 現在お住まいの市町村での居住年数はどれくらいですか。( はひとつだけ)

1 1年未満

5 20～30年未満

2 1～5年未満

6 30～40年未満

3 5～10年未満

7 40～50年未満

4 10～20年未満

8 50年以上

問1-6 あなたの世帯は、次のどれにあてはまりますか。( はひとつだけ)

1 単身世帯

4 3世代世帯(祖父母・親・子ども)

2 夫婦のみの世帯

5 その他(具体的に )

3 2世代世帯(親と子ども)

問1-7 同居しているご家族に次のような方々はいらっしゃいますか。あなたご自身を含め、あてはまる方々をすべてお知らせください。( はいくつでも)

1 1歳未満

6 短大・大学生(大学院含む)・専門学校生

2 1歳～小学校入学前

7 未婚の社会人

3 小学生

8 65歳以上の方

4 中学生

9 この中にはいない

5 高校生

問1-8 あなたの職業は、次のどれにあてはまりますか。あなたの主な収入源になっている職業をお選びください。( はひとつだけ)

1 農林漁業	問1-9へ	11 学生	問1-10へ
2 建築・土木業		12 専業主婦・主夫	
3 製造業		13 無職	
4 電気・ガス・水道業		14 その他	
5 運輸・通信業		(具体的に )	
6 卸売・小売業・飲食業			
7 金融・保険業			
8 サービス業			
9 公務(官公庁など)			
10 アルバイト・パート			

問1-9 <問1-8で「1」～「10」に がついた方のみお答えください>  
次の中からあなたにあてはまるものをひとつだけお選びください。( はひとつだけ)

1 自営業	5 事務職
2 家族従事者	6 作業職
3 役員・管理職	7 その他(具体的に )
4 専門職・技術職	

問1-10 現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。( はひとつだけ)

1 持ち家・一戸建て	5 社宅・一戸建て
2 持ち家・集合住宅	6 社宅・集合住宅
3 賃貸住宅・一戸建て	7 下宿・寮
4 賃貸住宅・集合住宅	8 その他(具体的に )

裏のページへお進みください

## ご回答にあたって

～佐賀県では、「オープン」、「現場」、「県民協働」のもと、県民の皆さまの満足度を向上させるため、さまざまな施策を実施しています。

国では、厳しい経済情勢の中、予算約80兆円に対し、税収は約40兆円と、予算の半分は借金という状況です。

また、県でも、平成16年度は、145億円（試算）の財源不足の見込みとなっており、平成20年度まで毎年度126億円～224億円（試算）の財源不足が見込まれ、厳しい財政状況となる見通しであることから、徹底した行財政改革が求められています。

「あれもこれも」の時代が終わり、今後は、「あれかこれか」といった「選択と集中」により、施策を実施していくことが求められると考えています。

そういう状況の中で、**県民の皆さまの各生活分野において、県民の皆さまがどういった考え方を持ち合わせておられるのかをお伺いします。**

～ではこれから、皆さまのご意見をお伺いします。

あなたのお気持ちに合うものをそれぞれお選びください。

### (福祉・保健・医療の施策の充実)

問2 現在、少子高齢化社会になり、ますます福祉・保健・医療の充実が求められています。充実してほしいと思う福祉・保健・医療の分野を、次の中から2つまでお選びください。  
( は2つまで)

- 1 年金制度の充実
- 2 医療保険制度の維持
- 3 高齢者福祉の充実
- 4 障害者福祉の充実
- 5 子育て支援の充実
- 6 医療体制の充実
- 7 その他( )
- 8 とくにない
- 9 わからない

問2-2 厳しい財政状況の中で、徹底した行財政改革が求められています。この状況の中で今後、福祉を充実していくためにはどうすべきか、あなたの考えに近いものをひとつだけお選びください。( はひとつだけ)

- 1 予算内で、優先順位をつけたり、民間の力を借りることなどにより効率的に実施すべき
- 2 他の分野の予算を減らし、福祉分野の予算を増やす対応をすべき
- 3 現在の予算で足りなければ、新たな財源として福祉目的税を創設して財源の確保をし、福祉の充実を図る
- 4 その他( )
- 5 わからない

### (高齢者福祉)

問3 厳しい財政状況の中で、あなたは高齢者福祉において、まず何を充実すべきと思いますか。下記の中から、2つまでお選びください。( は2つまで)

- 1 高齢者の働ける場の確保
- 2 生涯学習や自主的活動に対する支援
- 3 介護サービス基盤の整備(介護保険施設など)
- 4 生活支援のための基盤整備(ケアハウスなど)
- 5 介護予防・生活支援の促進(配食サービス・外出支援サービスなど)
- 6 その他( )
- 7 とくにない

問3-2 世代間で支えあう公的年金制度の改正に注目が集まっています。制度のあり方として、あなたの考えに近いものをひとつだけお選びください。( はひとつだけ)

- 1 現役世代の負担(保険料)が増えるのであれば、給付額は将来減額されるのは仕方ない
- 2 ある程度の給付額は減額されてもよいが、高齢者が働ける場を確保してほしい
- 3 現役世代の負担(保険料)が増えても、今の水準を確保してほしい
- 4 福祉目的税を導入するなど増税し、今の水準を確保してほしい
- 5 その他( )
- 6 わからない

### (社会全体による子育て支援)

問4 佐賀県では子育て支援を充実させるために、「育児保険」の創設について検討しています。子育て中であるか否かに関わらず、社会全体で次の世代をつくっていくために必要があるという考え方に基づくものです。このことについて、あなたの考えに近いものをひとつだけお選びください。( はひとつだけ)

- 1 少子化の進行は社会全体に深刻な影響を及ぼすので、子育てに要する費用は、社会全体で負担することに賛成である
- 2 子どもを持つかどうかは、個人レベルの問題なので、社会全体での負担には反対である
- 3 子どもを持っているか、いないかで、社会的な評価が変わる危険があるので、その不安が解決できれば賛成するが、現状のままでは反対する
- 4 どちらでもよい
- 5 その他( )
- 6 わからない

裏のページへお進みください

### (児童虐待対策)

問5 全国で児童虐待についてのニュースが増えています。県内でも児童虐待が年々増加し、また最近の特徴として、児童虐待のケースが複雑化しています。  
佐賀県では児童相談所や福祉事務所を窓口として、様々な対応を行っています。  
佐賀県の対応について、あなたはどのように思われていますか。( はひとつだけ)

- 1 良くやっている
- 2 まあ良くやっている
- 3 どちらともいえない
- 4 もう少しがんばってほしい
- 5 もっとがんばってほしい
- 6 その他( )
- 7 わからない

問5-2 児童虐待対策として、育児不安の解消など未然に防止する対策や家庭教育にさらに力をいれていきます。  
そのうえで、次の中で、今後特に充実してほしいとあなたがお考えのものにひとつだけをしてください。( はひとつだけ)

- 1 児童相談所の職員の対応能力の向上を図ってほしい
- 2 児童虐待を見つけた際の連絡先などを普段から県民に周知してほしい
- 3 行政、学校、警察、地域の連携を強化してほしい
- 4 その他( )
- 5 わからない

### (障害者福祉)

問6 厳しい財政状況の中、障害者福祉において、まず何を取り組むべきだと思いますか。  
あなたの考えに近いものをひとつだけお選びください。( はひとつだけ)

- 1 施設中心の福祉から地域生活中心の福祉へ転換を図ること
- 2 障害及び障害者への理解を促進するために啓発広報を充実すること
- 3 障害者福祉の財源を確保するために、介護保険との統合について検討すること
- 4 障害者の働く場の確保
- 5 障害者の生活環境(建物、交通機関など)のバリアフリー化を推進すること
- 6 年金、手当などの所得制度の充実
- 7 医療費に対する助成制度の充実
- 8 その他( )
- 9 とくにない

### (公共施設の民間への移譲や民間委託)

問7 行財政改革や行政サービス向上の一環として、最近、公共施設の民間への移譲や、管理運営の民間委託の動きがあります。佐賀県でも今後、検討する必要があると考えます。

このことについて、あなたの考えに近いものをひとつだけお選びください。( はひとつだけ)

- 1 行政経費の削減のためには、積極的に推進してほしい
- 2 民間のアイデアを活かしたサービスが期待できるのであれば、推進してほしい
- 3 今まで通りのサービスが受けられるか心配であり、推進すべきでない
- 4 その他( )
- 5 わからない

～次に、教育やスポーツについてあなたの考えをお聞かせください。

**(学力の向上)**

問8 完全学校週5日制が実施され、授業時間が減っています。その一方で、子どもたちの学力の低下を懸念する声もあります。

このことについて、あなたの考えに近いものをひとつだけお選びください。( はひとつだけ)

- 1 土曜日を活用するなど、もっと学習の機会を増やしてほしい
- 2 授業時間は今のままで、教員の質を向上させて補ってほしい
- 3 授業時間は今のままで、少人数学級の導入など、今以上のきめ細かな教育をしてほしい
- 4 週休2日化は社会の流れなので、学校の授業は、特に変える必要はない
- 5 家庭での学習や塾で学力を向上させるので、学校の授業は今のままでよい
- 6 二学期制の導入により、授業時間を確保してほしい
- 7 その他( )
- 8 わからない

**(スポーツに対する県の支援)**

問9 マスコミがよく取り上げるスポーツ(例えば駅伝など)で上位入賞することは、佐賀県の印象を良くすることにつながると思われます。

このようなマスコミがよく取り上げるスポーツに県が支援し強化していくことについて、あなたの考えに近いものをひとつお選びください。( はひとつだけ)

- 1 県としては、県民が行うスポーツには、すべてに公平な推進をすべき
- 2 県が支援しても、競技力の高い選手を集めることには限界があると考えられるので慎重にすべき
- 3 マスコミに大きく取り上げられる特定のスポーツを強化することは、結果的に県の印象を良くし、県民に利益をもたらすので推進すべき
- 4 その他( )
- 5 わからない

裏のページへお進みください

～次に、県が行っている道路、河川、下水道、公園などの社会資本の整備についてお伺いします。

**(社会資本の整備<暮らしの基盤となる道路や河川工事など>)**

問10 県の財政が厳しい時代のなか、道路、河川、下水道、公園などの整備について優先順位をつける必要が出てきています。

次の項目について、**県に力を入れてほしいと思う項目**  
**今は整備しなくてもよいと思う項目**

それぞれについて、5つまでお選びください。

	力をいれてほしい	今は整備しなくてもよい
1) 幹線道路(高速道路や国道など)	1	1
2) 港湾	2	2
3) 下水道や浄化槽などの污水处理施設	3	3
4) 治水対策(河川の整備など)	4	4
5) 土砂災害対策	5	5
6) 生活道路(通学などに利用する道路など)	6	6
7) 歩道などの交通安全施設	7	7
8) 街路灯、防犯灯	8	8
9) 県立病院	9	9
10) 高齢者や障害者のための福祉施設	10	10
11) 県立学校(県立高校、県立中学校、盲・ろう・養護学校)	11	11
12) 幼稚園、保育所、児童館	12	12
13) 公園や緑地	13	13
14) 地域の集会所	14	14
15) 博物館、美術館	15	15
16) 体育館、運動場	16	16
17) 公営住宅	17	17
18) その他( )	18	18
	( )	( )
19) とくにない	19	19

\* 各項目ごと縦に見てお答えください  
(はそれぞれ5つまで)

27,28

29,30

問10-2 暮らしの基盤となる社会資本の整備について、財政が厳しい時代において今後どのように進めるべきと思いますか。あなたの考えに近いものをひとつお選びください。( はひとつだけ)

- 1 佐賀県はまだ社会資本の整備が遅れており、削減せずに進めるべき
- 2 必要性、緊急性のあるものに絞り込んで行うべき
- 3 まずは福祉、教育などを優先すべきであり、社会資本整備は当面不便さを感じないので、これからは削減すべき
- 4 その他( )
- 5 わからない

### (道路交通網の整備)

問11 道路交通網の整備については、

人・モノ・情報の交流を活発にするために広域的な幹線道路を優先して、建設の推進を図ることが大切であるという考え方  
通学や通勤で毎日の生活によく利用する生活道路の整備を優先するという考え方  
があります。

現在の厳しい財政状況の中で、今後の道路交通網の整備のあり方について、あなたの考えに近いものをひとつだけお選びください。( はひとつだけ)

- 1 広域的な幹線道路に予算を重点配分して整備すべき
- 2 生活道路の整備を優先すべき
- 3 広域的な幹線道路も生活道路も整備のスピードは遅くなくてもよいから、  
今までどおり両方進めるべき
- 4 広域的な幹線道路も生活道路も満足できる状態なので、両方とも事業を抑えるべき
- 5 その他( )
- 6 わからない

### (空港の利用と名称)

問12 あなたは、今までに「佐賀空港」を利用したことがありますか。( はひとつだけ)

- 1 ある 問12-2へ
- 2 ない 問12-3へ

問12-2 <「佐賀空港」を利用したことがある方のみお答えください>

あなたが「佐賀空港」を利用した理由は何ですか。あてはまる理由をすべてお選びください。  
( はいくつでも)

- 1 航空機の発着時間がちょうどよい
- 2 駐車場が無料である
- 3 出発地(自宅・職場など)から近い
- 4 自分の住んでいる県の空港である
- 5 運賃が福岡便より安価(又はほぼ同じ)である
- 6 家族・知人などに送迎してもらえる
- 7 職場や周囲から利用を勧められた
- 8 訪問先が航空券を用意(又は推奨)した
- 9 利用したい旅行商品があった
- 10 その他( )

問12-3 「佐賀空港」は、現在、正式な名称が「佐賀空港」、愛称が「有明佐賀空港」です。  
今後も、有明海沿岸道路などアクセスの改善により、福岡県南西部などからの、  
広域的な利用も期待できます。

そこで、この空港にふさわしい名称を新たにつけるとしたら、あなたはどれがよいと思いますか。  
( はひとつだけ)

- 1 有明空港
- 2 有明佐賀空港(愛称を正式名とする)
- 3 九州有明空港
- 4 佐賀空港(現在のまま)
- 5 その他(具体的に )

～次に、都市の景観について、あなたの意見をお聞かせください。

**(景観の良い街づくり)**

問13 無秩序な街づくりを防止し、景観の良い街づくりを行うためには、都市計画法での地区計画や高度地区及び風致地区の指定景観条例の制定などが考えられます。  
その場合建物の高さ、外観、形状、色、模様などが制限され、その際には住民の方の理解と合意が必要となります。  
基本的な考え方として、あなたの考えに近いものをひとつお選びください。( はひとつだけ)

- 1 街の統一した景観を壊さないような何らかの規制は必要である
- 2 規制しすぎると地区全体の発展の妨げになることも考えられるので、慎重に行うべき
- 3 個人の資産価値の低下などが問題になるため、これ以上の規制は必要ない
- 4 その他( )
- 5 わからない

**(屋外広告物規制)**

問14 電柱などに取り付けられているはり紙、立看板などの屋外広告物について、徹底的に取り締まるべき  
広告が必要だから規制するべきではない  
などの意見が寄せられています。  
この屋外広告物について、あなたの考えに近いものをひとつだけお選びください。  
( はひとつだけ)

- 1 まちの景観を損なうので、もっと徹底して減らした方がいい
- 2 まちの景観を損なうので、減らした方がいいが、あまり人や金を使わないでできる範囲で減らしてほしい
- 3 まちの景観を損なうが、経済状況が厳しい折なので、経済の活性化のため当面はこのままでいい
- 4 広告物から情報が得られるので、このままでいい
- 5 まちの活気の表れなので、増えてもかまわない
- 6 現状のままで特に気にならない
- 7 その他( )

～次に、流通や経済についてあなたの考えをお聞かせください。

**(郊外型の大型ショッピングセンター)**

問15 あなたは、普段「郊外型の大型ショッピングセンター」をどのくらい利用されていますか。  
( はひとつだけ)

- 1 よく利用する
- 2 時々利用する
- 3 あまり利用しない
- 4 まったく利用しない

問15-2 では、あなたは普段「地元のお店や商店街」をどのくらい利用されていますか。  
 ( はひとつだけ)

- |   |
|---|
| 1 よく利用する<br>2 時々利用する<br>3 あまり利用しない<br>4 まったく利用しない |
|---|

問15-3 「郊外型の大型ショッピングセンター」と「地元のお店や商店街」について、  
 あなたは、どのように思われていますか。  
 それぞれについて、3つまでお選びください。

	郊外型の大型 ショッピングセンター	地元のお店や 商店街
1) 価格が手ごろ	1	1
2) 品ぞろえが豊富	2	2
3) 品質がよい	3	3
4) お店の人の対応がよい	4	4
5) アフターサービスがよい	5	5
6) よく売り出しやセールをしている	6	6
7) 何でも売っていて一度で買物が済むので便利	7	7
8) 自宅や勤務先から近い	8	8
9) 魅力ある個店がある	9	9
10) 顔なじみの店がある	10	10
11) その他( )	11	11
	( )	( )
12) とくにない	12	12
	40,41	42,43

\* 各項目ごと縦に見てお答えください  
 ( はそれぞれ3つまで)

問15-4 最近、大型店が進出することに対する規制が大幅に緩和されたことから、「郊外型の大型  
 ショッピングセンター」が相次いで開店しています。  
 このことについて、あなたの考えに近いものをお選びください。( はひとつだけ)

- |   |
|---|
| 1 これ以上開店すると、地元の商店街が成り立たないので、規制は必要<br>2 開店は自由だが、今はあまり行き過ぎているので、ある程度の抑制は必要<br>3 開店することにより、地元の商店のサービスが良くなるのが期待できるので、<br>ある程度は自由にすべき<br>4 開店することにより、買い物が便利となるので、自由にすべき<br>5 その他( )<br>6 わからない |
|---|

裏のページへお進みください

## (雇用対策)

問16 経済情勢が厳しい中、県民にとって雇用問題は大きな問題です。  
現在の雇用問題は、雇用者側の望む人材と求職者の能力・経験が合致しないこと  
(ミスマッチ)も影響しているといわれています。このミスマッチの解消対策を行うことは急務です。  
そのうえで、雇用対策についてどの分野を充実すべきなのか、あなたの考えに近いものを  
2つまでお選びください。( )は2つまで)

- 1 若いときにしか必要な技能・知識が蓄積できないこともあるから、将来の人材育成という面からも、**若年者の雇用対策を優先すべき**
- 2 年金支給開始年齢の引き上げが予想されることから、**中高年齢者の雇用対策を優先すべき**
- 3 雇用の場でも男女共同参画を目指すことが必要であるため、**女性の雇用対策を優先すべき**
- 4 雇用の維持・創出、多様な働き方の実現という観点から社会的関心が高まっている**ワークシェアリング(仕事の分かち合い)の促進を優先すべき**
- 5 地域における就業・雇用の場の提供という効果も期待されている**コミュニティビジネス(地域の人たちのための事業)の促進を優先すべき**
- 6 障害者の就業を促進し、自立と社会参加を推進するため、**障害者の雇用対策を優先すべき**
- 7 雇用創出の即効性が高い**企業誘致の促進を優先すべき**
- 8 その他( )
- 9 とくにない

### “ワークシェアリング”

「労働時間を短縮して、その分の仕事を分かち合うことで雇用の維持や創出を図ることを目的としたものであり、雇用・賃金・労働時間の適切な配分を目指すもの」などです。

### “コミュニティビジネス”

「地域の人々が、地域にある労働力や原材料、技術力などの資源を活用して行う小規模ビジネスで、利益の追求に加え、地域の課題の解決を目指すもの」などです。

## (農山村地域の整備)

問17 農山村地域には、棚田など昔ながらの美しい景観が多く残されています。  
近年、農林業の情勢が厳しくなる中で、これらの美しい景観が失われつつあります。  
今後、農山村の美しい景観をまもり、復活することによって農業生産だけでなく、地域の  
誇りや観光資源として活用することも考えられます。  
厳しい財政状況の中、このような農山村地域を整備することについて、あなたの考えに近い  
ものをひとつだけお選びください。( )はひとつだけ)

- 1 洪水の防止や、海に栄養分を送るなど循環型産業である農林業のため予算を増やすべき
- 2 農山村地域は、都市住民にとって癒しと交流の空間であるため予算を増やすべき
- 3 農山村地域の景観をまもることは大切だが、従来の予算の範囲内で行うべき
- 4 農山村地域の景観を守る事は大切だが、民間資金の活用を図るなど工夫して行うべき
- 5 その他( )
- 6 わからない

### (森林資源の県や市町村による管理)

問18 森林は水を蓄え、山崩れを防止するなど多くの役割があります。  
また有明海や玄界灘の環境保全に大切な役割を持っています。

県内森林の7割は個人などが所有していますが、木材価格の低迷などにより十分に管理されない森林が増加しています。このため、特に重要な区域を選定し、県や市町村が直接整備することも考えられますが、1回の間伐で1ヘクタール(10,000㎡)当たり17～30万円程度(森林の状況による差)費用がかかります。

今後の個人所有の森林管理について、あなたの考えに近いものをひとつだけお選びください。  
( はひとつだけ)

- 1 森林所有者が自ら行うべきで、森林が荒れたとしても仕方がない
- 2 森林所有者による間伐などの森林管理に、県や市町村などによる支援を拡充すべき
- 3 森林所有者が管理できていない森林は県や市町村などが管理していくべき
- 4 わからない
- 5 その他( )
- 6 とくにない

### (水源税の導入)

問19 林業が低迷し森林が荒れているため、海や川への環境保全に大切な役割を果たす森林を整備するための財源が必要になっています。財政難のため、森林環境を保全し水資源を守るための税金として、下流域の住民の皆さまから徴収する水源税が考えられます。  
(例:平成15年度から高知県の森林環境税では、県民が年額500円負担し、森林整備などを実施)  
この水源税の導入について、あなたはどうかお考えですか。( はひとつだけ)

- 1 税収により森林環境が保全され、水資源が安定するから賛成である
- 2 税の導入によって、森林環境の保全に対する意識が高まるから賛成である
- 3 森林環境を保全する必要性は理解するが、水源税の導入はその負担の程度による
- 4 税を導入しても森林環境が保全されるかわからないから反対である
- 5 負担の程度に関わらず、新たな税負担は反対である
- 6 その他( )
- 7 わからない

### (市町村合併後の都道府県のあり方)

問20 市町村合併が進み、より広域的な枠組みができれば、次は都道府県のあり方についての議論が本格的になると思われます。  
あなたの考えに近いものをひとつだけお選びください。( はひとつだけ)

- 1 現在の47都道府県の枠組みは、100年以上続いており、合併しないで今のままでよい
- 2 市町村合併と同じように、まずは都道府県合併をした方がいい
- 3 全国をブロックに分け、政府の権限の一部を移譲する道州制にした方がいい
- 4 その他( )
- 5 わからない

裏のページへお進みください

～では最後に、あなたが「佐賀県」についてどう思われているかについてお聞かせください。

問21 あなたは佐賀県について、どのくらい愛着を感じていらっしゃいますか。( はひとつだけ)

- 1 愛着を感じる
- 2 まあ愛着を感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり愛着を感じない
- 5 愛着を感じない

問21-2 では、あなたは佐賀県の県民であることに、どのくらい誇りをもっておられますか。( はひとつだけ)

- 1 誇りに思っている
- 2 まあ誇りに思っている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり誇りに思わない
- 5 誇りに思わない

問21-3 あなたは今住んでいる地域(市町村)にずっと住みたいと思われませんか。( はひとつだけ)

- |   |         |
|---|---------|
| 1 これからもずっと住みたい                                    | 問22 へ   |
| 2 仕事や家庭の事情で離れるかもしれないが、<br>将来的には今住んでいる地域(市町村)に住みたい | 問21-4 へ |
| 3 住みたくない  | 問21-4 へ |
| 4 わからない   | 問22 へ   |

問21-4 <問21-3で「2」「3」に がついた方のみお答えください>

では、あなたが今住んでいる地域を離れるとしたら、どこに住みたいと思われませんか。  
あてはまるものをすべてお選びください。( はいくつでも)

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1 佐賀県内(今住んでいる市町村以外) | 6 関西圏                 |
| 2 福岡県               | 7 その他の日本国内(首都圏・関西圏以外) |
| 3 長崎県               | 8 外国                  |
| 4 九州内(福岡県・長崎県以外)    | 9 とくにない               |
| 5 首都圏               |                       |

次のページへお進みください

問22 では、あなたの今の生活についての満足度をお尋ねします。

あなたの今の生活は、1年前と比べて満足度はどう変わりましたか

では、あなたの現在の満足度はどうですか

次にあげる6つの分野について、あなたの気持ちに近いものを1～5の中からそれぞれひとつずつお選びください。

	満足度(1年前と比べて)					満足度(現在)				
	1 高 く な っ た	2 やや 高 く な っ た	3 ど ち ら と も い え な い	4 やや 低 く な っ た	5 低 く な っ た	1 満 足 し て い る	2 ま あ 満 足 し て い る	3 ど ち ら と も い え な い	4 あ ま り 満 足 し て い な い	5 満 足 し て い な い
	*各項目ごと横に見てお答えください (はそれぞれひとつ)									
	→									
1)福祉・保健・医療	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2)教育・文化・スポーツ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3)交通・社会基盤整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4)安全・環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5)経済・雇用・観光	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6)農林水産業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

54～59

60～65

問22-2 次にあげる6つの分野について、それぞれどれくらい力をいれてほしいと、あなたは期待しますか。  
あなたの思いに近いものを1～5の中からそれぞれひとつずつお選びください。

	どの程度期待しますか				
	1 期 待 し て い る	2 やや 期 待 し て い る	3 ど ち ら と も い え な い	4 あ ま り 期 待 し て い な い	5 期 待 し て い な い
	*各項目ごと横に見てお答えください (はそれぞれひとつ)				
	→				
1)福祉・保健・医療	1	2	3	4	5
2)教育・文化・スポーツ	1	2	3	4	5
3)交通・社会基盤整備	1	2	3	4	5
4)安全・環境	1	2	3	4	5
5)経済・雇用・観光	1	2	3	4	5
6)農林水産業	1	2	3	4	5

問23 では、あなたは佐賀県での暮らしを全体的にみて、満足度は1年前と比べてどう変化したと思われませんか。( はひとつだけ)

- 1 高くなった
- 2 やや高くなった
- 3 どちらともいえない
- 4 やや低くなった
- 5 低くなった

問23-2 あなたは、佐賀県での暮らしを全体的にみて、現在どのくらい満足されていますか。( はひとつだけ)

- 1 満足している
- 2 まあ満足している
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり満足していない
- 5 満足していない

---

~ ご協力ありがとうございました。

問24 最後に、今回の調査内容についてお伺いします。ひとつお選びください。

- 1 内容がむずかしかった
- 2 どちらかといえば、むずかしかった
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、簡単だった
- 5 簡単だった

問24-2 時間はどれくらいかかりましたか。ひとつお選びください。

- 1 30分以内
- 2 30分から1時間
- 3 1時間以上

何か意見がございましたら、自由にご記入ください。

長時間のご協力、誠にありがとうございました。  
アンケートの締切日は、3月31日(水)までとなっております。  
封筒に入れてご投函をお願いいたします。(切手は必要ありません)